

# 米に関するマンスリーレポート

(平成30年7月号)



「すぐ分かる米政策改革！」米政策の見直しについて解説する動画を公開しています！  
[http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome\\_seisaku\\_kaikaku.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_seisaku_kaikaku.html)

#### 【本資料の目的】

本レポートは、米に関する価格動向や需給動向に係るデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としています。

#### 【利用上の注意】

1. 本レポートは、原則として公表2営業日前までの公表資料を反映しています。
2. 本レポートは、今後、必要に応じて項目の追加・削除などの内容を変更することがあり得ます。

農林水産省

# 目 次

I	平成30年産水稻の生育状況（平成30年6月25日現在）	1
II	米の需給・契約・販売	
1	米の需給	
(1)	平成29/30年の主食用米等の需給見通し	3
(2)	平成30/31年の主食用米等の需給見通し	3
2	米の契約・販売	
(1)	政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果	5
(2)	平成29年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成30年5月末現在）	6
(3)	産地別事前契約数量	10
III	米の在庫情報	
(1)	全国段階の民間在庫の推移（うるち米、平成23年7月末～平成30年5月末）（速報）	12
(2)	産地別民間在庫の状況（前年同月比）	14
(3)	平成28・29年産の産地別民間在庫の推移（うるち米、平成29年7月末から平成30年5月末）（速報）	15
IV	米の価格情報	
1	相対取引価格・数量	
(1)	相対取引価格（年産別）	23
(2)	価格帯別分析結果（平成30年5月）	24
(3)	相対取引価格・数量（平成29年産米、産地品種銘柄別、平成30年5月分）	25
2	スポット価格の状況	28
3	米の先物取引価格の推移	29
4	米取引関係者の判断（米穀機構による調査、平成30年6月分）	30
V	主食用米以外（輸出を含む）	
1	29年産米の作付状況	
(1)	29年産米の用途別作付面積及び生産量	32
(2)	主食用米以外の取組状況（作付面積及び作付面積比率）	32
(3)	新規需要米の用途別認定状況	32
2	加工用米及び新規需要米の取組状況概要	
(1)	28米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）	33
(2)	加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移	34
3	飼料用米の需要量	35
4	コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について	37
5	コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について	38
VI	支援事業等	
(1)	水田活用の直接支払交付金	39
(2)	畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）	42
(3)	米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）	44
(4)	主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業	46
(5)	コメ海外市場拡大戦略プロジェクト	48
VII	消費動向	
(1)	米の消費動向（米穀機構による調査）	50
(2)	購入数量の推移（家計調査）	51
(3)	消費者物価指数の推移	52
(4)	小売物価統計の推移	53
(5)	小売価格の推移（POSデータ）	54
VIII	MA米（一般・SBS）の動向	
(1)	MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）	55
(2)	加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果（平成29年度）	56
(3)	SBS輸入米の見積合わせ結果（平成29年度）	56
IX	その他	
(1)	水稻うるち玄米の農産物検査結果	57
(2)	平成29年産水稻の収穫量	58

# I 平成30年産水稻の生育状況（平成30年6月25日現在）

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部

道府県	生育状況等	
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等（自治体等公表資料の抜粋）
		平年に対する遅速等
北海道	(生育)	<p>(全道) 生育は、平年並に推移している。(北海道農政部 6月20日付)</p> <p>(空知) 平年並に進んでいる。(空知総合振興局 6月20日付)</p> <p>(石狩) 分けつ始は平年に比べて早かったが、その後の低温寡照の影響で生育は停滞している。(石狩総合振興局 6月20日付)</p> <p>(後志) 生育状況は平年並。(後志総合振興局 6月20日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 6月20日付)</p> <p>(日高) 低温・寡照の影響により生育がやや遅れている。(日高総合振興局 6月20日付)</p> <p>(渡島) 分けつの発生は早い、9日以降の低温で生育はやや緩慢となっている。(渡島総合振興局 6月20日付)</p> <p>(檜山) 生育は概ね平年並。(檜山振興局 6月20日付)</p> <p>(上川) 生育は、平年並みに推移している。(上川総合振興局 6月20日付)</p> <p>(留萌) 生育は平年並に進んでいる。(留萌振興局 6月20日付)</p> <p>(オホーツク) 低温・寡照により生育が緩慢となった。(オホーツク総合振興局 6月20日付)</p>
青森	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒石の6月20日現在の生育状況は、「つがるロマン」は草丈が35.1cmで平年より1.3cm短く、株当たりの茎数は16.5本で平年よりも1.1本少なく、葉齢は7.5葉で平年より0.1葉少なかった。「青天の霹靂」は草丈が38.9cmで平年よりも0.3cm短く、株当たりの茎数は16.0本で平年より1.0本少なく、葉齢は7.0葉で平年より0.1葉少なかった。</li> <li>十和田の月20日現在の「まっしぐら」の生育状況は草丈が41.0cmで平年よりも3.3cm短く、株当たりの茎数は14.9本で平年よりも0.6本少なく、葉齢は7.6葉で平年並であった。(青森県産産技術センター農林総合研究所 6月20日付)</li> </ul>
岩手	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>県全体の生育は、概ね平年並である。草丈30.2cmで平年より0.3cm長く、茎数は277本/m<sup>2</sup>で平年比110%であり、葉数は6.8葉で平年より0.1葉少ない。(岩手県 6月15日付)</li> </ul>
宮城	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>県全体の水稻の生育は、葉数(平年差-0.2枚)から見ると平年に比べて1~2日程度遅くなっており、草丈は34.5cm(平年比93%)、1平方メートル当たり茎数は384本(平年比96%)、葉色はGM値が39.9(平年差-3.2)となっている。(宮城県 6月20日付)</li> </ul>
秋田	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>あきたこまちの平均の移植日は平年より1日遅い5月21日で、草丈は平年より長く、茎数、葉数は多かった。ひとめぼれの移植日は平年と同じ5月19日で、草丈は平年並で、茎数、葉数は多かった。なお、茎数は地域により平年比82~142%と地域間差が大きい。(秋田県 6月15日付)</li> <li>(鹿角) 6月12日~17日頃にかけて気温が平年より低く経過し、生育が停滞傾向となったが、平年を上回る生育は続いている。(6月22日付)</li> <li>(山本) 6月11日現在の水稻定点調査ほ場(管内9地点)における生育状況は、草丈26.9cm(平年比108%)、茎数155本/m<sup>2</sup>(同比111%)、葉数6.5(同差+0.5葉)。初期生育は概ね順調に経過。(6月15日付)</li> <li>(秋田) 6月11日現在の水稻の生育状況は、草丈26.0cm(平年比101%)、茎数141本/m<sup>2</sup>(同比82%)、葉数6.3葉(同差-0.1葉)。大雨等の影響により生育はやや遅れていたが、分けつの発生が始まっている(6月18日付)</li> <li>(由利) 水稻の生育は平年並みで推移(6月22日付)</li> <li>(仙北) 6月11日現在の管内のあきたこまちの生育状況は、草丈26.9cm(平年24.3cm)、茎数は170本/m<sup>2</sup>(平年137本/m<sup>2</sup>)、葉数は6.1葉(平年5.7葉)となっています。(6月15日付)</li> <li>(平鹿) 6月10日現在の水稻定点調査(あきたこまち11か所)では、草丈25.5cm(平年比111%)、茎数134本/m<sup>2</sup>(同比121%)、葉数5.8葉(同差+0.3葉)(6月15日付)</li> <li>(北秋田) 6月11日現在の水稻生育定点結果は、草丈29.2cm(平年比111%)、茎数225本/m<sup>2</sup>(平年比114%)、葉数6.6葉(平年差+0.3葉)となっています。葉数からみた生育は平年に比べ2日程度早い状況です。(6月15日付)</li> <li>(雄勝) 田植え作業が終期(6月1日付)(秋田県)</li> </ul>
山形	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(最上) 移植後は概ね好天で推移し、気温の日較差が大きく日照時間も確保されたため、近年になく分けつの発生が順調。(やまがた攻めの米づくり日本一運動最上地域本部 6月13日付)</li> <li>(酒田飽海) 6月20日の生育診断圃の調査結果では、草丈は「やや長い~平年並」、茎数は「平年並~やや少ない」、葉数は「平年並~やや少ない」、葉色は「やや低い」となっている。(酒田農業技術普及課 6月25日付)</li> <li>(東南村山) 葉令が平年より進んでいるため草丈はや長く、茎数は平年よりも多い状況。中干し開始の適期が早まることが予想。(やまがた攻めの米づくり日本一推進運動村山地域本部 6月11日付)</li> <li>(雪若丸・つや姫) 「つや姫」「雪若丸」ともに分けつの発生が早く、茎数確保の状況も例年になく良好(やまがた攻めの米づくり日本一運動最上地域本部 6月15日付)</li> <li>(北村山) 生育は平年に比べ3~4日程度遅れ、茎数はやや少なく、草丈はやや短く、葉色はやや淡い状況。(村山総合支庁北農業技術普及課 6月21日付)</li> <li>(西置賜) 草丈が短く、葉色が淡めとなっている。茎数、葉数は例年になく、ばらつきが大きくなっている。(やまがた攻めの米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 6月25日付)</li> <li>(西村山) 水稻の生育は平年に比べ草丈は並み、茎数は品種、は場でバラつきがあり、葉数はやや少なく、葉色はやや薄く、全般的に3日程度遅れているが、出穂期はほぼ平年並みも見込み。(やまがた攻めの米づくり日本一運動 6月22日付)</li> <li>(鶴岡田川) 調査圃の生育は、草丈は平年並み~やや短く、葉令はやや遅れており、葉色は淡いものの、茎数は平年並。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月21日付)</li> </ul>
福島	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月5日現在の農業総合センターの生育調査では、本部(郡山)と会津地域研究所(会津坂下)の茎数、主稈葉数が平年を下回っています。主稈葉数からみた生育は、本部(郡山)と会津地域研究所(会津坂下)で平年より3日遅れ、浜地域研究所(相馬)では平年より2日早まっている(福島県農林水産部 6月8日付)</li> </ul>

道府県	生育状況等	
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等（自治体等公表資料の抜粋）
		平年に対する遅速等
茨城	(生育)	(水戸市 5月1日移植 6月8日現在) 主稈葉数の展開からみた生育は「あきたこまち」4日程度遅い。「コシヒカリ」2日程度遅い。「ふくまる」3日程度遅い。 (水戸市 5月7日移植 6月8日現在) 主稈葉数の展開からみた生育は「コシヒカリ」3日程度遅い。 (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月13日付) (龍ヶ崎市 4月26日移植 6月15日現在) 主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」平年並。「コシヒカリ」5日早い。「ふくまる」5日早い。 (龍ヶ崎市 5月7日移植 6月15日現在) 主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」平年並。「コシヒカリ」1日早い。 (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月20日付)
栃木	(生育)	(早植栽培6月8日調査結果 コシヒカリ) ・生育は平年に比べ2～3日進んでいる。(栃木県農政部経営技術課 6月11日付)
千葉	(生育)	・4月20日植えの「ふさおとめ」および「ふさこがね」、一部の「コシヒカリ」は、幼穂形成期となっている。 また、「コシヒカリ」は、草丈が長く、葉色はやや濃く推移している。(千葉県 6月19日付)
新潟	(生育)	[6月20日現在の生育] ・コシヒカリは、指標値(生育のめやす)に比べ、草丈、莖数、葉数の進み、葉色いずれも「並」 ・(長岡市調査圃場)つきあかり、ゆきん子舞、こしいぶきの莖数は、指標値に比べ、それぞれ「少」、「並」、「並」 (新潟県 6月21日付) (岩船) コシヒカリは指標値に比べ2日程度遅れ、草丈は短めになっている。莖数は地域差・ほ場差はあるものの、全般的に指標値並からやや少ない。葉色は強風地帯で葉先枯れが見られ葉色が薄い状況となっているが、その他の地域では指標値並となっている。(村上農業普及指導センター 6月20日現在) (魚沼) 草丈はやや短いが、莖数、葉数、葉色は指標値並である。(魚沼農業改良普及センター 6月20日付) (佐渡) (コシヒカリ) 莖数・葉色は目標値並、草丈はやや短く、葉数は遅れ。地域差が大きい。 (佐渡農業普及指導センター 6月20日付)
富山	(生育)	(コシヒカリ) 平年に比べて草丈はやや短く、莖数はやや少なく、葉色は淡く、葉齢は0.3葉少なくなっている。 葉齢を揃えて比較すると、草丈、莖数は並み、葉色はやや淡くなっている。葉齢から予測すると、幼穂形成期は、平年より2日程度遅い7月1日頃と見込まれる。 (てんたかく) 平年に比べて、草丈、莖数、葉色は並みとなっている。また、葉齢は0.4葉少なくなっている。 葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉色は並み、莖数はやや多くなっている。幼穂形成期は、平年より2日程度遅い7月14日頃と見込まれる。 (富山県 6月19日付)
石川	(生育)	・県内の生育観測田における早生品種ゆめみづほで幼穂が確認されており(0.2～1mm程度)、ゆめみづほの出穂期は加賀地域で7月19～21日頃と近年および前年より1日遅く、能登地域(羽咋～中能登)では7月23日頃と近年並で、前年より3～4日遅くなると思われる。また、能登地域(奥能登～珠洲)の能登ひかりの出穂期は、7月27日頃と予想され、近年より5日、前年より1～2日程度遅くなると思われる。(石川県農林総合研究センター 6月25日付)
福井	(生育)	・コシヒカリでは葉齢の進展が遅く、莖数が少ない。ハナエチゼンで来週中に幼穂形成期となる見込み。 (水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月22日付)
長野	(生育)	<農業試験場(須坂市八重森:標高348m)における状況> ・移植後20日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」とも葉数、草丈、莖数は平年並。・移植後30日の生育は、「あきたこまち」、「コシヒカリ」とも葉数は少なく、草丈は短い。また、莖数が平年よりかなり少ない。 ・莖数の増加が緩慢なのは6月中旬の低温傾向によると推定される。(長野県農業試験場 6月21日付)
滋賀	(生育)	・作況調査では、草丈が短く、莖数は少ないものの、県内ほ場では、概ね平年並の生育となっている。 移植の早いほ場では、生育はやや旺盛となっている。 (滋賀県農業技術振興センター 6月12日付)
兵庫	(育苗・田植)	(県北) 移植後、低温の日があり、本田での生育はやや遅れ気味である。 (県南) 苗の生育は順調である。(兵庫県 5月29日付)
愛媛	(田植)	・高温登熟障害を回避するため極端な早植は避ける。平坦地における移植適期は、高温障害が発生しやすいヒノヒカリは、6月中旬～下旬、にこまるは、高温障害が発生しにくい品種なので、6月上旬～中旬。 (愛媛県 6月4日付)
高知	(生育)	<5月30日現在> (4月5日植 南国そだち) 草丈、葉齢でみた生育進度はおおむね平年並、莖数はやや少なく推移している。 (4月5日植 コシヒカリ) 草丈、莖数、葉齢でみた生育進度ともに平年並で推移している。 (4月13日植 コシヒカリ) 草丈、葉齢でみた生育進度はほぼ平年並、莖数は少なく推移している。 (高知県農業技術センター 6月15日付)
福岡	(育苗・田植)	・早期水稲(夢つくし、コシヒカリ) 早期水稲の田植は平年並で、5月15日までに終了。田植後、高温で経過したため苗の活着及び初期生育は順調。 ・普通期水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど) 6月上中旬植の育苗作業が行われ、苗の生育は順調。出穂期以降の高温を想定し、「夢つくし」の田植は6月上中旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬を中心に行われる見込み。「元気つくし」の田植は6月中下旬の見込み。 (福岡県農林業総合試験場 5月15日現在)
宮崎	(生育)	(5月中旬) 早期水稲は分けつ期 (宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月24日)

本資料は、地方自治体等ホームページにより公表された平成30年産水稲の生育状況等の一部を(公社)米穀機構情報部において取りまとめたものです。  
各情報の詳細については、以下URL(公社)米穀機構ホームページの「出所(原資料)」を参照願います。  
URL ; [http://www.komenet.jp/documents/2017/170526\\_sakugara.pdf](http://www.komenet.jp/documents/2017/170526_sakugara.pdf)



## Ⅱ 米の需給・契約・販売

### 1 米の需給（米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（平成30年3月））

#### (1) 平成29/30年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

平成29年6月末民間在庫量	A	199
平成29年産主食用米等生産量	B	731
平成29/30年産主食用米等供給量計	C=A+B	930
平成29/30年産主食用米等需要量	D	744
平成30年6月末民間在庫量	E=C-D	186

注：ラウンドの関係で内訳と計が一致しない場合がある。

#### (2) 平成30/31年の主食用米等の需給見通し

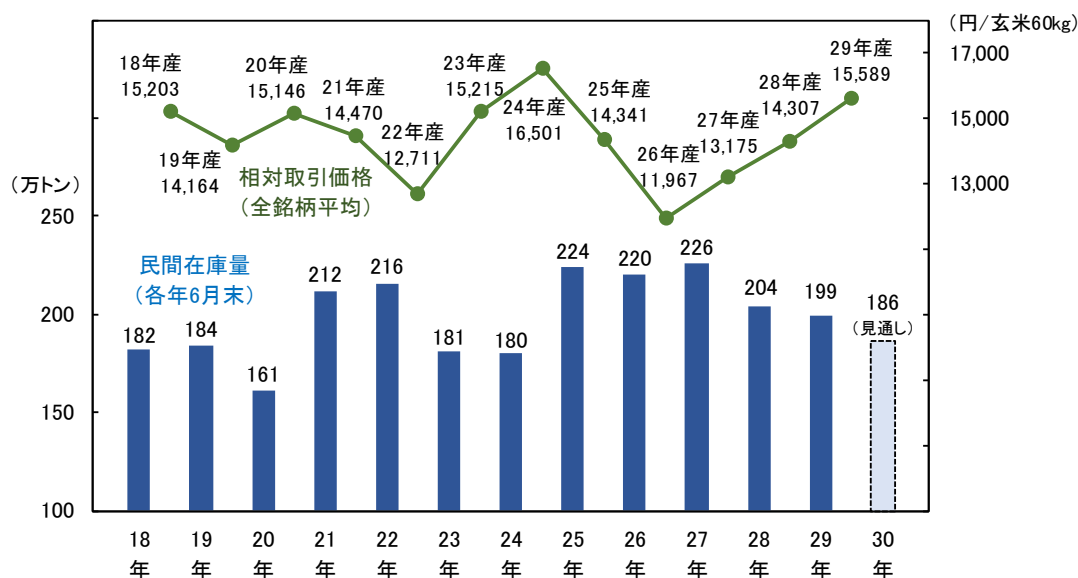
（単位：万トン）

平成30年6月末民間在庫量	A	186
平成30年産主食用米等生産量	B	735
平成30/31年産主食用米等供給量計	C=A+B	922
平成30/31年産主食用米等需要量	D	742
平成31年6月末民間在庫量	E=C-D	180

注：ラウンドの関係で内訳と計が一致しない場合がある。

#### (参考) 相対取引価格と民間在庫量

- 相対取引価格は、その年々の需給状況により変動しているが、6月末における民間在庫量（生産、出荷、販売段階における在庫量）の水準もその要因の一つ。



注：相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月（29年産は30年5月）までの通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

## (参考) 30年産米等の第2回中間的取組状況 (平成30年4月末現在)

都道府県	主食用米		戦略作物										備蓄米			
	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	飼料用米		加工用米		WCS		新市場開拓用米 (輸出用米等)		麦		大豆		29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)
			29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)	29年産実績 (ha)	30年産の動向 (対前年実績)		
北海道	98,600		2,433		5,279		500		22		32,465		19,109		-	-
青森	38,000		6,418		1,738		656		17		797		4,532		3,622	
岩手	47,000		4,676		1,485		1,645		113		3,613		3,825		1,152	
宮城	63,500		6,228		1,035		2,147		17		2,152		10,731		1,722	
秋田	69,500		2,865		10,683		1,245		101		338		7,999		6,362	
山形	56,400		3,916		4,018		885		116		99		4,888		3,816	
福島	59,900		5,839		281		1,122		-		198		852		3,818	
茨城	66,400		8,504		1,403		609		45		4,925		2,555		162	
栃木	53,600		10,054		1,829		1,710		2		11,221		2,324		1,810	
群馬	13,900		1,541		1,390		556		0		6,792		108		5	
埼玉	30,700		2,264		248		119		0		4,351		430		59	
千葉	53,300		5,051		1,479		1,123		0		552		573		256	
東京	141		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	3,090		19		-	-	-	-	-	-	4		9		-	-
新潟	100,300		4,178		6,989		370		647		254		4,740		5,760	
富山	33,300		1,085		1,515		411		126		3,450		4,756		2,528	
石川	23,200		726		760		96		9		1,088		1,242		1,277	
福井	23,300		1,295		671		122		9		5,280		1,712		833	
山梨	4,880		18		68		11		-	-	50		115		-	-
長野	31,300		319		825		252		20		2,393		1,512		161	
岐阜	21,500		3,047		316		225		0		3,427		2,801		76	
静岡	15,600		1,180		107		404		0		686		148		4	
愛知	26,600		1,780		571		203		17		5,522		4,234		138	
三重	26,800		1,902		377		239		28		6,646		4,403		84	
滋賀	30,000		998		1,277		261		31		7,716		6,490		277	
京都	14,100		141		538		108		-		246		213		-	-
大阪	5,150		7		-	-	-	-	-	-	1		6		-	-
兵庫	35,100		327		688		775		7		2,390		2,073		-	-
奈良	8,580		67		-		55		-	-	106		49		-	-
和歌山	6,560		4		-	-	2		-	-	1		16		-	-
鳥取	12,400		1,087		96		373		-	-	122		658		101	
島根	17,200		1,133		332		507		0		588		591		30	
岡山	29,100		1,589		439		421		0		2,808		1,310		403	
広島	23,100		552		401		541		1		244		408		-	-
山口	19,300		836		996		313		-		1,763		842		-	-
徳島	11,300		729		21		220		-		116		26		243	
香川	12,800		268		46		103		0		2,498		56		-	-
愛媛	13,900		365		30		145		0		1,909		324		14	
高知	11,500		996		73		225		-	-	8		71		2	
福岡	35,100		2,019		379		1,473		0		21,036		8,337		47	
佐賀	24,400		569		111		1,237		-		20,338		8,226		64	
長崎	11,600		168		7		1,127		-	-	995		351		10	
熊本	32,200		1,402		866		7,629		0		6,247		2,086		74	
大分	20,900		1,521		93		2,455		-	-	4,453		1,515		33	
宮崎	15,000		528		1,244		6,614		-		112		189		-	-
鹿児島	19,600		866		814		3,657		-		111		274		-	-
沖縄	727		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国計	137.0万 (138.7万)※		91,510		51,517		42,893		1,328		170,110		117,710		34,943	

※ 29年産米の生産数量目標

(注1) 主食用米、戦略作物及び備蓄米の「30年産の動向(対前年実績)」は、29年産作付実績と比較し、「▲:増加傾向」、「→:前年並み傾向」、「▽:減少傾向」で分類。

(注2) 主食用米の「29年産実績(ha)」は、平成29年12月5日統計部公表の主食用作付面積。

(注3) 飼料用米、加工用米、WCS、新市場開拓用米の「29年産実績(ha)」は、平成29年産新規需要米の取組計画認定面積。麦・大豆の「29年産実績(ha)」は、平成29年度経営所得安定対策等の加入申請面積で、二毛作を含む。

(注4) 備蓄米の「29年産実績(ha)」は、地域農業再生協議会が把握した面積。

## 2 米の契約・販売

### (1) 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果

平成30年産

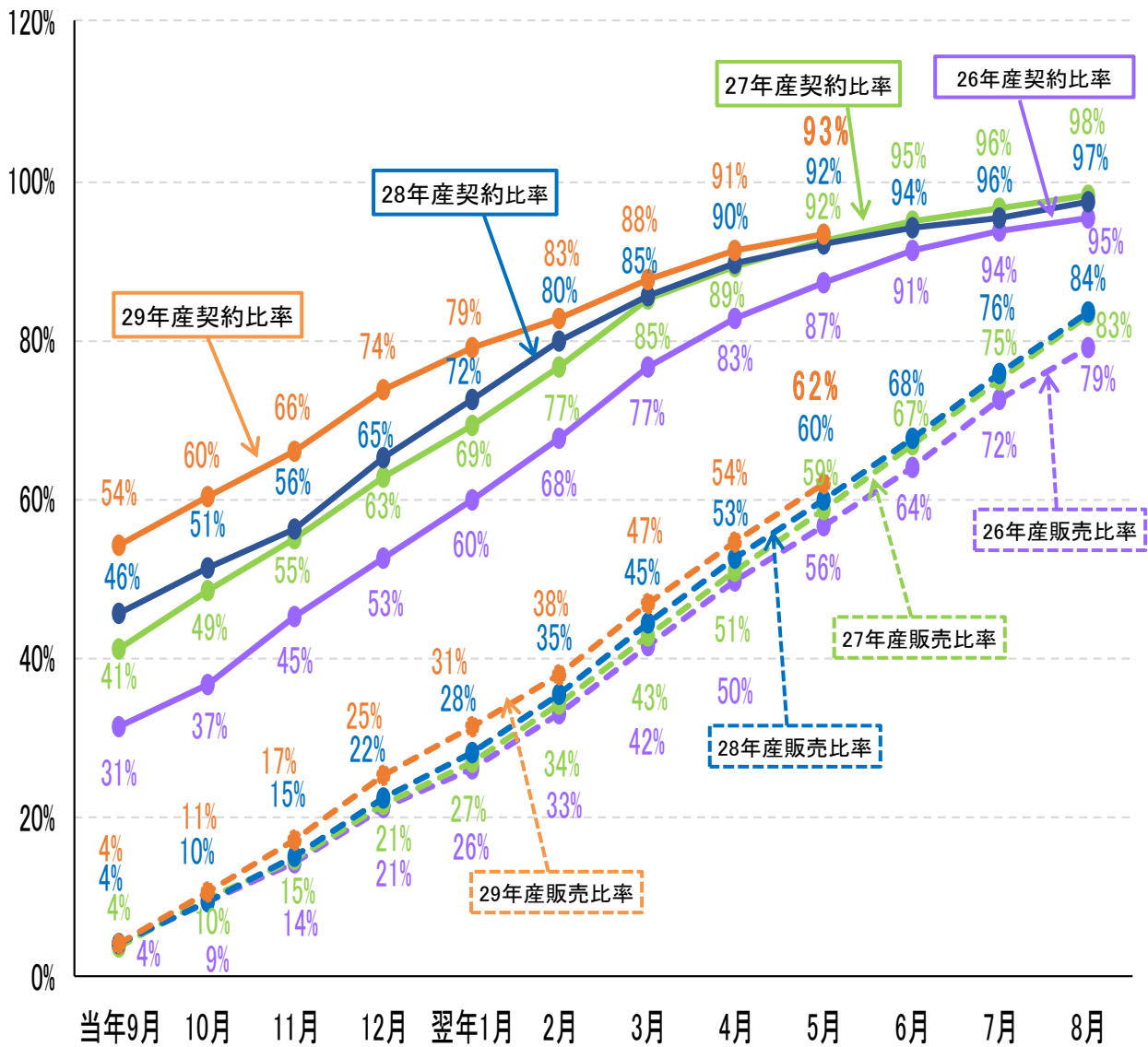
(単位：トン)

買入対象米穀 の産地	都道府県別 優先枠	買入入札の結果								落札合計数量
		第1回 平成30年1月25日 実施	第2回 平成30年2月13日 実施	第3回 平成30年2月27日 実施	第4回 平成30年3月27日 実施	第5回 平成30年4月24日 実施	第6回 平成30年5月29日 実施	第7回 平成30年6月19日 実施	第8回 平成30年6月28日 実施	
北海道										
青森	11,006	338	10,668							11,006
岩手	3,686	0	225							225
宮城	5,011	10	5,001							5,011
秋田	17,353	490	10,855							11,345
山形	11,140	0	11,140							11,140
福島	12,350	108	12,242							12,350
茨城	469	0	411							411
栃木	4,888	1,779	3,109							4,888
群馬	12	0	12							12
埼玉	191	0	191							191
千葉	688	0	587							587
東京										
神奈川										
新潟	15,947	52	12,881							12,933
富山	7,001	7,001	0							7,001
石川	3,255	40	3,215							3,255
福井	2,106	10	2,096							2,106
山梨										
長野	514	0	228							228
岐阜	224	0	224							224
静岡	13	0	0							0
愛知	385	0	385							385
三重	272	0	0							0
滋賀	735	0	735							735
京都										
大阪										
兵庫										
奈良										
和歌山										
鳥取	345	0	345							345
島根	70	0	70							70
岡山	1,138	0	738							738
広島										
山口										
徳島	484	0	0							0
香川										
愛媛	40	0	0							0
高知	10	0	10							10
福岡	118	0	118							118
佐賀	211	0	211							211
長崎	22	0	0							0
熊本	212	0	0							0
大分	109	0	90							90
宮崎										
鹿児島										
沖縄										
都道府県別枠計	100,000	9,828	75,787							85,615
指定無し	100,000	5,687	21,949	2,462	1,431	438	1,251	564	3,552	37,334
合計	200,000	15,515	97,736	2,462	1,431	438	1,251	564	3,552	122,949

(2) 平成29年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成30年5月末現在）

- 平成30年5月末現在の平成29年産米の集荷数量は、287万トン。
- 契約数量は、対前年同月比▲16万トンの267万トン。契約比率は93%。
- 販売数量は、対前年同月比▲6万トンの178万トン。販売比率は62%。

契約・販売比率の推移(平成26～29年産)



注：平成26～28年産は、各月末時点の契約・販売数量を生産年の翌年10月末の集荷数量で除して算出した最終実績ベース。

平成29年産は、各月末時点の契約・販売数量を平成30年5月末の集荷数量で除して算出した直近ベースのため、今後、集荷数量の増加に伴い契約・販売比率に変動が生じる可能性がある。



集荷・契約・販売数量(北海道から千葉まで)

	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約比率 ②/①	販売数量 ③	販売比率 ③/①	参考:前年同月比 (28年産の同時期との比較)		
						集荷数量 (%)	契約数量 (%)	販売数量 (%)
北海道	(千玄米トン) 365.9	(千玄米トン) 331.3	91%	(千玄米トン) 223.6	61%	+ 4%	▲ 3%	▲ 5%
ななつぼし	171.5	165.5	97%	110.1	64%	+ 1%	+ 0%	▲ 8%
ゆめびりか	90.0	75.0	83%	54.5	61%	+ 15%	▲ 3%	+ 4%
きらら397	37.8	36.7	97%	16.7	44%	+ 3%	+ 4%	+ 6%
青森	143.4	125.1	87%	77.8	54%	+ 2%	▲ 9%	▲ 6%
まっしぐら	94.2	79.6	85%	50.2	53%	+ 3%	▲ 11%	▲ 5%
つがるロマン	38.2	34.5	90%	19.2	50%	▲ 3%	▲ 9%	▲ 17%
岩手	124.1	121.5	98%	72.6	59%	▲ 11%	▲ 10%	+ 1%
ひとめぼれ	96.1	93.6	97%	59.1	62%	▲ 14%	▲ 13%	+ 5%
あきたこまち	16.6	16.6	100%	7.0	42%	▲ 10%	▲ 10%	▲ 38%
いわてっこ	2.5	2.4	98%	1.1	46%	▲ 23%	▲ 25%	+ 49%
宮城	154.8	152.9	99%	78.6	51%	▲ 14%	▲ 11%	▲ 11%
ひとめぼれ	125.3	125.2	100%	61.9	49%	▲ 16%	▲ 11%	▲ 13%
つや姫	11.6	10.9	95%	6.6	57%	▲ 5%	▲ 9%	▲ 21%
ササニシキ	8.7	8.4	96%	5.2	59%	▲ 18%	▲ 19%	▲ 5%
秋田	238.2	208.6	88%	145.8	61%	▲ 11%	▲ 6%	▲ 16%
あきたこまち	193.8	171.7	89%	126.3	65%	▲ 10%	▲ 6%	▲ 15%
めんこいな	9.5	7.8	82%	4.0	42%	▲ 15%	▲ 7%	▲ 23%
ひとめぼれ	20.4	19.6	96%	9.3	45%	▲ 15%	▲ 2%	▲ 33%
山形	195.3	190.5	97%	120.4	62%	▲ 9%	+ 7%	+ 3%
はえぬき	117.5	116.5	99%	67.3	57%	▲ 10%	+ 6%	▲ 1%
つや姫	39.0	37.4	96%	28.8	74%	▲ 3%	+ 15%	+ 15%
ひとめぼれ	18.1	17.0	94%	12.8	71%	▲ 15%	+ 1%	+ 9%
福島	161.9	143.0	88%	80.1	49%	▲ 4%	▲ 9%	▲ 2%
コシヒカリ中通り	51.6	42.6	83%	28.7	56%	▲ 10%	▲ 11%	▲ 3%
コシヒカリ会津	47.3	47.3	100%	20.9	44%	▲ 1%	▲ 1%	+ 12%
コシヒカリ浜通り	9.6	8.4	88%	4.1	43%	+ 19%	+ 1%	+ 11%
ひとめぼれ	29.6	24.7	83%	14.5	49%	▲ 10%	▲ 29%	▲ 12%
天のつぶ	13.0	11.2	86%	5.3	41%	+ 19%	+ 28%	▲ 14%
茨城	70.9	65.4	92%	52.1	74%	▲ 6%	▲ 18%	▲ 6%
コシヒカリ	54.3	50.4	93%	38.9	72%	▲ 10%	▲ 21%	▲ 10%
あきたこまち	9.7	9.2	95%	9.2	95%	+ 7%	▲ 16%	+ 3%
ゆめひたち	0.4	0.3	76%	0.3	64%	▲ 26%	▲ 40%	▲ 21%
栃木	122.5	106.3	87%	59.0	48%	▲ 13%	▲ 20%	▲ 16%
コシヒカリ	99.8	86.9	87%	48.2	48%	▲ 17%	▲ 22%	▲ 16%
あさひの夢	8.0	7.0	88%	2.4	29%	▲ 3%	▲ 15%	▲ 52%
なすひかり	7.3	5.5	75%	3.9	54%	+ 9%	▲ 2%	+ 20%
群馬	26.1	26.0	100%	13.0	50%	+ 19%	+ 19%	+ 13%
あさひの夢	17.6	17.6	100%	8.6	49%	+ 26%	+ 26%	+ 22%
ゆめまつり	5.8	5.8	100%	3.2	55%	+ 17%	+ 17%	+ 10%
埼玉	20.7	19.7	95%	11.7	57%	▲ 7%	▲ 5%	▲ 2%
彩のかがやき	10.0	9.6	96%	6.4	64%	▲ 8%	▲ 4%	+ 10%
コシヒカリ	6.3	5.8	92%	3.7	59%	▲ 10%	▲ 10%	▲ 13%
彩のきずな	3.2	3.1	99%	1.0	31%	+ 14%	+ 15%	+ 10%
千葉	75.5	70.9	94%	59.3	79%	▲ 5%	▲ 11%	▲ 3%
コシヒカリ	38.5	34.9	91%	29.6	77%	▲ 15%	▲ 21%	▲ 12%
ふさこがね	14.4	14.6	101%	11.4	79%	+ 1%	▲ 5%	+ 9%
ふさおとめ	17.5	16.8	96%	14.8	84%	+ 7%	+ 3%	+ 4%

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注: 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結(確認書等により数量のみが決定した契約を含む。)した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 集荷途上により、契約比率が100%を超える場合がある。

8 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

9 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。

10 「参考:前年同月比」で、現時点において29年産又は28年産に数量がなかった場合は、「…」としている。

集荷・契約・販売数量(東京から鳥取まで)

	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約比率 ②/①	販売数量 ③	販売比率 ③/①	参考:前年同月比 (28年産の同時期との比較)		
						集荷数量 (%)	契約数量 (%)	販売数量 (%)
東京	—	—	—	—	—	...	...	...
神奈川	2.5	1.9	75%	1.9	75%	▲15%	▲17%	▲17%
山梨	6.2	4.0	65%	4.0	65%	▲2%	+1%	+1%
コシヒカリ	5.3	3.5	66%	3.5	66%	▲3%	+6%	+6%
あさひの夢	0.2	0.1	40%	0.1	40%	+1%	▲35%	▲35%
長野	68.3	67.2	98%	40.3	59%	▲5%	▲1%	▲1%
コシヒカリ	53.8	53.4	99%	30.4	57%	▲6%	▲1%	▲2%
あきたこまち	7.8	7.3	94%	4.9	63%	▲5%	▲5%	▲5%
静岡	6.6	4.8	74%	4.8	74%	▲9%	+1%	+1%
コシヒカリ	4.3	3.3	77%	3.3	77%	▲10%	▲2%	▲2%
きぬむすめ	0.7	0.5	68%	0.5	68%	▲13%	+16%	+16%
あいちのかおり	0.9	0.6	62%	0.6	62%	+0%	+16%	+16%
新潟	255.6	248.6	97%	176.0	69%	▲10%	▲9%	+5%
コシヒカリ一般	139.4	136.4	98%	94.6	68%	▲14%	▲13%	+8%
コシヒカリ魚沼	29.4	26.4	90%	19.8	67%	+15%	+20%	+27%
コシヒカリ岩船	11.2	11.2	100%	7.9	70%	▲15%	▲16%	▲8%
コシヒカリ佐渡	13.6	13.5	100%	9.4	69%	▲14%	▲12%	▲13%
こしいぶき	38.2	37.3	98%	26.8	70%	▲11%	▲11%	▲5%
富山	91.7	81.6	89%	61.3	67%	▲18%	▲20%	▲11%
コシヒカリ	74.2	67.3	91%	50.4	68%	▲19%	▲19%	▲11%
てんたかく	7.2	6.5	90%	5.3	73%	▲23%	▲27%	▲15%
石川	25.6	25.2	99%	14.4	56%	▲24%	▲20%	▲2%
コシヒカリ	17.5	17.3	99%	10.0	57%	▲27%	▲25%	▲5%
ゆめみづほ	4.8	4.8	100%	2.3	48%	▲30%	▲25%	▲23%
福井	66.7	65.4	98%	48.2	72%	+3%	+3%	+11%
コシヒカリ	32.6	32.1	98%	23.0	71%	+4%	+3%	+12%
ハナエチゼン	18.5	18.4	100%	15.0	81%	▲5%	▲4%	+6%
岐阜	26.3	25.8	98%	14.6	56%	▲4%	▲3%	▲1%
ハツシモ	12.9	12.8	99%	5.7	44%	+10%	+14%	+3%
コシヒカリ	7.4	7.3	99%	4.9	67%	▲16%	▲13%	+8%
あきたこまち	2.0	1.9	97%	1.4	69%	▲5%	▲7%	▲26%
愛知	34.3	31.5	92%	20.0	58%	▲8%	+1%	▲11%
あいちのかおり	18.1	16.6	92%	9.1	50%	▲1%	+7%	▲7%
コシヒカリ	9.9	9.8	99%	6.8	69%	▲13%	▲1%	▲15%
大地の風	1.3	1.3	99%	1.0	75%	▲9%	+27%	+17%
三重	27.9	27.3	98%	19.8	71%	▲12%	▲11%	▲4%
コシヒカリ一般	15.4	15.2	99%	11.1	72%	▲15%	▲11%	▲6%
コシヒカリ伊賀	6.2	5.9	96%	4.3	70%	▲8%	▲10%	▲9%
キヌヒカリ	2.2	2.1	94%	1.4	65%	▲16%	▲22%	+30%
滋賀	58.0	58.4	101%	43.1	74%	▲11%	▲11%	▲5%
コシヒカリ	21.9	22.1	101%	17.2	79%	▲10%	▲10%	+10%
キヌヒカリ	10.9	10.9	99%	7.8	71%	▲19%	▲19%	▲24%
日本晴	4.9	4.8	98%	2.5	51%	▲25%	▲27%	▲28%
京都	12.6	11.5	91%	8.7	69%	▲13%	▲21%	▲2%
コシヒカリ	7.1	7.0	100%	4.9	70%	▲18%	▲18%	▲4%
キヌヒカリ	2.9	2.9	100%	2.5	84%	▲7%	▲7%	+14%
大阪	—	—	—	—	—	...	...	...
兵庫	40.4	38.8	96%	25.5	63%	▲1%	+2%	▲3%
コシヒカリ	11.6	11.5	99%	8.6	75%	+0%	▲1%	+12%
ヒノヒカリ	4.6	4.2	90%	2.4	53%	+1%	▲5%	▲13%
キヌヒカリ	3.5	3.4	97%	2.1	60%	▲18%	▲18%	▲25%
奈良	8.7	6.4	73%	6.4	73%	▲5%	▲31%	▲24%
ヒノヒカリ	6.8	4.6	68%	4.6	68%	▲6%	▲36%	▲30%
コシヒカリ	0.5	0.5	95%	0.5	95%	▲5%	▲11%	▲7%
和歌山	1.5	1.5	100%	1.5	100%	▲25%	▲25%	+29%
鳥取	21.0	18.7	89%	13.3	64%	▲5%	+0%	▲11%
コシヒカリ	7.7	7.0	90%	5.0	65%	+3%	+20%	+3%
きぬむすめ	7.3	6.5	89%	4.2	58%	+5%	+8%	▲10%
ひとめぼれ	5.4	4.9	90%	3.8	70%	▲23%	▲23%	▲26%

集荷・契約・販売数量(島根から沖縄まで、全国計)

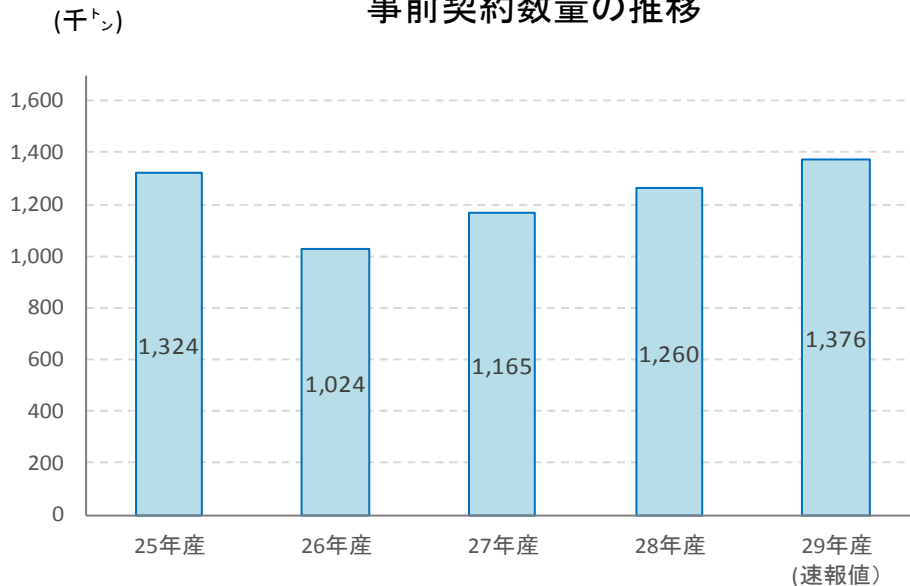
	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約比率 ②/①	販売数量 ③	販売比率 ③/①	参考:前年同月比 (28年産の同時期との比較)		
						集荷数量 (%)	契約数量 (%)	販売数量 (%)
島根	(千玄米ト) 38.8	(千玄米ト) 36.1	93%	(千玄米ト) 25.5	66%	▲ 2%	+ 6%	▲ 2%
コシヒカリ	18.0	17.1	95%	12.6	70%	▲ 8%	+ 10%	▲ 1%
きぬむすめ	13.5	11.8	88%	7.7	57%	+ 5%	+ 1%	▲ 7%
つや姫	4.4	4.4	100%	3.0	69%	+ 10%	+ 15%	+ 20%
岡山	25.3	25.1	99%	12.5	49%	+ 69%	+ 68%	+ 42%
アケボノ	7.5	7.5	100%	2.4	33%	+ 188%	+ 188%	+ 110%
あきたこまち	2.0	1.9	94%	1.4	70%	+ 10%	+ 3%	+ 14%
ヒノヒカリ	3.1	3.1	100%	1.5	49%	+ 83%	+ 83%	+ 87%
広島	34.6	34.6	100%	23.0	67%	+ 3%	+ 7%	+ 0%
コシヒカリ	15.2	14.8	97%	10.4	69%	▲ 4%	▲ 2%	+ 2%
あきろまん	3.8	3.5	92%	2.4	64%	+ 18%	+ 0%	+ 2%
ヒノヒカリ	1.2	1.3	109%	0.9	74%	▲ 53%	▲ 46%	▲ 37%
山口	32.7	32.3	99%	17.9	55%	+ 3%	+ 4%	+ 0%
コシヒカリ	9.3	9.1	98%	5.6	61%	▲ 6%	▲ 4%	+ 6%
ひとめぼれ	7.8	7.7	99%	4.9	63%	▲ 4%	+ 0%	▲ 3%
ヒノヒカリ	6.9	6.8	99%	3.5	51%	+ 5%	+ 7%	+ 0%
徳島	5.3	5.3	100%	4.1	77%	▲ 13%	▲ 12%	▲ 17%
コシヒカリ	2.9	2.9	100%	2.3	80%	▲ 17%	▲ 16%	▲ 21%
キヌヒカリ	1.5	1.5	100%	1.2	78%	▲ 16%	▲ 16%	▲ 7%
香川	23.4	23.4	100%	13.9	60%	▲ 11%	+ 0%	▲ 10%
ヒノヒカリ	9.9	9.9	100%	5.2	52%	▲ 11%	+ 10%	▲ 16%
コシヒカリ	7.6	7.6	100%	5.3	70%	▲ 13%	▲ 2%	▲ 2%
愛媛	11.6	8.7	75%	8.3	72%	▲ 7%	+ 6%	+ 3%
コシヒカリ	4.3	3.6	83%	3.5	80%	▲ 8%	+ 4%	+ 3%
ヒノヒカリ	2.2	1.5	68%	1.4	65%	▲ 8%	+ 4%	+ 2%
あきたこまち	1.5	1.1	72%	1.1	70%	▲ 17%	▲ 7%	▲ 8%
高知	6.9	6.9	100%	5.3	77%	+ 6%	+ 36%	+ 9%
コシヒカリ	5.7	5.7	100%	4.1	73%	+ 10%	+ 52%	+ 17%
ヒノヒカリ	0.2	0.2	100%	0.2	100%	▲ 36%	▲ 28%	▲ 28%
福岡	53.8	50.2	93%	35.0	65%	▲ 3%	+ 1%	+ 14%
夢つくし	16.9	16.1	95%	12.5	74%	▲ 7%	▲ 3%	+ 14%
ヒノヒカリ	14.5	14.1	97%	9.3	64%	▲ 9%	▲ 7%	+ 18%
元気つくし	19.0	17.0	89%	11.4	60%	+ 2%	+ 7%	+ 6%
佐賀	42.6	42.6	100%	24.5	57%	▲ 3%	▲ 3%	▲ 11%
さがびより	13.4	13.4	100%	6.0	45%	▲ 4%	▲ 4%	▲ 39%
夢しずく	13.4	13.4	100%	9.1	68%	+ 0%	+ 0%	+ 9%
ヒノヒカリ	10.1	10.1	100%	5.4	53%	▲ 5%	▲ 5%	+ 6%
長崎	11.5	11.3	98%	7.4	64%	▲ 1%	▲ 2%	+ 5%
ヒノヒカリ	3.7	3.6	98%	2.4	65%	▲ 1%	+ 0%	▲ 1%
にこまる	4.8	4.6	96%	2.8	59%	+ 4%	+ 2%	+ 7%
コシヒカリ	1.6	1.5	98%	1.3	81%	▲ 9%	▲ 11%	+ 8%
熊本	37.4	28.8	77%	23.0	61%	▲ 1%	▲ 3%	+ 6%
ヒノヒカリ	15.4	11.6	75%	9.2	60%	▲ 7%	▲ 18%	+ 0%
森のくまさん	7.5	6.1	82%	3.8	51%	+ 4%	+ 13%	+ 3%
コシヒカリ	6.4	5.6	87%	4.5	71%	+ 2%	+ 22%	+ 15%
大分	13.3	13.4	100%	7.2	54%	▲ 6%	▲ 3%	▲ 9%
ヒノヒカリ	9.4	9.4	100%	4.5	48%	▲ 7%	▲ 4%	▲ 13%
ひとめぼれ	0.8	0.9	106%	0.5	63%	▲ 9%	▲ 6%	▲ 5%
宮崎	16.2	16.2	100%	14.8	91%	+ 0%	+ 0%	+ 5%
コシヒカリ	9.9	9.9	100%	9.9	100%	+ 6%	+ 6%	+ 6%
ヒノヒカリ	5.3	5.3	100%	4.0	75%	▲ 10%	▲ 10%	+ 0%
鹿児島	13.1	13.1	100%	11.1	85%	▲ 12%	▲ 12%	▲ 4%
ヒノヒカリ	5.0	5.0	100%	3.6	73%	▲ 28%	▲ 28%	▲ 19%
あきほなみ	2.1	2.1	100%	1.6	73%	▲ 23%	▲ 23%	▲ 21%
コシヒカリ	3.9	3.9	100%	3.9	100%	+ 15%	+ 15%	+ 15%
沖縄	1.5	1.5	100%	1.5	100%	▲ 6%	▲ 6%	▲ 6%
全国①	2,870	2,674	93%	1,780	62%	▲ 6%	▲ 6%	▲ 3%
参考	前年同月(28年産)②	3,044	2,837	93%	1,844	61%		
	前年同月差(①-②)	▲ 174	▲ 163	+ 0ポイント	▲ 64	+ 1ポイント		

### (3) 産地別事前契約数量

- 事前契約数量は、3年続けて増加、平成29年産米では、対前年産比+12万トンの138万トンという水準。

〔 事前契約数量とは、複数年契約、は種前契約、収穫前契約といった米の収穫時期の前にあらかじめ契約されたもの。 〕

#### 事前契約数量の推移



#### 生産法人と業務用実需者との事前契約の取組事例

- 平成24年産米の価格上昇により、中食・外食事業者においては、弁当や寿司業界等のニーズに応じた値頃感のある米の確保が困難となっていたところ。
- こうした中、A県の農業生産法人では、品質（食味）、価格条件等の実需者のニーズに応じて品種を作り分けることにより、生産量の約8割を事前契約や複数年契約で安定的な取引を実現。
- 例えば、当該農業生産法人は、炊飯事業者との取引において、希望のあった品種を一定の数量、価格で事前契約を行っており、翌年産米の取引では、前年の10倍の数量契約を締結し、安定した品質の米を納入。現在まで契約数量の全てが納入済といった状況。価格は、生産コストや流通コスト等を踏まえた再生産可能な価格を基本に実需者と協議して決定。

##### 農業生産法人

- 経営安定のため、事前契約率を高めたい。
- 販売先だけでなく、事前に価格が決まっているのは生産者にとってありがたい。
- 概ね年内中に引き取ってくれるので余計なコスト負担がない。

契約

双方がウィンウィンの取引に！

##### 炊飯事業者

- 安定的な数量の確保。
- 食味の良さと品質のバラつきのなさを実感。
- 品種に応じて白飯や酢飯に使い分けている。
- 業務用といっても安ければいいということではなく、一定の価格で安定取引ができる。

## 産地別事前契約及び複数年契約の状況

単位：千玄米トン

	平成28年産					平成29年産(平成30年5月末現在)				
	集荷数量 ①	うち事前契約 ②	事前契約比率	うち複数年契約 ③	複数年契約比率	集荷数量 ④	うち事前契約 ⑤	事前契約比率	うち複数年契約 ⑥	複数年契約比率
			②/①		③/①			⑤/④		⑥/④
北海道	358.7	169.6	47%	43.4	12%	365.9	183.2	50%	142.7	39%
青森	140.6	45.1	32%	32.9	23%	143.4	54.1	38%	37.2	26%
岩手	140.0	91.1	65%	84.7	61%	124.1	91.3	74%	83.1	67%
宮城	181.0	112.0	62%	84.5	47%	154.8	124.2	80%	107.2	69%
秋田	271.2	83.2	31%	57.4	21%	238.2	90.5	38%	62.8	26%
山形	221.2	52.3	24%	1.5	1%	195.3	71.9	37%	19.8	10%
福島	169.9	52.8	31%	27.0	16%	161.9	50.2	31%	43.7	27%
茨城	77.7	27.6	36%	-	-	70.9	24.5	35%	2.5	4%
栃木	141.6	60.3	43%	49.5	35%	122.5	64.8	53%	64.8	53%
群馬	21.9	-	-	-	-	26.1	0.1	0%	-	-
埼玉	22.3	8.2	37%	-	-	20.7	8.2	39%	-	-
千葉	79.7	34.0	43%	2.2	3%	75.5	27.9	37%	10.3	14%
東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2.9	-	-	-	-	2.5	-	-	-	-
山梨	6.3	-	-	-	-	6.2	-	-	-	-
長野	72.5	26.3	36%	23.7	33%	68.3	27.4	40%	25.7	38%
静岡	7.2	-	-	-	-	6.6	2.5	38%	-	-
新潟	285.2	141.3	50%	87.4	31%	255.6	166.5	65%	106.7	42%
富山	111.6	43.7	39%	-	-	91.7	46.1	50%	8.6	9%
石川	33.9	20.1	59%	1.6	5%	25.6	23.8	93%	1.5	6%
福井	65.2	6.8	10%	6.8	10%	66.7	6.8	10%	6.8	10%
岐阜	27.5	12.0	44%	-	-	26.3	14.8	56%	2.6	10%
愛知	37.3	15.1	40%	-	-	34.3	14.5	42%	-	-
三重	31.9	17.7	56%	-	-	27.9	19.9	71%	-	-
滋賀	65.6	46.8	71%	36.0	55%	58.0	44.1	76%	35.3	61%
京都	14.4	8.0	55%	0.3	2%	12.6	8.0	64%	-	-
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	41.0	-	-	-	-	40.4	10.0	25%	-	-
奈良	9.2	-	-	-	-	8.7	-	-	-	-
和歌山	2.1	1.7	83%	-	-	1.5	-	-	-	-
鳥取	22.2	6.0	27%	-	-	21.0	5.4	26%	-	-
島根	39.4	31.9	81%	0.8	2%	38.8	35.0	90%	3.3	9%
岡山	15.0	-	-	-	-	25.3	-	-	-	-
広島	33.7	26.6	79%	2.0	6%	34.6	27.3	79%	2.0	6%
山口	32.0	24.3	76%	0.6	2%	32.7	24.4	74%	0.7	2%
徳島	6.1	-	-	-	-	5.3	0.9	17%	-	-
香川	26.7	12.9	48%	-	-	23.4	14.1	60%	-	-
愛媛	12.6	-	-	-	-	11.6	0.9	8%	-	-
高知	6.5	1.1	18%	-	-	6.9	2.1	30%	-	-
福岡	55.7	30.3	54%	-	-	53.8	32.9	61%	0.6	1%
佐賀	43.8	25.2	58%	-	-	42.6	26.4	62%	-	-
長崎	11.7	-	-	-	-	11.5	4.0	35%	-	-
熊本	38.3	16.0	42%	-	-	37.4	15.8	42%	-	-
大分	14.6	1.4	10%	-	-	13.4	5.9	44%	-	-
宮崎	16.3	8.4	51%	-	-	16.2	8.6	53%	-	-
鹿児島	14.9	-	-	-	-	13.1	-	-	-	-
沖縄	1.6	-	-	-	-	1.5	-	-	-	-
<b>全 国</b>	<b>3,076</b>	<b>1,260</b>	<b>41%</b>	<b>542</b>	<b>18%</b>	<b>2,870</b>	<b>1,376</b>	<b>48%</b>	<b>765</b>	<b>27%</b>

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。  
 2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。  
 3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。  
 4 事前契約分とは、3の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。  
 5 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。  
 6 「-」は、集荷数量や事前契約等に該当がないもの。



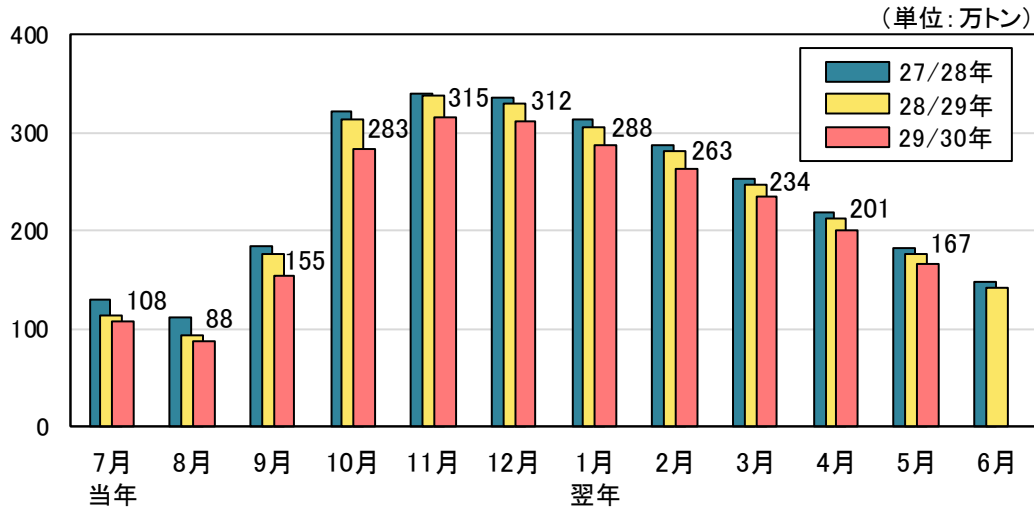
### Ⅲ 米の在庫情報

#### (1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

- 平成30年5月末の出荷及び販売段階における在庫は、対前年同月比▲10万トンの167万トンとなっている。

※ 都道府県別在庫量は、12頁以降参照。

【出荷＋販売段階】



		(単位: 万玄米トン)											
		当年	8月	9月	10月	11月	12月	翌年	2月	3月	4月	5月	6月
		7月					1月						
23/24年		83	55	134	298	327	320	291	259	224	185	147	113
	対前年差	▲36	▲47	▲78	▲53	▲46	▲43	▲48	▲46	▲14	▲14	▲9	▲5
	23年産米	0	8	106	273	304	300	275	246	214	177	141	108
	1年古米(22年産)	69	37	19	13	11	8	6	5	2	2	1	1
24/25年		78	62	167	337	357	351	324	293	264	229	190	157
	対前年差	▲5	+8	+33	+39	+30	+30	+33	+34	+40	+43	+43	+44
	24年産米	0	16	135	306	331	331	307	279	252	219	182	150
	1年古米(23年産)	73	41	26	20	15	9	7	5	4	3	2	2
25/26年		120	104	210	368	393	389	358	330	291	258	223	190
	対前年差	+42	+42	+43	+32	+36	+39	+34	+36	+27	+29	+33	+33
	25年産米	1	19	145	310	337	345	320	297	264	236	205	175
	1年古米(24年産)	114	82	59	47	43	32	25	22	17	13	10	8
26/27年	(注1)	119	103	198	344	368	365	343	314	280	243	208	168
	対前年差	▲1	▲2	▲12	▲24	▲25	▲24	▲15	▲16	▲11	▲15	▲15	▲21
	26年産米	0	14	131	285	316	323	306	283	255	220	188	155
	1年古米(25年産)	106	78	55	45	37	28	23	19	15	13	11	9
27/28年		130	112	184	321	341	337	314	287	254	218	183	147
	対前年差	+11	+9	▲13	▲23	▲27	▲28	▲29	▲26	▲26	▲26	▲24	▲21
	27年産米	0	13	112	261	289	297	282	262	233	201	168	135
	1年古米(26年産)	119	90	66	52	43	32	25	19	15	12	11	8
28/29年		114	93	177	314	338	329	306	282	248	212	177	141
	対前年差	▲16	▲19	▲7	▲7	▲3	▲8	▲8	▲6	▲6	▲5	▲7	▲7
	28年産米	1	14	122	267	299	299	284	264	233	201	167	135
	1年古米(27年産)	104	72	48	38	30	22	16	12	9	7	5	4
29/30年		108	88	155	283	315	312	288	263	234	201	167	
	対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲17	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	
	29年産米	1	15	104	241	282	288	270	249	223	192	160	
	1年古米(28年産)	103	71	48	39	29	21	14	11	8	6	5	

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。  
 4 期間については、29/30年であれば、29年7月～30年6月である。  
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。  
 6 26年産米以降は、政府備蓄米を含まない。それ以前の年産は、政府による買入までの間の政府備蓄米を含む。  
 7 米穀機構の25年産買入数量（35万トン）は、26/27年7月以降の在庫に含まれていない。

## 【出荷段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
23/24年	62	39	112	260	286	275	252	222	185	150	117	86
対前年差	▲38	▲46	▲75	▲50	▲43	▲45	▲49	▲46	▲16	▲15	▲11	▲6
23年産米	0	5	94	249	276	266	245	217	182	148	116	85
1年古米(22年産)	55	29	14	7	6	4	3	2	1	1	0	0
24/25年	56	41	136	287	305	295	275	247	213	183	151	121
対前年差	▲6	+2	+24	+26	+19	+20	+23	+25	+28	+33	+34	+35
24年産米	0	12	118	274	296	290	271	243	210	181	150	120
1年古米(23年産)	55	29	17	10	7	3	2	2	1	1	1	1
25/26年	90	77	173	309	332	331	306	282	244	217	188	159
対前年差	+34	+35	+37	+23	+27	+36	+31	+35	+31	+34	+37	+38
25年産米	1	16	132	285	310	316	294	271	236	210	183	155
1年古米(24年産)	89	61	40	21	19	13	10	8	6	5	4	3
26/27年	93	78	165	293	316	313	295	270	234	199	170	139
対前年差	+2	+2	▲8	▲16	▲17	▲18	▲11	▲12	▲10	▲18	▲18	▲20
26年産米	0	12	119	261	289	293	280	257	225	192	165	134
1年古米(25年産)	89	64	44	29	22	16	13	10	7	5	4	4
27/28年	105	89	157	278	296	292	273	249	210	178	149	117
対前年差	+12	+11	▲8	▲15	▲20	▲21	▲22	▲22	▲24	▲21	▲22	▲21
27年産米	0	11	100	237	262	267	254	234	202	171	143	112
1年古米(26年産)	101	76	55	39	32	23	18	14	8	6	5	4
28/29年	89	70	145	261	284	276	260	236	201	170	142	112
対前年差	▲16	▲20	▲12	▲17	▲11	▲16	▲13	▲12	▲9	▲7	▲7	▲5
28年産米	1	11	108	239	268	265	252	230	197	167	139	111
1年古米(27年産)	84	56	35	19	14	9	6	5	3	2	2	1
29/30年	84	66	124	231	262	258	240	218	186	157	130	
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲18	▲21	▲18	▲14	▲13	▲12	
29年産米	0	11	89	211	247	249	233	213	183	155	128	
1年古米(28年産)	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	

※本表の注意点は前頁の(1)出荷+販売段階の脚注を参照

## 【販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
23/24年	21	16	22	37	40	45	40	37	39	35	30	27
対前年差	+2	▲1	▲3	▲3	▲3	+2	+2	+1	+2	±0	+2	+1
23年産米	0	3	13	24	28	34	30	29	32	30	25	23
1年古米(22年産)	14	9	5	6	5	4	3	2	2	1	1	1
24/25年	22	21	30	50	52	56	49	46	51	46	39	36
対前年差	+1	+5	+8	+13	+11	+11	+9	+9	+12	+10	+8	+9
24年産米	0	4	17	32	35	41	37	36	42	38	32	31
1年古米(23年産)	18	13	8	10	8	6	5	3	3	2	2	1
25/26年	30	28	37	59	60	58	51	47	47	41	35	31
対前年差	+8	+7	+6	+9	+9	+3	+2	+1	▲4	▲4	▲4	▲5
25年産米	0	3	13	25	27	29	27	25	28	26	21	20
1年古米(24年産)	25	21	19	26	24	19	16	13	10	8	6	5
26/27年	27	24	32	51	52	52	47	44	46	44	37	30
対前年差	▲3	▲3	▲4	▲8	▲8	▲6	▲4	▲4	▲1	+3	+3	▲1
26年産米	0	3	13	24	26	30	27	26	29	29	24	21
1年古米(25年産)	17	14	11	16	15	12	10	8	8	8	7	5
27/28年	25	23	27	43	45	45	41	39	44	40	35	30
対前年差	▲2	▲2	▲5	▲8	▲7	▲7	▲7	▲5	▲2	▲4	▲3	±0
27年産米	0	2	11	24	27	29	27	28	32	30	25	23
1年古米(26年産)	17	14	10	13	12	9	7	5	7	6	6	4
28/29年	25	24	32	53	53	53	46	45	47	42	35	29
対前年差	+1	+1	+5	+10	+8	+8	+5	+7	+3	+2	±0	▲2
28年産米	0	3	14	28	31	35	31	33	37	34	28	25
1年古米(27年産)	19	16	13	20	17	13	9	7	6	4	3	3
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	
対前年差	▲2	▲1	▲1	±0	+1	+1	+3	±0	+1	+2	+2	
29年産米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	
1年古米(28年産)	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	

※本表の注意点は前頁の(1)出荷+販売段階の脚注を参照

## (2) 産地別民間在庫の状況（前年同月比）

平成29年産(30年5月末)

【出荷＋販売段階】

(単位:千トン)

産地	29年産 (H30.5末)	28年産 (H30.5末)	前年 同月比	産地	29年産 (H30.5末)	28年産 (H30.5末)	前年 同月比
北海道	189.7	154.9	122%	滋賀	24.1	29.9	81%
青森	94.3	85.6	110%	京都	6.6	8.8	75%
岩手	66.5	77.4	86%	大阪	1.2	1.5	83%
宮城	100.3	115.9	87%	兵庫	23.1	23.6	98%
秋田	127.9	129.8	99%	奈良	3.6	3.5	103%
山形	98.6	117.2	84%	和歌山	1.1	1.3	82%
福島	117.9	119.7	99%	鳥取	16.6	13.8	120%
茨城	58.5	54.9	107%	島根	15.0	14.6	103%
栃木	87.5	89.9	97%	岡山	30.1	23.9	126%
群馬	17.2	13.0	132%	広島	17.8	17.9	99%
埼玉	17.3	18.6	93%	山口	17.8	16.6	107%
千葉	40.8	37.0	110%	徳島	4.7	4.3	109%
東京	0.0	0.0	-	香川	10.0	12.1	83%
神奈川	0.8	0.8	95%	愛媛	5.6	6.3	89%
新潟	107.2	149.1	72%	高知	4.9	4.9	100%
富山	39.9	55.2	72%	福岡	31.0	36.3	85%
石川	24.8	31.6	78%	佐賀	20.7	17.9	116%
福井	26.3	29.2	90%	長崎	4.9	5.6	88%
山梨	2.5	2.7	91%	熊本	24.5	26.4	93%
長野	35.5	37.7	94%	大分	10.7	10.8	99%
岐阜	15.5	15.6	99%	宮崎	4.6	7.3	64%
静岡	4.9	6.0	81%	鹿児島	8.2	10.4	79%
愛知	20.3	19.7	103%	沖縄	0.0	0.0	-
三重	12.9	17.2	75%	全国計	1,595	1,677	95%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値である。

注2：出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の玄米仕入量が500トン以上)である。

注3：販売段階は、米穀の販売の事業を行う者(年間の玄米仕入量が4,000トン以上)である。

### (3) 平成28・29年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

(北海道から秋田) (単位:千玄米トン)

		29年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
北海道	出荷+販売段階	96.9	66.1	95.1	287.7	357.3	343.7	324.1	295.7	262.5	230.1	193.2		
	29年産米			54.1	256.8	334.6	328.3	313.1	287.9	256.6	225.1	189.7		
	1年古米(28年産)	95.3	64.9	40.2	30.4	22.4	15.1	10.8	7.6	5.8	4.9	3.4		
	出荷段階	70.6	45.9	72.6	221.9	290.1	272.3	258.5	237.4	209.8	181.0	152.7		
	29年産米			45.9	206.6	280.0	266.3	254.7	235.1	208.3	180.0	152.1		
	1年古米(28年産)	70.3	45.7	26.7	15.3	10.1	6.0	3.8	2.3	1.5	1.0	0.7		
	販売段階	26.3	20.2	22.4	65.8	67.2	71.4	65.6	58.2	52.8	49.1	40.4		
	29年産米			8.2	50.2	54.6	62.0	58.4	52.9	48.3	45.2	37.6		
	1年古米(28年産)	25.0	19.2	13.5	15.2	12.3	9.1	7.0	5.3	4.4	3.9	2.8		
	青森	出荷+販売段階	58.3	44.5	44.9	126.1	146.0	155.6	144.8	134.2	125.2	112.8	96.8	
		29年産米			13.1	102.6	129.2	143.5	135.3	126.9	121.1	109.5	94.3	
		1年古米(28年産)	57.0	43.5	31.0	22.9	16.3	11.7	9.2	7.1	3.9	3.1	2.3	
出荷段階		45.1	32.6	33.9	103.8	121.9	131.8	123.4	114.8	96.3	86.3	73.0		
29年産米				12.8	93.7	116.4	128.2	120.7	112.9	96.2	86.3	73.0		
1年古米(28年産)		45.0	32.6	21.0	10.1	5.4	3.6	2.7	1.9	0.1	0.1			
販売段階		13.2	11.9	11.0	22.4	24.1	23.7	21.4	19.4	28.8	26.4	23.8		
29年産米				0.2	8.9	12.8	15.3	14.6	14.0	24.9	23.3	21.3		
1年古米(28年産)		12.0	10.9	9.9	12.9	10.8	8.1	6.5	5.2	3.8	3.0	2.3		
岩手		出荷+販売段階	51.3	36.8	25.6	97.0	119.6	127.7	119.3	106.6	95.0	83.9	69.3	
		29年産米			1.2	71.5	99.9	115.2	111.6	100.7	90.6	80.4	66.5	
		1年古米(28年産)	50.2	36.0	23.8	25.1	19.4	12.3	7.5	5.8	4.3	3.4	2.7	
	出荷段階	44.5	30.6	20.2	78.8	100.7	109.8	105.6	94.6	78.9	66.9	55.7		
	29年産米			0.9	66.4	91.6	104.5	102.2	92.0	77.2	65.5	54.5		
	1年古米(28年産)	44.3	30.5	19.1	12.3	9.0	5.4	3.4	2.6	1.8	1.5	1.2		
	販売段階	6.8	6.2	5.4	18.2	19.0	17.8	13.7	12.1	16.0	17.0	13.6		
	29年産米			0.2	5.1	8.2	10.7	9.5	8.7	13.4	14.9	12.0		
	1年古米(28年産)	6.0	5.5	4.7	12.7	10.4	6.9	4.1	3.2	2.5	1.9	1.5		
	宮城	出荷+販売段階	80.4	59.1	55.0	150.6	153.4	160.9	155.8	156.2	143.3	122.4	104.2	
		29年産米			15.2	117.2	130.4	145.5	145.4	148.2	137.1	117.5	100.3	
		1年古米(28年産)	78.9	57.9	38.8	32.7	22.5	15.0	10.0	7.6	5.9	4.6	3.7	
出荷段階		69.4	49.3	46.2	129.5	130.2	136.6	136.2	138.8	122.6	104.2	89.5		
29年産米				14.4	109.4	118.1	129.5	131.5	135.2	120.0	102.1	87.8		
1年古米(28年産)		69.1	49.0	31.7	20.0	12.2	7.1	4.8	3.6	2.7	2.1	1.7		
販売段階		11.0	9.8	8.8	21.0	23.2	24.3	19.5	17.4	20.6	18.2	14.7		
29年産米				0.8	7.8	12.4	16.0	13.9	13.0	17.1	15.5	12.4		
1年古米(28年産)		9.9	8.8	7.2	12.7	10.4	7.9	5.2	4.1	3.2	2.5	2.0		
秋田		出荷+販売段階	73.9	46.3	64.0	237.7	248.4	243.5	226.0	205.8	187.2	159.1	132.1	
		29年産米			38.8	216.7	230.5	228.3	213.7	196.1	179.6	153.6	127.9	
		1年古米(28年産)	69.5	43.0	22.6	19.0	16.4	13.9	10.9	8.3	6.5	4.7	3.6	
	出荷段階	57.4	34.0	52.0	215.3	223.5	213.5	198.4	177.4	149.1	127.4	105.6		
	29年産米			36.0	205.5	215.6	207.4	193.5	173.9	146.5	125.7	104.2		
	1年古米(28年産)	55.2	32.4	14.8	8.8	7.1	5.6	4.8	3.4	2.6	1.7	1.3		
	販売段階	16.5	12.3	11.9	22.4	24.9	30.0	27.6	28.4	38.1	31.7	26.5		
	29年産米			2.8	11.2	14.9	20.9	20.2	22.2	33.2	27.9	23.7		
	1年古米(28年産)	14.3	10.6	7.8	10.2	9.3	8.4	6.1	5.0	3.9	3.0	2.2		

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちも及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単-農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。  
 4 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、28年産米と1年古米（27年産）の合計と一致しない場合がある。

(山形から埼玉)

(単位:千玄米トン)

		29年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷+販売段階	82.4	63.1	60.1	172.7	196.8	208.9	188.3	167.0	144.2	124.4	104.0	
	29年産米			12.1	139.6	171.1	187.2	174.5	156.0	135.7	117.7	98.6	
	1年古米(28年産)	79.1	60.6	45.8	31.5	24.7	21.0	13.4	10.6	8.3	6.6	5.4	
	出荷段階	71.4	52.1	49.6	154.3	176.9	185.0	168.3	150.4	129.1	109.1	91.0	
	29年産米			11.9	132.5	160.9	173.7	161.6	145.8	125.7	106.3	88.8	
	1年古米(28年産)	70.4	51.4	37.0	21.2	15.8	11.1	6.5	4.4	3.3	2.7	2.1	
	販売段階	10.9	11.0	10.5	18.3	19.9	23.9	20.0	16.6	15.1	15.3	13.1	
	29年産米			0.3	7.0	10.2	13.5	12.8	10.2	10.0	11.3	9.8	
	1年古米(28年産)	8.7	9.2	8.8	10.3	9.0	10.0	6.9	6.2	4.9	3.9	3.2	
福島	出荷+販売段階	82.4	57.3	47.2	179.0	209.2	205.0	186.9	182.2	163.3	142.4	121.2	
	29年産米			7.3	131.0	172.6	184.4	177.4	175.3	158.1	138.2	117.9	
	1年古米(28年産)	80.7	56.0	39.0	47.4	36.1	20.2	9.3	6.8	5.1	4.2	3.2	
	出荷段階	65.2	43.1	35.7	139.0	165.2	166.2	153.9	142.4	124.3	107.9	92.4	
	29年産米			6.6	117.5	149.9	158.7	151.0	140.6	123.0	106.9	91.7	
	1年古米(28年産)	64.7	42.7	28.8	21.3	15.3	7.5	2.8	1.9	1.3	1.1	0.8	
	販売段階	17.2	14.2	11.6	40.1	43.9	38.8	33.0	39.7	39.0	34.5	28.8	
	29年産米			0.7	13.5	22.6	25.8	26.3	34.7	35.1	31.3	26.3	
	1年古米(28年産)	16.0	13.3	10.2	26.1	20.9	12.7	6.5	4.9	3.8	3.1	2.5	
茨城	出荷+販売段階	29.0	36.7	115.8	129.1	122.0	115.8	110.4	97.0	85.5	71.9	59.5	
	29年産米		20.8	105.4	121.7	116.3	111.1	106.7	94.1	83.6	70.5	58.5	
	1年古米(28年産)	28.7	15.6	10.2	7.2	5.5	4.5	3.6	2.8	1.9	1.3	1.0	
	出荷段階	16.2	20.2	76.5	86.4	82.3	78.4	73.5	63.1	51.3	41.6	32.8	
	29年産米		13.4	74.0	84.7	80.9	77.2	72.7	62.4	50.9	41.3	32.6	
	1年古米(28年産)	16.1	6.8	2.6	1.6	1.3	1.1	0.8	0.6	0.4	0.3	0.2	
	販売段階	12.9	16.5	39.3	42.7	39.7	37.4	36.9	34.0	34.2	30.2	26.7	
	29年産米		7.4	31.4	37.0	35.4	33.8	34.1	31.7	32.7	29.2	25.8	
	1年古米(28年産)	12.6	8.8	7.7	5.6	4.2	3.4	2.7	2.2	1.5	1.0	0.8	
栃木	出荷+販売段階	66.1	48.0	104.6	142.1	151.7	150.6	138.8	129.3	119.3	104.3	90.4	
	29年産米			70.1	107.9	129.8	136.5	128.6	121.4	112.8	100.4	87.5	
	1年古米(28年産)	61.8	45.0	32.6	33.2	21.3	13.7	9.8	7.7	6.3	3.8	2.7	
	出荷段階	49.7	34.9	88.1	109.5	123.2	124.6	117.5	107.0	92.5	77.2	66.0	
	29年産米			63.8	95.6	115.2	119.7	114.0	104.2	90.1	76.4	65.6	
	1年古米(28年産)	48.2	34.0	23.7	13.7	7.9	4.9	3.5	2.8	2.3	0.8	0.4	
	販売段階	16.4	13.1	16.5	32.6	28.5	26.0	21.3	22.4	26.8	27.2	24.3	
	29年産米			6.2	12.4	14.5	16.8	14.6	17.2	22.6	24.0	22.0	
	1年古米(28年産)	13.5	11.0	8.8	19.4	13.4	8.8	6.3	5.0	4.0	3.0	2.3	
群馬	出荷+販売段階	8.7	5.9	4.3	5.3	17.1	30.0	32.4	29.7	27.4	20.2	17.3	
	29年産米			0.6	3.4	15.8	29.1	31.8	29.2	27.1	20.1	17.2	
	1年古米(28年産)	8.3	5.7	3.7	1.9	1.3	0.8	0.6	0.4	0.3	0.1	0.1	
	出荷段階	6.5	3.9	2.7	3.3	14.3	27.0	29.8	26.0	23.5	16.1	13.3	
	29年産米			0.5	3.1	14.2	27.0	29.8	26.0	23.5	16.1	13.3	
	1年古米(28年産)	6.5	3.9	2.2	0.2	0.1							
	販売段階	2.2	2.0	1.6	2.0	2.8	3.0	2.6	3.7	3.9	4.2	4.0	
	29年産米			0.1	0.3	1.6	2.1	1.9	3.2	3.6	4.1	3.9	
	1年古米(28年産)	1.8	1.8	1.5	1.7	1.2	0.8	0.6	0.4	0.3	0.1	0.1	
埼玉	出荷+販売段階	13.0	10.7	18.3	26.7	32.0	33.6	31.3	28.7	25.6	21.9	18.0	
	29年産米		1.1	8.6	20.4	27.9	30.7	28.9	26.9	24.6	21.0	17.3	
	1年古米(28年産)	12.9	9.5	9.7	6.2	4.1	3.0	2.3	1.8	1.0	0.9	0.7	
	出荷段階	8.5	6.6	11.0	19.5	24.0	25.8	24.3	22.2	17.8	15.0	12.0	
	29年産米		0.7	7.1	17.0	22.4	24.7	23.4	21.6	17.7	14.9	12.0	
	1年古米(28年産)	8.5	5.9	4.0	2.5	1.6	1.1	0.8	0.6	0.1	0.1		
	販売段階	4.5	4.1	7.3	7.1	8.1	7.8	7.0	6.5	7.8	6.9	6.0	
	29年産米		0.4	1.6	3.4	5.6	5.9	5.5	5.3	6.8	6.1	5.3	
	1年古米(28年産)	4.4	3.6	5.7	3.7	2.5	1.9	1.5	1.2	1.0	0.8	0.7	



(千葉から静岡)

(単位:千玄米トン)

		29年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷+販売段階	16.5	60.3	116.2	108.4	99.4	90.0	87.0	75.4	63.6	54.1	41.2	
	29年産米		52.5	111.2	105.0	96.8	88.3	85.8	74.3	62.9	53.6	40.8	
	1年古米(28年産)	16.4	7.7	5.0	3.3	2.5	1.7	1.2	1.0	0.7	0.5	0.4	
	出荷段階	10.6	48.9	94.3	86.4	79.4	67.8	61.9	54.2	42.7	34.0	25.3	
	29年産米		46.5	93.2	85.7	78.9	67.6	61.8	54.1	42.6	34.0	25.3	
	1年古米(28年産)	10.6	2.4	1.1	0.7	0.5	0.3	0.1	0.1				
	販売段階	5.9	11.4	21.9	22.0	20.0	22.2	25.1	21.2	21.0	20.1	15.9	
	29年産米		6.0	17.9	19.4	17.9	20.7	23.9	20.2	20.3	19.6	15.5	
	1年古米(28年産)	5.8	5.3	3.9	2.6	2.0	1.5	1.1	1.0	0.6	0.5	0.4	
東京	出荷+販売段階												
	29年産米												
	1年古米(28年産)												
	出荷段階												
	29年産米												
	1年古米(28年産)												
	販売段階												
	29年産米												
	1年古米(28年産)												
神奈川	出荷+販売段階	0.5	0.4	0.6	2.2	2.4	2.0	1.7	1.5	1.3	1.0	0.8	
	29年産米			0.3	2.2	2.3	2.0	1.7	1.4	1.3	1.0	0.8	
	1年古米(28年産)	0.5	0.4	0.3	0.1								
	出荷段階	0.5	0.4	0.6	2.2	2.3	1.9	1.7	1.4	1.2	1.0	0.7	
	29年産米			0.3	2.2	2.3	1.9	1.7	1.4	1.2	1.0	0.7	
	1年古米(28年産)	0.5	0.4	0.3									
	販売段階				0.1	0.1				0.1	0.1	0.1	
	29年産米									0.1	0.1	0.1	
	1年古米(28年産)												
山梨	出荷+販売段階	1.7	1.0	1.6	3.8	4.2	5.4	5.0	4.4	3.8	3.0	2.5	
	29年産米			1.1	3.5	4.0	5.3	4.8	4.3	3.7	3.0	2.5	
	1年古米(28年産)	1.7	1.0	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1			
	出荷段階	1.4	0.8	1.4	3.4	3.6	4.7	4.4	3.9	3.3	2.6	2.2	
	29年産米			1.1	3.3	3.5	4.7	4.3	3.8	3.2	2.6	2.1	
	1年古米(28年産)	1.3	0.8	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			
	販売段階	0.4	0.3	0.2	0.4	0.6	0.7	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3	
	29年産米				0.3	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	
	1年古米(28年産)	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1					
長野	出荷+販売段階	24.8	17.8	28.7	60.9	77.0	72.0	63.7	56.9	49.9	43.2	36.1	
	29年産米			16.8	50.5	69.9	67.6	61.8	55.7	49.0	42.5	35.5	
	1年古米(28年産)	24.7	17.8	11.9	10.4	7.1	4.4	1.8	1.2	1.0	0.7	0.6	
	出荷段階	21.6	15.0	26.0	54.2	69.9	63.6	57.6	51.1	44.1	37.2	31.2	
	29年産米			16.2	48.0	65.8	61.8	57.1	50.8	43.9	37.0	31.0	
	1年古米(28年産)	21.6	15.0	9.8	6.2	4.1	1.9	0.5	0.3	0.2	0.2	0.1	
	販売段階	3.3	2.9	2.7	6.6	7.1	8.3	6.1	5.8	5.9	6.1	4.9	
	29年産米			0.7	2.4	4.1	5.8	4.8	4.9	5.1	5.5	4.4	
	1年古米(28年産)	3.1	2.8	2.0	4.2	3.1	2.5	1.3	0.9	0.8	0.6	0.5	
静岡	出荷+販売段階	2.9	6.0	15.2	16.9	17.5	15.9	12.1	10.5	8.7	6.8	4.9	
	29年産米		4.3	14.2	16.5	17.2	15.6	11.9	10.4	8.6	6.7	4.9	
	1年古米(28年産)	2.8	1.6	0.9	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1		
	出荷段階	2.1	3.9	9.9	11.3	12.5	11.5	8.3	7.3	6.1	4.5	3.2	
	29年産米		2.5	9.2	11.3	12.5	11.5	8.3	7.3	6.1	4.5	3.2	
	1年古米(28年産)	2.1	1.3	0.7									
	販売段階	0.8	2.1	5.4	5.6	5.1	4.3	3.8	3.2	2.7	2.3	1.7	
	29年産米		1.7	5.1	5.2	4.7	4.1	3.6	3.1	2.6	2.2	1.7	
	1年古米(28年産)	0.7	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1		

(新潟から愛知)

(単位:千玄米トン)

		29年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷+販売段階	93.9	60.8	200.2	306.6	297.9	265.7	238.8	208.7	178.9	147.4	116.0	
	29年産米		0.1	160.1	268.5	265.1	238.8	218.0	192.3	163.8	136.1	107.2	
	1年古米(28年産)	89.4	58.5	39.2	37.6	32.3	26.4	20.5	16.0	14.7	11.0	8.6	
	出荷段階	80.0	50.8	184.3	276.5	269.5	238.0	215.1	186.5	155.7	126.7	97.9	
	29年産米		0.1	150.1	251.5	248.0	220.6	201.1	175.4	147.7	120.2	92.9	
	1年古米(28年産)	77.6	49.5	33.6	24.6	21.1	17.1	13.7	10.8	7.8	6.1	4.8	
	販売段階	13.9	10.0	15.9	30.2	28.4	27.6	23.8	22.2	23.1	20.8	18.1	
	29年産米			10.0	16.9	17.0	18.3	16.9	16.9	16.2	15.8	14.3	
	1年古米(28年産)	11.8	9.0	5.5	13.0	11.2	9.3	6.8	5.3	6.9	4.9	3.8	
富山	出荷+販売段階	31.5	20.2	72.8	94.4	93.9	84.9	77.3	69.8	59.8	51.0	40.7	
	29年産米		0.6	59.5	87.3	88.5	80.9	74.6	67.9	58.4	49.9	39.9	
	1年古米(28年産)	31.3	19.5	13.2	7.1	5.3	3.9	2.7	1.8	1.4	1.1	0.8	
	出荷段階	25.2	15.1	65.9	82.7	83.3	74.6	68.7	62.4	51.6	43.0	34.6	
	29年産米		0.3	55.8	82.0	82.9	74.4	68.6	62.3	51.5	43.0	34.6	
	1年古米(28年産)	25.2	14.8	10.1	0.7	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1			
	販売段階	6.3	5.0	6.8	11.7	10.6	10.3	8.6	7.4	8.2	8.0	6.1	
	29年産米		0.3	3.7	5.3	5.6	6.5	6.0	5.6	6.9	6.9	5.4	
	1年古米(28年産)	6.1	4.6	3.1	6.4	4.9	3.8	2.6	1.7	1.3	1.1	0.8	
石川	出荷+販売段階	17.7	12.1	54.4	64.8	60.2	55.8	49.3	43.7	37.6	31.4	25.2	
	29年産米		1.2	47.0	58.9	55.8	53.1	47.7	42.3	36.6	30.8	24.8	
	1年古米(28年産)	17.5	10.8	7.3	5.8	4.3	2.6	1.6	1.4	0.9	0.5	0.4	
	出荷段階	14.2	8.9	34.7	42.9	40.3	38.0	34.5	30.5	25.9	21.4	17.3	
	29年産米		0.4	28.8	38.9	37.5	36.5	33.5	29.7	25.4	21.1	17.1	
	1年古米(28年産)	14.1	8.5	5.8	3.9	2.8	1.4	1.0	0.8	0.5	0.3	0.2	
	販売段階	3.5	3.1	19.7	21.9	20.0	17.8	14.8	13.3	11.7	9.9	7.9	
	29年産米		0.8	18.2	20.0	18.4	16.6	14.2	12.6	11.2	9.7	7.7	
	1年古米(28年産)	3.4	2.3	1.5	1.9	1.6	1.1	0.6	0.7	0.4	0.3	0.2	
福井	出荷+販売段階	15.8	15.8	50.2	76.2	69.5	62.6	56.1	49.1	43.6	34.8	26.8	
	29年産米		4.9	42.8	70.1	65.4	60.2	54.4	47.8	42.5	34.0	26.3	
	1年古米(28年産)	15.8	10.9	7.4	6.1	4.1	2.4	1.8	1.3	1.1	0.8	0.6	
	出荷段階	12.7	11.1	41.7	59.9	55.8	49.2	44.9	39.5	34.9	27.5	20.8	
	29年産米		2.4	35.9	57.6	54.1	48.2	44.1	38.9	34.5	27.1	20.5	
	1年古米(28年産)	12.7	8.7	5.8	2.3	1.7	1.0	0.8	0.6	0.4	0.3	0.2	
	販売段階	3.1	4.7	8.5	16.3	13.7	13.4	11.2	9.6	8.7	7.4	6.1	
	29年産米		2.5	6.8	12.5	11.3	12.0	10.2	8.8	8.0	6.9	5.7	
	1年古米(28年産)	3.1	2.2	1.6	3.7	2.4	1.4	1.0	0.8	0.6	0.5	0.3	
岐阜	出荷+販売段階	12.0	10.5	10.9	13.3	21.0	21.8	23.1	21.7	20.4	18.5	16.4	
	29年産米		1.6	4.1	8.4	17.0	18.9	20.8	19.9	18.9	17.3	15.5	
	1年古米(28年産)	10.9	8.1	6.1	4.3	3.4	2.4	1.9	1.4	1.1	0.9	0.7	
	出荷段階	9.0	7.8	8.0	9.1	16.2	17.1	18.7	17.3	15.1	13.4	12.1	
	29年産米		1.3	3.4	6.6	14.2	15.7	17.6	16.5	14.4	13.1	11.9	
	1年古米(28年産)	8.9	6.5	4.5	2.4	2.0	1.4	1.0	0.8	0.6	0.3	0.2	
	販売段階	3.0	2.7	3.0	4.2	4.8	4.7	4.4	4.4	5.3	5.1	4.2	
	29年産米		0.3	0.7	1.8	2.9	3.2	3.1	3.4	4.5	4.2	3.5	
	1年古米(28年産)	2.0	1.6	1.6	1.8	1.4	1.0	0.8	0.6	0.5	0.6	0.5	
愛知	出荷+販売段階	12.8	11.9	14.3	22.6	34.0	36.8	34.7	32.0	28.8	25.1	20.9	
	29年産米		2.3	8.9	20.6	32.0	35.4	33.3	30.9	27.9	24.4	20.3	
	1年古米(28年産)	12.4	9.4	5.3	2.0	2.0	1.3	1.4	1.1	0.9	0.8	0.7	
	出荷段階	10.8	9.6	11.3	18.5	27.9	29.4	27.9	25.6	23.3	20.4	17.3	
	29年産米		1.6	7.2	17.2	26.8	28.9	27.5	25.3	23.0	20.1	17.1	
	1年古米(28年産)	10.8	8.0	4.1	1.3	1.0	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	
	販売段階	2.0	2.2	2.9	4.2	6.2	7.3	6.8	6.4	5.5	4.8	3.6	
	29年産米		0.7	1.7	3.4	5.2	6.5	5.8	5.6	4.8	4.2	3.1	
	1年古米(28年産)	1.6	1.4	1.2	0.7	0.9	0.8	1.0	0.8	0.7	0.5	0.5	

(三重から奈良)

(単位:千玄米トン)

		29年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷+販売段階	7.5	16.9	40.1	41.2	38.6	34.9	31.6	27.1	22.9	18.7	13.8	
	29年産米		12.7	37.1	38.7	36.2	32.7	29.8	25.4	21.6	17.6	12.9	
	1年古米(28年産)	7.0	4.0	3.0	2.5	2.3	2.1	1.8	1.6	1.3	1.1	0.9	
	出荷段階	5.5	13.4	35.3	36.8	34.4	30.4	27.7	23.6	19.9	16.1	11.7	
	29年産米		10.4	33.3	35.2	32.9	29.0	26.5	22.6	19.0	15.3	11.0	
	1年古米(28年産)	5.2	2.7	2.0	1.7	1.5	1.4	1.2	1.1	0.9	0.8	0.7	
	販売段階	2.0	3.6	4.7	4.4	4.1	4.5	3.9	3.4	3.0	2.7	2.1	
	29年産米		2.2	3.8	3.5	3.3	3.7	3.3	2.9	2.6	2.3	1.9	
	1年古米(28年産)	1.8	1.2	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6	0.4	0.3	0.2	
滋賀	出荷+販売段階	15.1	13.3	52.0	56.1	56.5	51.8	46.5	42.5	38.3	32.4	25.2	
	29年産米		3.7	45.1	50.7	52.1	48.3	43.8	40.5	36.6	31.1	24.1	
	1年古米(28年産)	14.7	9.3	6.6	5.2	4.4	3.5	2.7	2.0	1.7	1.3	1.1	
	出荷段階	12.3	10.0	45.9	50.0	50.3	44.7	40.2	37.2	32.5	27.0	20.8	
	29年産米		3.3	42.3	47.1	47.8	42.7	38.6	36.0	31.5	26.2	20.2	
	1年古米(28年産)	11.9	6.5	3.5	2.8	2.4	1.9	1.6	1.3	1.0	0.8	0.6	
	販売段階	2.9	3.2	6.0	6.1	6.2	7.1	6.4	5.3	5.9	5.5	4.4	
	29年産米		0.4	2.9	3.6	4.3	5.6	5.2	4.5	5.1	4.9	3.9	
	1年古米(28年産)	2.8	2.8	3.1	2.4	1.9	1.5	1.2	0.8	0.7	0.5	0.4	
京都	出荷+販売段階	5.3	3.6	10.2	12.2	12.8	13.6	12.5	11.1	9.7	8.3	6.7	
	29年産米		0.1	8.0	11.2	11.8	12.8	12.0	10.8	9.5	8.1	6.6	
	1年古米(28年産)	5.2	3.6	2.2	1.0	1.0	0.8	0.5	0.4	0.3	0.3	0.1	
	出荷段階	4.0	2.8	8.8	9.9	10.3	11.0	10.5	9.3	8.1	6.7	5.4	
	29年産米		0.1	7.3	9.8	10.2	10.9	10.4	9.2	8.0	6.6	5.4	
	1年古米(28年産)	4.0	2.7	1.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	販売段階	1.3	0.9	1.4	2.3	2.5	2.6	2.0	1.8	1.6	1.6	1.3	
	29年産米			0.7	1.4	1.6	1.9	1.6	1.5	1.4	1.5	1.2	
	1年古米(28年産)	1.3	0.9	0.7	0.9	0.9	0.7	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	
大阪	出荷+販売段階	0.9	0.6	0.8	1.2	1.2	2.5	2.4	2.2	1.9	1.6	1.3	
	29年産米			0.4	0.9	0.9	2.3	2.2	2.1	1.8	1.5	1.2	
	1年古米(28年産)	0.9	0.6	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	
	出荷段階	0.7	0.5	0.6	0.9	1.0	2.1	1.9	1.8	1.5	1.2	1.0	
	29年産米			0.4	0.8	0.9	2.1	1.9	1.8	1.5	1.2	1.0	
	1年古米(28年産)	0.7	0.5	0.2	0.1	0.1							
	販売段階	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	
	29年産米					0.1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	
	1年古米(28年産)	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	
兵庫	出荷+販売段階	15.7	11.0	25.9	29.3	49.7	47.0	36.1	32.1	31.9	27.9	23.6	
	29年産米			18.8	26.9	47.8	45.5	34.9	31.1	31.1	27.3	23.1	
	1年古米(28年産)	15.4	10.6	6.9	2.2	1.7	1.2	1.0	0.8	0.5	0.4	0.2	
	出荷段階	13.2	8.9	23.4	24.8	44.8	42.7	31.1	27.6	27.6	24.0	20.5	
	29年産米			17.7	24.5	44.6	42.6	31.1	27.6	27.6	24.0	20.5	
	1年古米(28年産)	13.2	8.9	5.7	0.3	0.2	0.1	0.1					
	販売段階	2.5	2.0	2.6	4.4	4.9	4.3	5.0	4.5	4.2	3.9	3.1	
	29年産米			1.1	2.3	3.2	2.9	3.9	3.5	3.5	3.3	2.7	
	1年古米(28年産)	2.1	1.7	1.2	1.8	1.5	1.2	0.9	0.7	0.5	0.4	0.2	
奈良	出荷+販売段階	2.2	1.5	1.6	4.6	8.6	7.8	7.1	6.3	5.6	4.7	3.8	
	29年産米			0.7	4.2	8.2	7.5	6.8	6.1	5.4	4.5	3.6	
	1年古米(28年産)	2.1	1.4	0.8	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	
	出荷段階	0.5	0.3	0.8	3.4	7.0	6.3	5.8	5.1	3.4	2.8	2.3	
	29年産米			0.7	3.4	7.0	6.3	5.8	5.1	3.4	2.8	2.3	
	1年古米(28年産)	0.5	0.3	0.1									
	販売段階	1.7	1.2	0.8	1.2	1.6	1.5	1.3	1.2	2.1	1.9	1.4	
	29年産米			0.1	0.7	1.2	1.2	1.1	1.0	1.9	1.7	1.3	
	1年古米(28年産)	1.6	1.1	0.7	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	

## (和歌山から山口)

(単位:千玄米トン)

		29年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷+販売段階	0.8	0.5	0.9	1.7	1.7	2.0	1.7	1.6	1.4	1.3	1.1	
	29年産米			0.5	1.5	1.6	1.8	1.7	1.5	1.4	1.2	1.1	
	1年古米(28年産)	0.8	0.5	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
	出荷段階	0.6	0.4	0.5	1.4	1.3	1.1	1.0	0.9				
	29年産米			0.5	1.4	1.3	1.1	1.0	0.9				
	1年古米(28年産)	0.6	0.4										
	販売段階	0.3	0.1	0.4	0.4	0.4	0.9	0.8	0.7	1.4	1.3	1.1	
	29年産米				0.1	0.2	0.7	0.7	0.6	1.4	1.2	1.1	
	1年古米(28年産)	0.2	0.1	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
鳥取	出荷+販売段階	7.2	4.6	9.5	21.0	21.9	29.5	29.0	27.6	24.5	21.0	16.7	
	29年産米			6.6	18.7	20.2	28.3	28.3	27.1	24.2	20.8	16.6	
	1年古米(28年産)	7.2	4.5	2.8	2.2	1.7	1.2	0.7	0.5	0.3	0.2	0.2	
	出荷段階	5.2	3.0	7.8	18.1	19.1	26.7	23.9	21.9	19.3	16.6	13.2	
	29年産米			6.0	17.1	18.3	26.1	23.7	21.8	19.2	16.6	13.2	
	1年古米(28年産)	5.2	3.0	1.8	1.1	0.8	0.5	0.2	0.1	0.1			
	販売段階	2.0	1.6	1.7	2.9	2.9	2.9	5.2	5.7	5.2	4.4	3.5	
	29年産米			0.6	1.7	1.9	2.2	4.6	5.3	4.9	4.2	3.3	
	1年古米(28年産)	1.9	1.5	1.0	1.2	0.9	0.7	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	
島根	出荷+販売段階	8.3	6.3	28.0	33.6	33.4	30.1	27.6	24.8	21.8	18.4	15.1	
	29年産米		1.0	24.3	31.6	32.0	29.3	27.1	24.5	21.6	18.3	15.0	
	1年古米(28年産)	8.2	5.2	3.7	1.9	1.3	0.7	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	
	出荷段階	6.7	4.7	25.6	30.0	30.1	27.3	25.2	22.6	19.5	16.3	13.2	
	29年産米		0.8	23.0	29.7	29.8	27.1	25.1	22.6	19.5	16.3	13.2	
	1年古米(28年産)	6.7	3.8	2.5	0.3	0.3	0.2	0.1					
	販売段階	1.6	1.6	2.5	3.6	3.3	2.7	2.4	2.2	2.3	2.1	1.8	
	29年産米		0.1	1.3	2.0	2.2	2.2	2.0	1.9	2.1	2.0	1.8	
	1年古米(28年産)	1.5	1.4	1.2	1.6	1.0	0.5	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	
岡山	出荷+販売段階	14.9	10.2	15.9	23.2	40.2	53.2	43.2	40.8	38.3	34.8	30.2	
	29年産米			8.9	19.4	37.8	51.9	42.4	40.3	38.0	34.6	30.1	
	1年古米(28年産)	14.8	10.1	6.9	3.7	2.3	1.3	0.8	0.5	0.3	0.2	0.1	
	出荷段階	11.4	7.5	11.3	17.3	32.7	45.2	36.1	34.3	29.7	26.9	23.2	
	29年産米			7.5	16.6	32.3	45.1	36.0	34.2	29.7	26.8	23.1	
	1年古米(28年産)	11.4	7.4	3.9	0.7	0.4	0.1						
	販売段階	3.5	2.7	4.5	5.8	7.5	8.0	7.1	6.5	8.5	7.9	7.0	
	29年産米			1.5	2.8	5.5	6.8	6.4	6.0	8.3	7.8	6.9	
	1年古米(28年産)	3.4	2.6	3.0	3.0	1.9	1.2	0.7	0.5	0.2	0.2	0.1	
広島	出荷+販売段階	10.4	6.9	23.2	38.6	40.3	36.8	32.6	29.5	25.7	22.2	18.1	
	29年産米		0.3	19.5	36.5	38.8	35.9	31.9	29.0	25.2	21.9	17.8	
	1年古米(28年産)	10.3	6.4	3.5	2.0	1.4	0.8	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	
	出荷段階	7.5	4.8	19.6	33.4	35.0	31.7	28.1	25.2	19.0	16.8	13.9	
	29年産米		0.2	17.8	33.0	34.8	31.7	28.1	25.2	19.0	16.8	13.9	
	1年古米(28年産)	7.5	4.6	1.8	0.3	0.2							
	販売段階	3.0	2.1	3.7	5.2	5.3	5.0	4.5	4.3	6.6	5.4	4.2	
	29年産米			1.8	3.5	4.0	4.1	3.8	3.8	6.2	5.0	4.0	
	1年古米(28年産)	2.8	1.9	1.7	1.6	1.2	0.8	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	
山口	出荷+販売段階	11.5	8.8	20.0	30.9	34.2	33.6	30.9	27.9	24.7	21.7	18.4	
	29年産米		0.5	14.1	26.8	30.8	30.9	28.8	26.3	23.7	20.9	17.8	
	1年古米(28年産)	11.1	8.0	5.8	4.0	3.3	2.7	2.1	1.5	1.0	0.7	0.6	
	出荷段階	10.0	7.4	18.6	26.0	29.8	29.3	27.2	24.8	20.0	18.6	16.3	
	29年産米		0.4	13.6	26.0	29.8	29.2	27.2	24.8	19.9	18.6	16.3	
	1年古米(28年産)	10.0	7.0	4.9									
	販売段階	1.5	1.4	1.5	4.8	4.4	4.4	3.8	3.0	4.8	3.1	2.1	
	29年産米		0.1	0.4	0.8	1.1	1.7	1.7	1.5	3.7	2.3	1.6	
	1年古米(28年産)	1.1	1.0	0.8	4.0	3.2	2.7	2.0	1.5	1.0	0.7	0.5	

(徳島から佐賀)

(単位:千玄米トン)

		29年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷+販売段階	2.3	10.8	14.2	13.7	12.5	11.5	10.0	9.0	7.0	6.0	5.0	
	29年産米		9.4	13.1	12.8	11.7	10.9	9.5	8.5	6.7	5.7	4.7	
	1年古米(28年産)	2.1	1.2	0.9	0.7	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	
	出荷段階	0.7	7.9	10.6	9.8	8.6	8.0	7.0	6.0	3.1	2.7	2.1	
	29年産米		7.6	10.3	9.8	8.6	8.0	7.0	6.0	3.1	2.7	2.1	
	1年古米(28年産)	0.7	0.3	0.3									
	販売段階	1.6	2.9	3.6	3.9	3.9	3.5	3.1	2.9	3.9	3.3	2.9	
	29年産米		1.8	2.8	3.0	3.2	2.9	2.5	2.5	3.5	3.0	2.6	
	1年古米(28年産)	1.4	0.9	0.6	0.7	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	
香川	出荷+販売段階	7.5	6.0	6.6	13.0	19.4	18.7	17.0	15.6	14.2	12.5	10.2	
	29年産米		0.7	3.2	11.4	18.5	18.0	16.3	15.1	13.9	12.3	10.0	
	1年古米(28年産)	7.3	5.2	3.3	1.5	0.9	0.7	0.6	0.5	0.4	0.2	0.1	
	出荷段階	6.4	5.1	5.4	11.6	17.4	17.0	15.6	14.4	13.0	11.6	9.4	
	29年産米		0.6	3.1	11.0	17.4	17.0	15.6	14.4	13.0	11.6	9.4	
	1年古米(28年産)	6.4	4.5	2.3	0.6								
	販売段階	1.1	0.9	1.2	1.3	2.0	1.8	1.4	1.2	1.2	0.9	0.7	
	29年産米		0.1	0.2	0.4	1.1	1.0	0.8	0.7	0.9	0.7	0.6	
	1年古米(28年産)	0.9	0.7	1.0	0.9	0.9	0.7	0.6	0.5	0.4	0.2	0.1	
愛媛	出荷+販売段階	4.2	5.3	7.9	12.5	15.1	13.5	12.2	10.8	9.3	7.7	6.0	
	29年産米		2.4	5.8	10.9	13.7	12.3	11.2	10.0	8.6	7.1	5.6	
	1年古米(28年産)	3.9	2.8	2.0	1.5	1.3	1.1	0.9	0.8	0.6	0.5	0.4	
	出荷段階	3.8	5.0	7.5	12.0	14.6	12.9	11.7	10.4	8.8	7.2	5.5	
	29年産米		2.3	5.6	10.5	13.3	11.9	10.8	9.6	8.1	6.7	5.2	
	1年古米(28年産)	3.5	2.5	1.7	1.3	1.2	0.9	0.8	0.7	0.6	0.4	0.4	
	販売段階	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
	29年産米		0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	
	1年古米(28年産)	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		0.1	
高知	出荷+販売段階	3.7	11.7	10.7	12.5	11.9	10.7	9.8	8.8	7.6	6.4	5.3	
	29年産米	0.4	9.2	8.7	10.7	10.4	9.4	8.6	7.8	6.9	5.9	4.9	
	1年古米(28年産)	3.1	2.4	1.9	1.6	1.5	1.2	1.1	0.9	0.7	0.5	0.4	
	出荷段階	1.1	6.6	5.9	6.8	6.3	5.9	5.6	5.2	4.7	4.0	3.3	
	29年産米	0.1	5.8	5.2	6.2	5.8	5.4	5.1	4.8	4.4	3.8	3.1	
	1年古米(28年産)	0.9	0.7	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	
	販売段階	2.6	5.1	4.9	5.8	5.6	4.8	4.2	3.6	2.9	2.4	2.0	
	29年産米	0.3	3.3	3.5	4.5	4.6	3.9	3.5	3.0	2.5	2.1	1.8	
	1年古米(28年産)	2.2	1.6	1.3	1.1	1.0	0.8	0.7	0.6	0.4	0.3	0.2	
福岡	出荷+販売段階	22.5	16.7	25.6	43.1	61.8	70.6	64.6	56.3	47.8	39.9	31.6	
	29年産米		0.7	15.0	34.2	55.0	66.0	61.2	54.2	46.6	39.1	31.0	
	1年古米(28年産)	22.1	15.7	10.4	8.7	6.6	4.6	3.4	2.0	1.1	0.8	0.6	
	出荷段階	18.9	12.9	17.8	30.6	50.2	60.8	56.5	49.4	42.0	34.9	27.3	
	29年産米		0.4	9.6	26.5	47.4	58.9	55.1	48.8	41.8	34.7	27.2	
	1年古米(28年産)	18.8	12.4	8.1	4.0	2.8	1.8	1.3	0.6	0.2	0.2	0.1	
	販売段階	3.6	3.8	7.8	12.5	11.6	9.9	8.2	6.8	5.8	5.0	4.3	
	29年産米		0.3	5.4	7.7	7.7	7.1	6.1	5.4	4.9	4.4	3.9	
	1年古米(28年産)	3.3	3.3	2.3	4.7	3.8	2.8	2.1	1.4	0.9	0.6	0.5	
佐賀	出荷+販売段階	10.4	8.2	9.5	25.2	31.3	33.1	32.7	31.8	28.2	24.6	20.9	
	29年産米		1.2	5.2	23.9	29.8	32.1	31.9	31.1	27.7	24.2	20.7	
	1年古米(28年産)	10.2	6.9	4.2	1.2	1.4	0.9	0.8	0.7	0.4	0.3	0.3	
	出荷段階	9.1	7.0	8.5	23.0	28.0	30.0	29.7	28.9	25.9	22.4	18.8	
	29年産米		1.1	5.0	22.9	27.9	30.0	29.6	28.9	25.9	22.4	18.8	
	1年古米(28年産)	9.1	6.0	3.5	0.1	0.1							
	販売段階	1.3	1.2	1.1	2.2	3.3	3.1	3.1	2.9	2.3	2.2	2.1	
	29年産米		0.1	0.2	1.0	2.0	2.1	2.2	2.2	1.9	1.9	1.9	
	1年古米(28年産)	1.1	0.9	0.7	1.1	1.3	0.9	0.8	0.6	0.4	0.3	0.3	



(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		29年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷+販売段階	3.2	3.0	2.9	6.4	9.0	9.0	8.3	7.7	7.2	6.2	4.9	
	29年産米		0.8	1.6	5.1	8.1	8.5	8.0	7.6	7.1	6.1	4.9	
	1年古米(28年産)	3.2	2.2	1.3	1.3	1.0	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1		
	出荷段階	2.8	2.7	2.5	5.3	8.0	8.2	7.6	7.2	6.8	5.8	4.5	
	29年産米		0.8	1.4	4.8	7.5	8.0	7.5	7.1	6.7	5.8	4.5	
	1年古米(28年産)	2.8	1.9	1.1	0.5	0.4	0.2	0.1	0.1				
	販売段階	0.3	0.3	0.4	1.1	1.1	0.8	0.7	0.6	0.4	0.4	0.4	
	29年産米			0.2	0.3	0.6	0.5	0.5	0.5	0.3	0.3	0.4	
	1年古米(28年産)	0.3	0.3	0.2	0.7	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1			
熊本	出荷+販売段階	15.3	12.7	11.7	29.8	39.6	40.9	41.3	40.7	35.6	30.8	25.2	
	29年産米		2.6	5.4	27.0	37.6	39.3	39.8	39.4	34.5	30.0	24.5	
	1年古米(28年産)	15.1	9.8	6.2	2.7	2.0	1.5	1.3	1.1	0.9	0.7	0.5	
	出荷段階	11.5	8.6	7.3	21.0	29.3	30.0	31.3	31.3	26.9	22.8	18.4	
	29年産米		1.7	3.4	19.8	28.7	29.8	31.2	31.2	26.9	22.8	18.4	
	1年古米(28年産)	11.5	6.9	3.9	1.2	0.7	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1		
	販売段階	3.9	4.0	4.4	8.8	10.3	11.0	9.9	9.4	8.7	8.0	6.8	
	29年産米		0.9	2.0	7.2	8.9	9.5	8.6	8.2	7.7	7.2	6.1	
	1年古米(28年産)	3.6	2.9	2.2	1.5	1.3	1.3	1.1	1.0	0.8	0.6	0.5	
大分	出荷+販売段階	6.5	5.0	4.6	9.6	16.3	19.5	18.0	16.6	14.5	12.7	10.9	
	29年産米		0.5	1.9	8.1	15.3	18.7	17.4	16.1	14.1	12.3	10.7	
	1年古米(28年産)	6.3	4.4	2.6	1.4	1.0	0.8	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	
	出荷段階	4.8	3.6	2.9	6.2	11.7	14.1	13.3	12.0	10.4	9.0	7.8	
	29年産米		0.3	1.1	5.5	11.3	13.7	13.0	11.8	10.2	8.8	7.6	
	1年古米(28年産)	4.8	3.3	1.8	0.7	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	
	販売段階	1.7	1.4	1.6	3.4	4.6	5.4	4.7	4.6	4.1	3.7	3.2	
	29年産米		0.2	0.8	2.6	4.0	5.0	4.4	4.3	3.9	3.5	3.1	
	1年古米(28年産)	1.6	1.1	0.8	0.8	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	
宮崎	出荷+販売段階	8.7	8.0	4.1	9.6	11.7	12.6	11.5	10.7	9.0	6.7	4.8	
	29年産米	5.2	5.6	2.7	8.7	11.0	11.7	10.7	10.1	8.6	6.4	4.6	
	1年古米(28年産)	3.4	2.3	1.3	0.9	0.7	0.9	0.8	0.6	0.4	0.3	0.1	
	出荷段階	6.8	4.3	1.0	6.4	8.8	9.8	8.9	8.4	7.2	4.8	3.3	
	29年産米	4.5	2.9	0.3	6.1	8.5	9.5	8.7	8.2	7.1	4.8	3.3	
	1年古米(28年産)	2.3	1.5	0.6	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1		
	販売段階	1.9	3.7	3.1	3.3	2.9	2.8	2.6	2.3	1.8	1.9	1.5	
	29年産米	0.8	2.8	2.4	2.6	2.4	2.2	2.0	1.9	1.5	1.7	1.4	
	1年古米(28年産)	1.1	0.9	0.7	0.6	0.5	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.1	
鹿児島	出荷+販売段階	7.7	9.9	7.7	14.1	21.1	17.7	15.9	16.0	14.3	11.2	9.2	
	29年産米	0.5	4.3	3.7	11.2	18.7	15.7	14.2	14.5	12.9	9.9	8.2	
	1年古米(28年産)	6.8	5.3	3.8	2.9	2.4	2.0	1.7	1.5	1.4	1.2	1.1	
	出荷段階	5.4	5.3	3.6	9.7	15.7	12.5	11.5	12.5	11.4	8.8	7.3	
	29年産米	0.1	1.0	0.5	7.3	13.7	10.9	10.0	11.1	10.1	7.7	6.3	
	1年古米(28年産)	5.0	4.1	3.0	2.4	2.0	1.6	1.5	1.4	1.3	1.1	1.0	
	販売段階	2.2	4.6	4.1	4.4	5.4	5.1	4.4	3.5	3.0	2.3	1.9	
	29年産米	0.4	3.3	3.2	3.9	5.1	4.8	4.2	3.4	2.8	2.2	1.9	
	1年古米(28年産)	1.7	1.2	0.8	0.5	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	
沖縄	出荷+販売段階	0.6	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1						
	29年産米	0.6	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1						
	1年古米(28年産)												
	出荷段階	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1						
	29年産米	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1						
	1年古米(28年産)												
	販売段階	0.3	0.1	0.1									
	29年産米	0.3	0.1	0.1									
	1年古米(28年産)												

## Ⅳ 米の価格情報

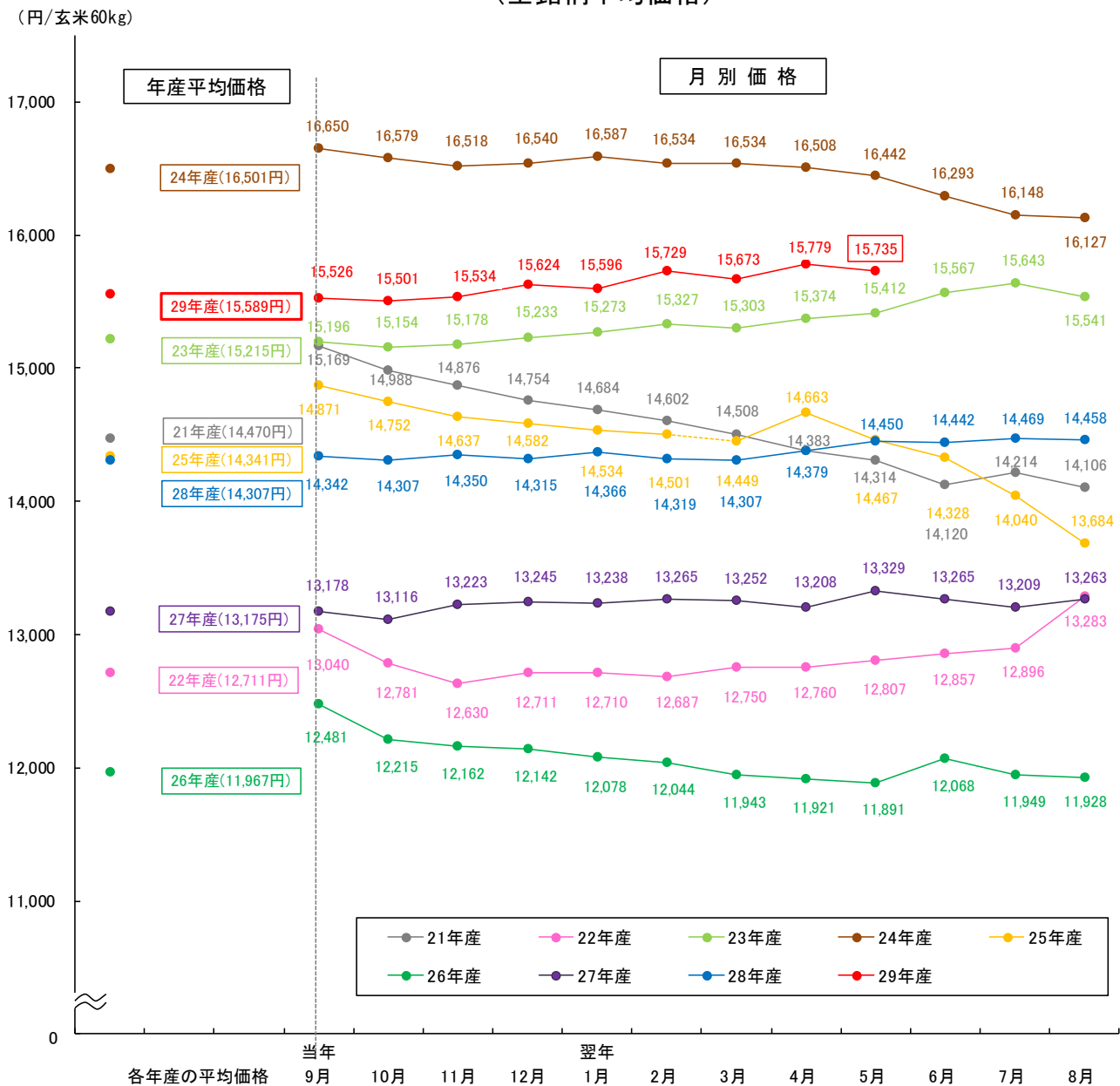
### 1 相対取引価格・数量

#### (1) 相対取引価格（年産別）

- 平成29年産米の平成30年5月の全銘柄平均価格は、対前年同月比+1,285円/60kgの15,735円/60kg。

※ 産地銘柄ごとの価格は、25頁以降を参照。

相対取引価格の推移（税込）  
（全銘柄平均価格）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 価格には、運賃、包装代、消費税（平成26年3月までは5%、同年4月以降は8%）が含まれている。

3 グラフの左側は各年産の平均価格（注4）、それ以降は月ごとの価格の推移。

4 平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月（29年産は平成30年5月）までの通年平均価格。（29年産は速報値ベース）

## (2) 価格帯別分析結果（平成30年5月）

- 平成28年産米と平成29年産米の価格帯別平均価格を比較したところ、平成28年産の価格が60kg当たり15,000円以上の銘柄は+631円、13,000円未満の銘柄は+1,550円。
- 産地銘柄ごとでは、「茨城県産あきたこまち」が最も上昇しており、次いで、「茨城県産ゆめひたち」、「秋田県産ひとめぼれ」という状況。

### 価格帯別相対取引価格

単位：円/玄米60kg（税込）

	平成28年産の相対取引価格			
	15,000円以上の銘柄の平均	15,000円～14,000円の銘柄の平均	14,000円～13,000円の銘柄の平均	13,000円未満の銘柄の平均
平成28年産(出回り～29年10月) ①	16,357	14,340	13,649	12,876
平成29年産(出回り～30年5月) (28年産価格帯ベース) ②	16,988	15,608	15,078	14,426
価格差 ②-①	+ 631	+ 1,268	+ 1,429	+ 1,550

### 平成28年産と平成29年産の価格差（相対取引価格上昇幅上位10銘柄）

単位：円/玄米60kg（税込）

			平成28年産 (出回り～平成29年10月) ①	平成29年産 (出回り～平成30年5月) ②	価格差 ②-①
茨城	あきたこまち		13,247	15,473	+ 2,226
茨城	ゆめひたち		13,025	15,094	+ 2,069
秋田	ひとめぼれ		13,685	15,705	+ 2,020
秋田	あきたこまち		14,175	15,987	+ 1,812
奈良	ヒノヒカリ		12,953	14,765	+ 1,812
岡山	アケボノ		13,362	15,064	+ 1,702
千葉	ふさこがね		12,835	14,528	+ 1,693
群馬	ゆめまつり		13,606	15,298	+ 1,692
奈良	コシヒカリ		13,155	14,829	+ 1,674
北海道	ななつぼし		14,244	15,901	+ 1,657

### (3) 相対取引価格・数量（平成29年産米、産地品種銘柄別、平成30年5月分）

#### 相対取引価格・数量①（北海道から栃木まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 29年産米 (30年5月) ①	数量 29年産米 (30年5月) ②	参 考								年産平均価格		
				価格				数量				29年産米 〔出回り～ 30年5月〕	28年産米 〔出回り～ 29年10月〕	対前年比
				29年産米 (30年4月)	対前月比	28年産米 (29年5月)	対前年比	29年産米 (30年4月)	対前月比	28年産米 (29年5月)	対前年比			
北海道	ななつぼし	16,012	5,621	16,599	96%	14,697	109%	7,898	71%	3,065	183%	15,901	14,244	112%
北海道	ゆめぴりか	16,752	3,548	17,149	98%	17,019	98%	6,129	58%	1,198	296%	17,398	16,479	106%
北海道	きらら397	15,998	1,361	16,168	99%	13,800	116%	676	201%	2,340	58%	15,729	14,146	111%
青森	まっしぐら	15,051	2,886	15,082	100%	13,300	113%	3,358	86%	1,905	151%	14,869	13,216	113%
青森	つがるロマン	15,581	1,744	15,766	99%	14,061	111%	769	227%	786	222%	15,072	13,434	112%
岩手	ひとめぼれ	15,318	10,525	15,308	100%	13,998	109%	2,184	482%	2,340	450%	15,167	13,840	110%
岩手	あきたこまち	15,020	2,794	15,384	98%	13,775	109%	1,228	228%	505	553%	15,049	13,476	112%
岩手	いわてっこ	14,760	102	-	-	13,234	112%	-	-	342	30%	14,674	13,242	111%
宮城	ひとめぼれ	16,268	3,540	15,820	103%	14,129	115%	8,205	43%	1,113	318%	15,523	13,950	111%
宮城	つや姫	15,647	2,197	16,147	97%	14,842	105%	264	832%	112	1962%	15,821	14,376	110%
宮城	ササニシキ	15,891	559	-	-	-	-	-	-	-	-	15,737	14,115	111%
秋田	あきたこまち	16,080	6,315	16,205	99%	14,124	114%	15,600	40%	11,111	57%	15,987	14,175	113%
秋田	めんこいな	15,605	150	15,355	102%	13,563	115%	266	56%	179	84%	15,022	13,433	112%
秋田	ひとめぼれ	15,681	279	15,791	99%	13,698	114%	2,012	14%	751	37%	15,705	13,685	115%
山形	はえぬき	15,326	6,062	15,193	101%	13,768	111%	12,873	47%	7,387	82%	15,375	13,841	111%
山形	つや姫	18,526	1,696	17,733	104%	17,899	104%	2,844	60%	2,434	70%	18,164	17,848	102%
山形	ひとめぼれ	15,463	498	16,464	94%	14,290	108%	3,226	15%	1,199	42%	15,923	14,511	110%
福島	コシヒカリ(中通り)	15,463	1,375	15,719	98%	13,904	111%	5,787	24%	2,158	64%	15,392	13,876	111%
福島	コシヒカリ(会津)	15,214	884	15,241	100%	14,378	106%	3,107	28%	1,711	52%	15,320	14,212	108%
福島	コシヒカリ(浜通り)	15,393	1,115	15,153	102%	13,545	114%	3,343	33%	856	130%	15,029	13,392	112%
福島	ひとめぼれ	15,188	1,735	15,106	101%	13,521	112%	3,857	45%	1,662	104%	14,923	13,401	111%
福島	天のつぶ	14,919	681	14,134	106%	13,238	113%	2,438	28%	362	188%	14,655	13,360	110%
茨城	コシヒカリ	15,667	2,644	15,399	102%	14,078	111%	4,000	66%	3,218	82%	15,218	13,784	110%
茨城	あきたこまち	15,767	180	-	-	14,101	112%	-	-	158	114%	15,473	13,247	117%
茨城	ゆめひたち	-	-	-	-	12,824	-	-	-	117	-	15,094	13,025	116%
栃木	コシヒカリ	15,419	5,889	15,289	101%	14,074	110%	10,167	58%	3,568	165%	15,450	13,832	112%
栃木	あさひの夢	14,838	486	15,128	98%	13,351	111%	1,095	44%	149	326%	15,007	13,586	110%
栃木	なすひかり	15,355	554	15,124	102%	14,001	110%	1,187	47%	103	538%	14,942	13,882	108%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。

ただし、全農が締結する「福島、茨城、千葉、京都、兵庫、鳥取、岡山、広島、愛媛、高知」の契約では、27年産から契約方法を見直し、これまでの運賃（東京、大阪着基準）を含めた契約方法から、産地在姿での契約方法に変更したため、当該産地の相対取引価格には全農契約分の運賃が含まれていない。

3 価格に含む消費税は、平成26年4月分から8%で算定している。

4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。

5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。

6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウェイトで加重平均により算定。

7 全銘柄平均価格（次々頁）は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定。

8 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。

9 全銘柄平均価格、合計数量欄には公表していない産地品種銘柄分を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

相対取引価格・数量②（群馬から兵庫まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 29年産米 (30年5月) ①	数量 29年産米 (30年5月) ②	参 考								年産平均価格		
				価格				数量				29年産米	28年産米	対前年比
				29年産米 (30年4月)	対前月比	28年産米 (29年5月)	対前年比	29年産米 (30年4月)	対前月比	28年産米 (29年5月)	対前年比	(出回り～ 30年5月)	(出回り～ 29年10月)	
群馬	あさひの夢	15,226	552	15,285	100%	13,553	112%	935	59%	575	96%	15,351	13,796	111%
群馬	ゆめまつり	15,211	660	15,193	100%	13,446	113%	824	80%	433	152%	15,298	13,606	112%
埼玉	彩のかがやき	15,230	437	15,129	101%	13,502	113%	627	70%	276	158%	14,865	13,375	111%
埼玉	コシヒカリ	15,336	197	15,337	100%	13,932	110%	101	195%	198	99%	15,001	13,843	108%
埼玉	彩のきずな	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,887	13,301	112%
千葉	コシヒカリ	15,177	1,126	15,414	98%	13,751	110%	1,783	63%	1,125	100%	15,008	13,719	109%
千葉	ふさこがね	15,021	429	14,834	101%	12,746	118%	395	109%	281	153%	14,528	12,835	113%
千葉	ふさおとめ	14,562	1,133	14,545	100%	13,115	111%	948	120%	476	238%	14,637	12,993	113%
山梨	コシヒカリ	17,284	409	17,425	99%	16,952	102%	435	94%	437	94%	17,617	16,969	104%
山梨	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,192	13,697	-
長野	コシヒカリ	16,135	408	15,962	101%	14,333	113%	302	135%	1,281	32%	15,566	14,538	107%
長野	あきたこまち	15,185	105	-	-	13,623	111%	-	-	284	37%	14,750	13,596	108%
静岡	コシヒカリ	15,820	278	15,742	100%	14,778	107%	336	83%	591	47%	15,499	14,856	104%
静岡	きぬむすめ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,245	13,335	107%
静岡	あいちのかおり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,525	13,396	108%
新潟	コシヒカリ(一般)	16,801	4,395	17,030	99%	16,029	105%	8,448	52%	7,886	56%	16,922	16,175	105%
新潟	コシヒカリ(魚沼)	20,987	890	20,956	100%	20,790	101%	1,392	64%	877	101%	20,710	20,434	101%
新潟	コシヒカリ(岩船)	-	-	-	-	17,037	-	-	-	235	-	17,348	16,834	103%
新潟	コシヒカリ(佐渡)	-	-	17,665	-	16,992	-	291	-	594	-	17,379	16,968	102%
新潟	こしいぶき	15,291	548	15,252	100%	13,735	111%	742	74%	2,273	24%	14,960	13,671	109%
富山	コシヒカリ	15,817	5,665	15,890	100%	15,240	104%	1,811	313%	3,379	168%	15,872	15,098	105%
富山	てんたかく	14,418	617	14,609	99%	13,620	106%	119	518%	706	87%	14,537	13,860	105%
石川	コシヒカリ	15,824	1,031	15,507	101%	-	-	1,448	71%	-	-	15,610	14,815	105%
石川	ゆめみづほ	14,528	370	14,526	100%	-	-	998	37%	-	-	14,463	13,233	109%
福井	コシヒカリ	16,123	1,192	15,989	101%	15,054	107%	567	210%	385	310%	15,942	14,930	107%
福井	ハナエチゼン	-	-	-	-	12,959	-	-	-	123	-	14,722	13,521	109%
岐阜	ハツシモ	15,310	664	15,880	96%	14,486	106%	362	183%	145	458%	15,018	13,963	108%
岐阜	コシヒカリ	15,836	274	15,618	101%	-	-	120	228%	-	-	15,557	15,160	103%
岐阜	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,278	13,221	108%
愛知	あいちのかおり	14,756	1,269	14,725	100%	13,618	108%	1,092	116%	700	181%	14,291	13,530	106%
愛知	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,937	13,826	108%
愛知	大地の風	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,300	13,531	106%
三重	コシヒカリ(一般)	15,060	461	15,078	100%	14,432	104%	1,351	34%	144	320%	14,939	14,369	104%
三重	コシヒカリ(伊賀)	15,503	442	15,523	100%	14,962	104%	811	55%	207	214%	15,374	14,781	104%
三重	キヌヒカリ	-	-	14,299	-	-	-	389	-	-	-	14,243	13,356	107%
滋賀	コシヒカリ	15,228	257	15,161	100%	14,719	103%	2,996	9%	130	198%	15,085	14,346	105%
滋賀	キヌヒカリ	-	-	14,040	-	13,352	-	1,252	-	104	-	14,295	13,270	108%
滋賀	日本晴	-	-	14,134	-	-	-	308	-	-	-	14,186	12,902	110%
京都	コシヒカリ	-	-	15,404	-	-	-	1,062	-	-	-	15,567	15,193	102%
京都	キヌヒカリ	14,783	128	15,017	98%	-	-	272	47%	-	-	14,678	13,706	107%
兵庫	コシヒカリ	15,814	119	15,971	99%	15,362	103%	191	62%	270	44%	15,723	15,102	104%
兵庫	ヒノヒカリ	14,801	160	14,646	101%	14,161	105%	230	70%	418	38%	14,325	13,229	108%
兵庫	キヌヒカリ	-	-	-	-	14,014	-	-	-	299	-	14,356	13,190	109%

注：本表の注意点は、前頁の脚注を参照。



相対取引価格・数量③（奈良から鹿児島まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 29年産米 (30年5月) ①	数量 29年産米 (30年5月) ②	参 考								年産平均価格		
				価格				数量				29年産米 (出回り～ 30年5月)	28年産米 (出回り～ 29年10月)	対前年比 /
				29年産米 (30年4月)	対前年比 /	28年産米 (29年5月)	対前年比 /	29年産米 (30年4月)	対前年比 /	28年産米 (29年5月)	対前年比 /			
奈良	ヒノヒカリ	15,096	295	14,789	102%	13,283	114%	535	55%	225	131%	14,765	12,953	114%
奈良	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,829	13,155	113%
鳥取	コシヒカリ	14,860	325	-	-	-	-	-	-	-	-	15,049	14,014	107%
鳥取	きぬむすめ	14,320	318	-	-	-	-	-	-	-	-	14,273	13,183	108%
鳥取	ひとめぼれ	14,206	188	-	-	-	-	-	-	-	-	14,119	13,065	108%
島根	コシヒカリ	15,350	882	16,072	96%	15,346	100%	717	123%	790	112%	15,281	14,792	103%
島根	きぬむすめ	14,698	581	14,347	102%	13,523	109%	211	275%	233	249%	14,357	13,426	107%
島根	つや姫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,163	14,531	104%
岡山	アケボノ	15,045	469	14,955	101%	-	-	360	130%	-	-	15,064	13,362	113%
岡山	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,356	13,842	111%
岡山	ヒノヒカリ	15,342	243	15,509	99%	-	-	173	140%	-	-	15,393	13,804	112%
広島	コシヒカリ	14,867	568	14,945	99%	14,042	106%	1,155	49%	663	86%	15,007	14,153	106%
広島	あきろまん	-	-	13,726	-	-	-	418	-	-	-	13,814	13,155	105%
広島	ヒノヒカリ	-	-	-	-	12,755	-	-	-	367	-	13,410	12,840	104%
山口	コシヒカリ	15,095	1,231	15,083	100%	14,478	104%	2,476	50%	2,012	61%	14,991	14,446	104%
山口	ひとめぼれ	14,321	314	14,291	100%	13,356	107%	1,906	16%	1,960	16%	14,134	13,291	106%
山口	ヒノヒカリ	14,424	283	14,209	102%	13,375	108%	2,025	14%	1,352	21%	14,157	13,355	106%
徳島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,940	14,032	106%
徳島	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,221	13,275	107%
香川	ヒノヒカリ	14,340	1,021	14,338	100%	13,208	109%	959	106%	978	104%	14,257	13,184	108%
香川	コシヒカリ	14,933	724	14,968	100%	13,730	109%	610	119%	990	73%	14,785	13,879	107%
愛媛	コシヒカリ	14,221	301	14,212	100%	13,149	108%	355	85%	328	92%	14,328	13,307	108%
愛媛	ヒノヒカリ	13,661	128	13,661	100%	12,338	111%	126	102%	150	85%	13,728	12,440	110%
愛媛	あきたこまち	13,678	144	13,628	100%	12,352	111%	108	133%	114	126%	13,721	12,493	110%
高知	コシヒカリ	15,114	468	15,114	100%	14,250	106%	540	87%	432	108%	15,281	14,481	106%
高知	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,358	13,602	106%
福岡	夢つくし	16,251	787	16,314	100%	15,694	104%	2,115	37%	2,100	37%	16,216	15,761	103%
福岡	ヒノヒカリ	15,196	1,104	15,218	100%	14,313	106%	1,261	88%	954	116%	15,119	14,196	107%
福岡	元気つくし	16,067	1,779	15,902	101%	15,643	103%	2,948	60%	2,506	71%	15,968	15,612	102%
佐賀	さがびより	15,084	800	15,104	100%	14,168	106%	803	100%	898	89%	14,974	14,147	106%
佐賀	夢しずく	14,269	664	14,270	100%	13,327	107%	724	92%	640	104%	14,196	13,329	107%
佐賀	ヒノヒカリ	13,988	476	13,941	100%	13,008	108%	445	107%	207	230%	13,914	13,042	107%
長崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	14,584	-	-	-	120	-	15,296	14,395	106%
長崎	にこまる	-	-	-	-	14,808	-	-	-	214	-	15,603	14,713	106%
長崎	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16,079	15,191	106%
熊本	ヒノヒカリ	14,935	587	14,893	100%	14,294	104%	829	71%	478	123%	14,859	14,278	104%
熊本	森のくまさん	-	-	-	-	14,591	-	-	-	508	-	15,038	14,518	104%
熊本	コシヒカリ	-	-	-	-	15,982	-	-	-	453	-	15,534	15,767	99%
大分	ヒノヒカリ	-	-	15,007	-	13,991	-	103	-	117	-	15,129	14,169	107%
大分	ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,951	14,446	103%
宮崎	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,157	14,721	103%
宮崎	ヒノヒカリ	15,706	278	15,658	100%	14,572	108%	331	84%	140	199%	15,558	14,388	108%
鹿児島	ヒノヒカリ	15,647	273	16,031	98%	15,152	103%	319	86%	262	104%	15,477	15,210	102%
鹿児島	あきほなみ	17,230	180	17,233	100%	16,405	105%	128	141%	132	136%	16,343	15,525	105%
鹿児島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,542	15,222	102%
全銘柄平均価格、合計数量		15,735	106,315	15,779	100%	14,450	109%	158,997	67%	96,795	110%	15,589	14,307	109%

注：本表の注意点は、前々頁の脚注を参照。

## 2 スポット価格の状況

〔○ スポット取引は、相当期間にわたり安定的に行う相対取引等と性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。〕

### スポット価格 [ 日本コメ市場株式会社 ]

税抜価格

#### 【平成29年産】

(関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg)

産地、銘柄		平成29年 8月	平成29年 9月	平成29年 10月	平成29年 11月	平成29年 12月	平成30年 1月	平成30年 2月	平成30年 3月	平成30年 4月	平成30年 5月	平成30年 6月
北海道ななつぼし	日本コメ市場(取引会)											
北海道きさら397	日本コメ市場(随時)						15,600					
青森まっしぐら	日本コメ市場(取引会)											
青森つがるロマン	日本コメ市場(随時)										14,175	
岩手ひとめぼれ	日本コメ市場(取引会)											
宮城ひとめぼれ	日本コメ市場(随時)								15,608			
	日本コメ市場(取引会)											
秋田あきたこまち	日本コメ市場(随時)		15,193	15,508	15,756	15,700	15,846				14,916	14,315
	日本コメ市場(取引会)		15,297				16,052		15,696	15,042		
福島中通コシヒカリ	日本コメ市場(随時)		14,600		15,003		15,391		15,632			
	日本コメ市場(取引会)				15,003				15,521	15,176		
福島中通ひとめぼれ	日本コメ市場(取引会)						15,033		15,078			
茨城コシヒカリ	日本コメ市場(随時)			14,903			15,474	15,584	15,820	15,550		
	日本コメ市場(取引会)						15,453		15,771			
茨城あきたこまち	日本コメ市場(取引会)		14,600							14,474		
栃木コシヒカリ	日本コメ市場(随時)					15,100		15,875	15,805	15,300	14,975	
	日本コメ市場(取引会)											
栃木あさひの夢	日本コメ市場(取引会)				14,510							
千葉コシヒカリ	日本コメ市場(取引会)	14,550	14,680		15,000					15,095		
千葉あきたこまち	日本コメ市場(取引会)	14,387										
千葉ふさこがね	日本コメ市場(取引会)		14,225		14,600		14,880					
千葉ふさおとめ	日本コメ市場(取引会)	14,003										
新潟コシヒカリ(一般)	日本コメ市場(随時)		15,613				16,539	16,785	16,920	17,064	17,154	17,661
	日本コメ市場(取引会)		15,500		16,271		16,524		17,050	17,232		
富山コシヒカリ	日本コメ市場(取引会)											

#### 【平成28年産】

(関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg)

産地、銘柄		平成28年 8月	9月	10月	11月	12月	平成29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
北海道ななつぼし	日本コメ市場(取引会)									15,193				
北海道きさら397	日本コメ市場(随時)								14,106					
青森まっしぐら	日本コメ市場(取引会)		12,925											
青森つがるロマン	日本コメ市場(随時)				13,093	13,175		13,451						
岩手ひとめぼれ	日本コメ市場(取引会)					13,500	13,557		13,500					
宮城ひとめぼれ	日本コメ市場(随時)							13,550					14,367	
	日本コメ市場(取引会)												14,700	
秋田あきたこまち	日本コメ市場(随時)		13,507	13,691	13,635	13,646	13,893	14,544	14,466	14,419	14,958	15,300	15,600	
	日本コメ市場(取引会)		13,471				13,731	13,883		14,391	14,614		15,500	
福島中通コシヒカリ	日本コメ市場(随時)			13,200			13,160			13,533	13,550	14,390		
福島中通ひとめぼれ	日本コメ市場(取引会)								13,360					
茨城コシヒカリ	日本コメ市場(随時)								13,481	13,631	14,011	14,250		
	日本コメ市場(取引会)	13,151	13,450				13,441		13,495	13,700				13,997
茨城あきたこまち	日本コメ市場(取引会)	12,834												14,043
栃木コシヒカリ	日本コメ市場(随時)				13,200	13,147	13,500	13,586	13,601	13,725	13,765	14,168		
	日本コメ市場(取引会)					13,145							14,350	
栃木あさひの夢	日本コメ市場(取引会)					12,900	12,919							
千葉ふさこがね	日本コメ市場(取引会)		12,913						13,310					
千葉ふさおとめ	日本コメ市場(取引会)	12,661												
新潟コシヒカリ(一般)	日本コメ市場(随時)										14,717	14,864	14,933	
	日本コメ市場(取引会)		15,231				14,400	14,325		14,117	13,950		15,300	
富山コシヒカリ	日本コメ市場(取引会)												14,412	14,550

出典：日本コメ市場株式会社HP

注：1 日本コメ市場(随時)の価格は、随時取引(取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引)の下期(16日～月末分)。ただし、下期が公表されていない場合は上期)の価格で、関東到着基準、1等、包装代込の価格。

2 日本コメ市場(取引会)の価格は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において日本コメ市場、クリスタルライスの共同で開催される取引会での成約価格(取引数量により加重平均)であり、関東到着基準、1等、包装代込みの価格。

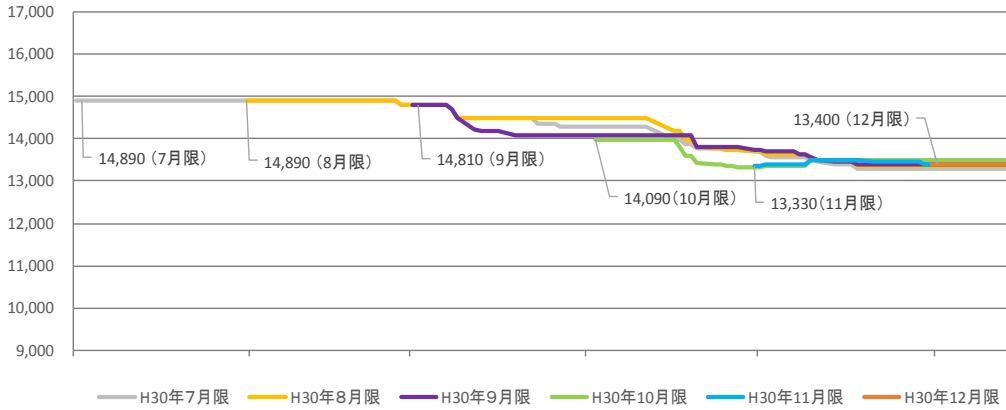
### 3 米の先物取引価格の推移

- 7月4日の終値は、先月（6月1日）に比べ、60kg当たり
  - ① 東京コメが▲150円（7、8月限）～ ±0円（10月限）
  - ② 大阪コメが▲420円（11月限）～ ±0円（7、8、9月限）
  - ③ 新潟コシが▲400円（12、2月限）～ +750円（8月限）となっている。

#### ①東京コメ

（単位：円/60kg、包装代込、税抜）  
※10月限より新穀（平成30年産）

税抜価格



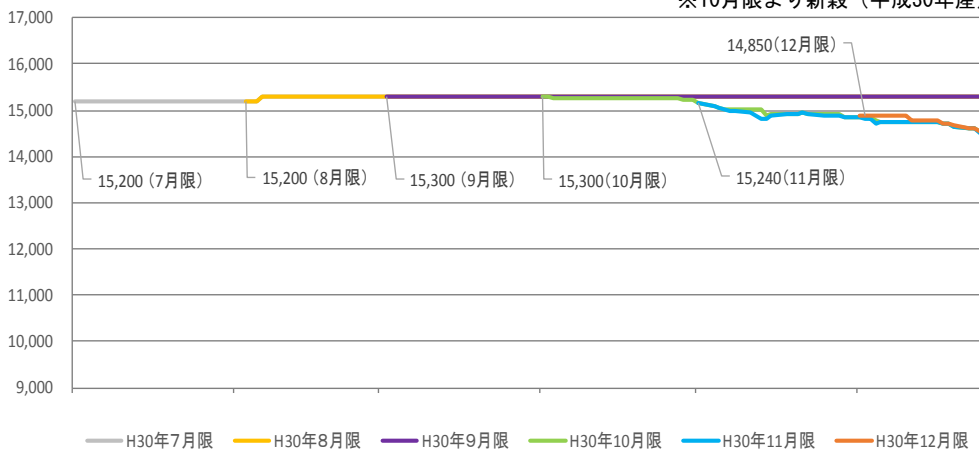
13,500 (H30年10月限)  
13,400 (H30年9月限)  
13,400 (H30年11月限)  
13,400 (H30年12月限)  
13,350 (H30年8月限)  
13,300 (H30年7月限)

出典：大阪堂島商品取引所  
注：平成29年11月21日から平成30年7月4日までの価格の推移である。

#### ②大阪コメ

（単位：円/60kg、包装代込、税抜）  
※10月限より新穀（平成30年産）

税抜価格



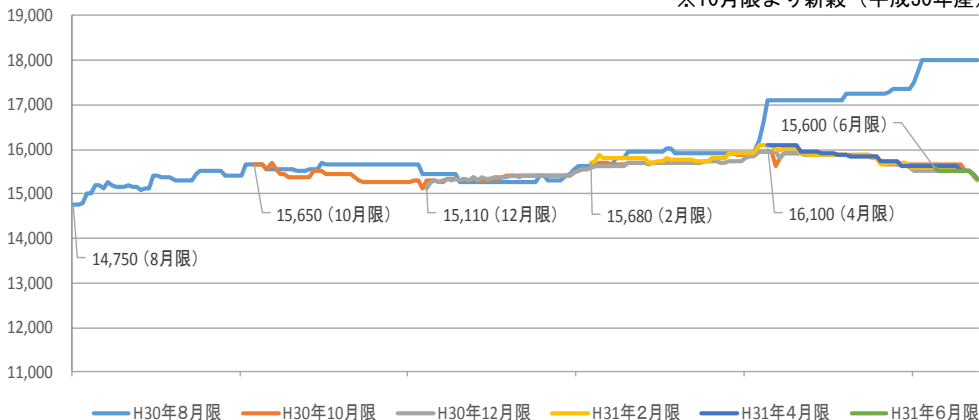
15,300 (H30年7月限)  
15,300 (H30年8月限)  
15,300 (H30年9月限)  
14,550 (H30年10月限)  
14,540 (H30年12月限)  
14,500 (H30年11月限)

出典：大阪堂島商品取引所  
注：平成29年11月13日から平成30年7月4日までの価格の推移である。

#### ③新潟コシ

（単位：円/60kg、包装代込、税抜）  
※10月限より新穀（平成30年産）

税抜価格



18,000 (H30年8月限)  
15,450 (H30年10月限)  
15,450 (H30年4月限)  
15,450 (H31年6月限)  
15,400 (H30年12月限)  
15,400 (H31年2月限)

出典：大阪堂島商品取引所  
注：平成29年6月21日から平成30年7月4日までの価格の推移である。

## 4 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、平成30年6月分)

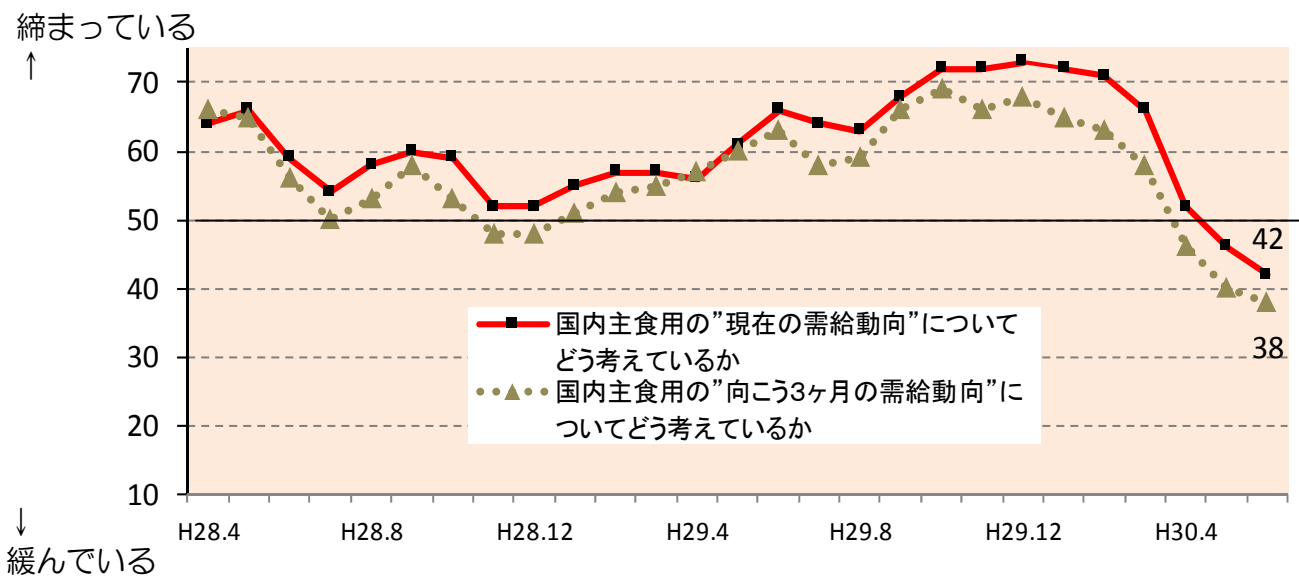
- 米穀機構が公表している米取引関係者の判断に関する調査(平成30年6月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は対前年比▲4ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は▲2ポイント。

### 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

#### ① 主食用米の需給動向

- (ア) 現状判断D I 前月からの増減 ▲4 (今月の数値 42)
- (イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月) 前月からの増減 ▲2 (今月の数値 38)

#### 主食用米の需給動向



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来) 締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来) 緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

以上の他、「自社の取引状況に関する判断(業態ごと)」など  
 詳細な情報は、米穀機構ホームページ(米ネット)を参照ください。  
 【<http://www.komenet.jp/>】  
 また、マンスリーレポート(資料編)にも掲載しております。

#### 《アンケート方法等》

- 調査期間: 毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法: 電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者: 全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の164客体
- 有効回答数: 128客体
  - 生産者…………… 10
  - 集出荷業者/団体…………… 23
  - 卸売業者(主に主食用米) …… 27
  - 小売業者/中食・外食業者 …… 50
  - その他…………… 18

※「その他」は以下の業者です。  
 ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者  
 ・加工原材料米穀を使用し、加工食品(酒類を含む)を製造・販売する者

- 米価水準の、現状判断は対前年比▲4ポイント、見通し（向こう3ヶ月）判断は+1ポイント。

② 主食用米の米価水準

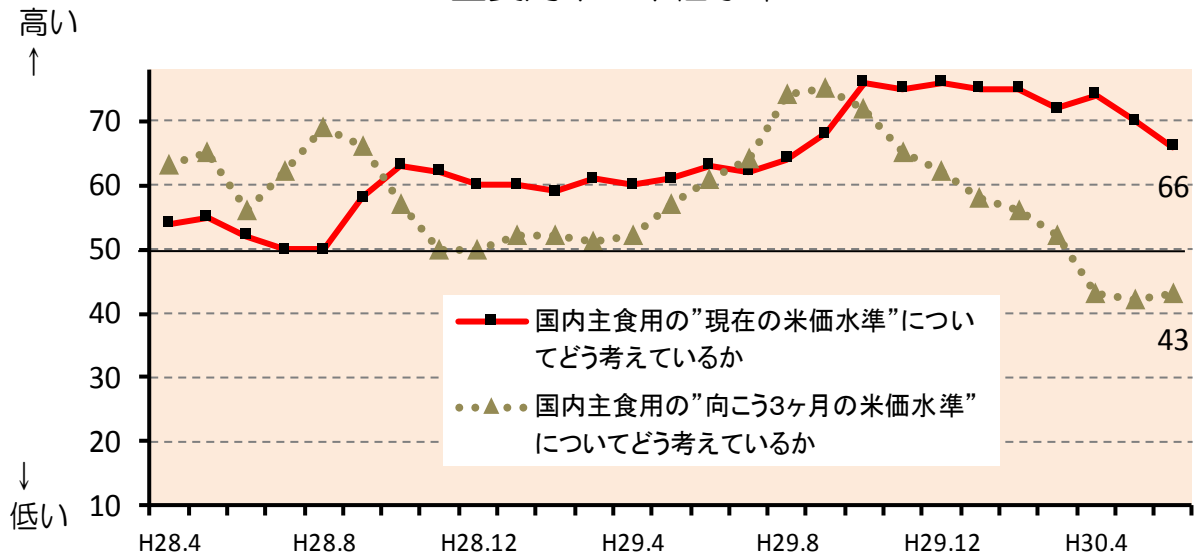
(ア) 現状判断D I

前月からの増減 ▲4 (今月の数値 66)

(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)

前月からの増減 +1 (今月の数値 43)

主食用米の米価水準



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

《利用上の注意》

○ 表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断(評価)にそれぞれ点数(評価点)を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ(量感)を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

(DIの算出例)

問: 国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

## V 主食用米以外（輸出を含む）

### 1 29年産米の作付状況

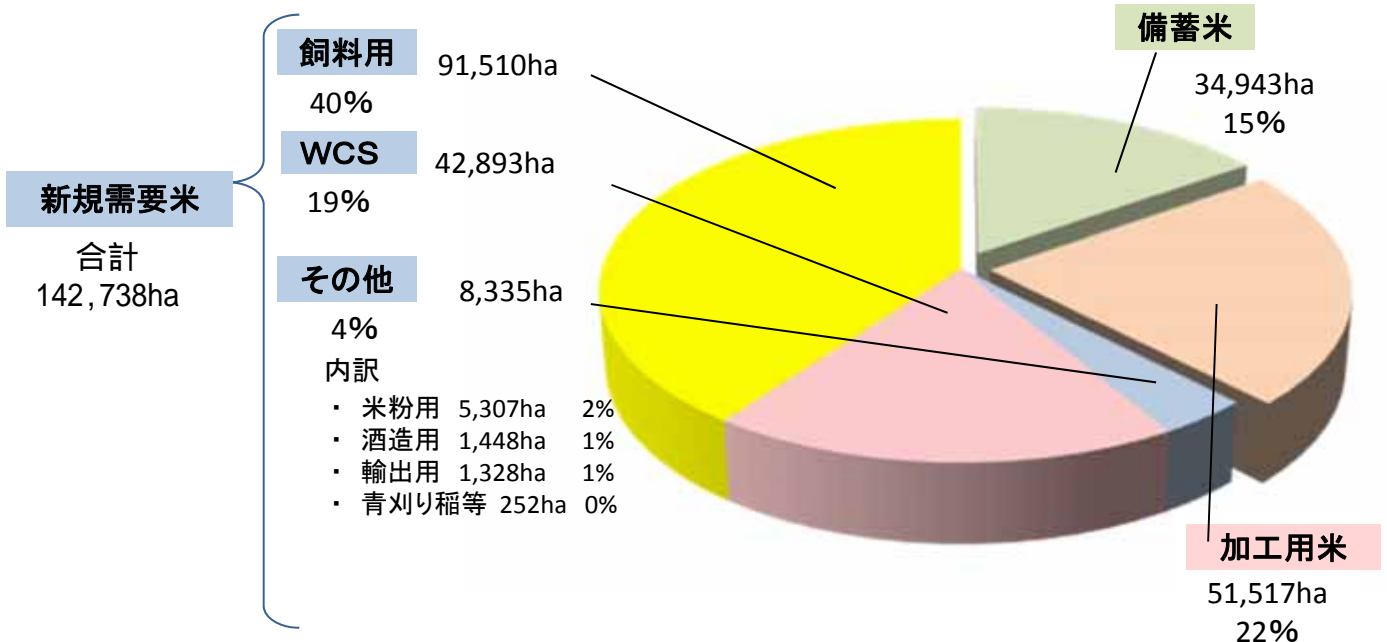
- 平成29年産米の作付面積は、主食用米が137.0万ha、主食用米以外が約23万ha。
- 主食用米以外の取組は、新規需要米14.3万ha、加工用米5.2万ha、備蓄米3.5万ha。

#### (1) 29年産米の用途別作付面積及び生産量

	計	主食用米	新規需要米	加工用米	備蓄米
作付面積（万ha）	160.0	137.0	14.3	5.2	3.5
生産量（万トン）		731	54	28	20

※主食用米の生産量は、農林水産省「平成29年産水稻の作付面積及び収穫量(12月5日現在)」の収穫量である。  
 ※新規需要米のうちWCS、青刈り等、子実を持たないものは、生産量に計上していない。

#### (2) 主食用米以外の取組状況（作付面積及び作付面積比率）



資料：農林水産省「新規需要米等の用途別認定状況の推移(認定計画版)」より  
 なお、備蓄米作付面積は、都道府県農業再生協議会からの29年度報告値。

注：「酒造用」は「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米を指す。

#### (3) 新規需要米の用途別認定状況

	新規需要米（29年産）							
	飼料用	米粉用	輸出用	酒造用	稲発酵粗飼料稻	青刈り稻等	その他	
作付面積（ha）	91,510	5,307	1,328	1,448	42,893	241	11	
計画生産量（t）	483,325	28,331	7,349	7,424			31	

資料：農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況(認定計画版)」

注1：「酒造用」は「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米を指す。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。



## 2 加工用米及び新規需要米の取組状況概要

- 清酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の平成28米穀年度における使用量は対前年と同程度の約96万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約77万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約8割。残りの約2割はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 特定米穀の流通量の減少及び価格の上昇により、味噌を中心に、外国産原料への転換が見られたところ。

### (1) 28米穀年度（平成27年11月～28年10月）における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

#### <うるち米>

（単位：万トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
清酒用	13 (10)	9		3			25 (10)
米菓用	1	2		6	3	1	12
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	5	5					10
味噌用		1		6	2		9
焼酎用 (泡盛含む)		2		4	2		8
米穀粉用		1	2	1	3	1	8
その他用	1	1		2	1		4
合計	20	21	2	21	11	1	77

#### <もち米>

（単位：万トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	3	2				2	8
米菓用	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	6	5		1	2	5	19

注1： 清酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。

注2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約8万トンを含んでいない。

注3： 焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

注4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

注5： 特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。

注6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

#### 【推計根拠】

1 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。

清酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）

焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）

米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等

2 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。

主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計

加工用米・・・「需要に応じた米生産の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告

新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）による利用量

MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）

輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）

特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量



## (2) 加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

### ＜うるち米＞

(単位:万トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
清酒用	26	11 (8)	9		4			24 (8)
	27	12 (9)	10		3			25 (9)
	28	13 (10)	9		3			25 (10)
米菓用	26	1	1		5	3	2	12
	27	1	2		7	2	1	13
	28	1	2		6	3	1	12
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	26	5	5					10
	27	5	5					10
	28	5	5					10
味噌用	26		1		3	6		10
	27		1		7	1		9
	28		1		6	2		9
焼酎用 (泡盛含む)	26				6	3		9
	27		1		5	2		8
	28		2		4	2		8
米穀粉用	26		1	3	1	2	1	8
	27		1	2	2	2	1	8
	28		1	2	1	3	1	8
その他用	26	1			2	1		4
	27	1			2	1		4
	28	1	1		2	1		4
合計	26	18	18	3	21	14	3	77
	27	18	22	2	24	9	2	77
	28	20	21	2	21	11	1	77

### ＜もち米＞

(単位:万トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	26	3	1			1	2	7
	27	3	2				2	7
	28	3	2				2	8
米菓用	26	2	1			1	2	6
	27	2	1		1	1	2	6
	28	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	26	1					1	3
	27	1					1	3
	28	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	26							1
	27	1						1
	28	1						1
その他用	26						2	2
	27						1	2
	28						1	2
合計	26	7	3		1	2	7	19
	27	7	4		1	1	6	19
	28	6	5		1	2	5	19

注1: 清酒用の( )書きは、酒造好適米で内数。

2: 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。

3: 焼酎は単式蒸留しょうちゆう(穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの(酒税法第3条第10号))であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4: その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5: 特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75~1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米(一般的に「くず米」と呼ばれているもの)の総称。

6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

### 3 飼料用米の需要量

- 畜産側の平成30年産に係る飼料用米の年間需要量は、約120万トン。  
〔農林水産省生産局畜産部飼料課調べ〕
- ① 全農グループ飼料会社：約68万トン（米使用可能数量約82万トンのうちMA米・備蓄米を含まない数量）
- ② (協)日本飼料工業会組合員工場：約42万トン～62万トン（MA米・備蓄米を含まない数量）
- ③ 全国酪農業協同組合連合会：約1万トン（MA米、備蓄米を含む米使用可能数量）
- ④ 日本養鶏連：約4万トン（MA米、備蓄米を含む米使用可能数量）
- ⑤ 畜産農家：約2万トン〔63件〕（新規需要量、平成30年6月29日現在の報告分。追加情報は随時更新）
- 上記の地域別内訳、問い合わせ先は以下のとおり。

① 全農グループ飼料会社の飼料用米の使用可能数量（平成30年1月現在）

地区	年間使用可能数量 (千トン)	備考
北海道	88	ホクレンくみあい飼料
東北	217	JA全農北日本くみあい飼料
関東	146	JA東日本くみあい飼料・科学飼料研究所
北陸	30	JA東日本くみあい飼料
東海	46	〃
近畿・中国	46	JA西日本くみあい飼料
四国	32	〃
北九州	49	ジェイエイ北九州くみあい飼料
南九州	162	南日本くみあい飼料・科学飼料研究所
合計	817	

- (※) 使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。
- (※) 畜種別の使用割合は、グループ内の飼料会社からの間取りをもとに、採卵鶏約33%、豚約29%、ブロイラー約19%、肉用牛約13%、乳用牛約6%と推計。
- (※) 実際の使用にあたっては、搬入方法等により制限される可能性がある。
- (※) 四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

問い合わせ先: JA全農 耕種総合対策部飼料用米対策課 TEL: 03-6271-8279

② 日本飼料工業会組合員の工場の飼料用米需要量見込み（平成30年1月調査）

地区	需要量 (千トン: 単年度)	備考
北海道	14~36	
東北	114~155	
関東	107~117	
中部	44~49	
関西	55~82	
九州	84~177	
合計	418~618	

- (※) 輸入トウモロコシ価格以下であることが前提、価格水準により需要量は変動する。
- (※) 上記の需要量には、MA米、備蓄米は含まない。
- (※) 畜種別の使用割合は、組合員の一部の工場からの間取りをもとに、豚約35%、ブロイラー約32%、採卵鶏約30%、乳用牛約2%、肉用牛約1%と推計。
- (※) 四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

(協)日本飼料工業会は「飼料用米ダイヤル」を設置し、飼料用米を生産して売りたい産地の生産者や集荷業者、JA、飼料用米を使用したい傘下の全国の飼料メーカー(工場)との仲介を実施。

問い合わせ先: 「飼料用米ダイヤル」 TEL: 03-3583-8031 E-mail: Esamai@jafma.or.jp

③ 全国酪農業協同組合連合会の飼料用米の使用可能数量（平成30年1月現在）

地区	年間使用可能数量 もしくは需要量 (千トン)	備考
北海道	9.8	政府所有米穀(MA米)使用
東北	2.0	政府所有米穀(備蓄米)と新規需要米併用
関東	1.2	政府所有米穀(備蓄米)と新規需要米併用
中部	0.4	新規需要米使用
関西	1.0	政府所有米穀(MA米)と新規需要米併用
九州	0.0	
合計	14.4	

- (※) 使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。
- (※) 畜種別の使用割合は、29年度の使用実績では、乳用牛約85%、肉用牛約15%。
- (※) 実際の使用にあたっては、搬入方法等によっては制限される可能性がある。
- (※) 輸入トウモロコシ価格以下であることが前提の需要量。
- (※) 四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

問い合わせ先: 全国酪農業協同組合連合会 購買生産指導部 TEL: 03-5931-8007

④ 日本養鶏連の飼料用米の使用可能数量（平成30年1月現在）

地区	年間使用可能数量 もしくは需要量 (千トン: 単年度)	備考
北海道	0.0	
東北	0.5	*粳米、不可
関東	1.5	
北陸	0.0	
東海	1.2	
近畿・中国	6.0	*粳米、不可
四国	0.0	
九州	26.0	*一部、粳米不可
合計	35.2	

- (※) 使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。
- (※) 畜種別の使用割合は、29年度の使用実績では、採卵鶏約70%、ブロイラー約25%、その他約5%。
- (※) 実際の使用にあたっては、搬入方法等によっては制限される可能性がある。
- (※) 輸入トウモロコシ価格以下であることが前提の需要量。
- (※) 四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

問い合わせ先: 日本養鶏連 事業部 TEL: 03-5296-7041

⑤ 畜産農家の平成30年産飼料用米の新規需要量（平成30年6月29日現在）

都道府県	新規需要量		うち確保済み	
	件数	数量（トン）	件数	数量（トン）
北海道	2	5		
岩手県	6	2,151	3	500
宮城県	1	2,400		
茨城県	3	30		
群馬県	2	250	1	50
埼玉県	1	1		
千葉県	6	6,850	2	1,170
山梨県	8	53		
長野県	10	819	10	819
静岡県	1	5		
愛知県	2	220	2	220
大阪府	2	12	1	10
奈良県	5	1,610		
広島県	1	200		
香川県	4	110		
福岡県	2	1,272	1	72
長崎県	3	280		
大分県	2	2,020		
宮崎県	2	2,254		
<b>合計</b>	<b>63</b>	<b>20,543</b>	<b>20</b>	<b>2,841</b>

(※) 供給先が確保されていない新たな需要及びマッチング状況について、都道府県から報告のあった件数・数量を記載  
（現在とりまとめ中の都道府県もあり）

(※) 追加の希望があれば随時更新

(※) 畜種別の使用割合は都道府県の報告から、肉用牛4件1,573トン、乳用牛10件1,637トン、豚16件3,852トン、  
採卵鶏23件8,963トン、ブロイラー5件2,053トン、その他5件2,464トン

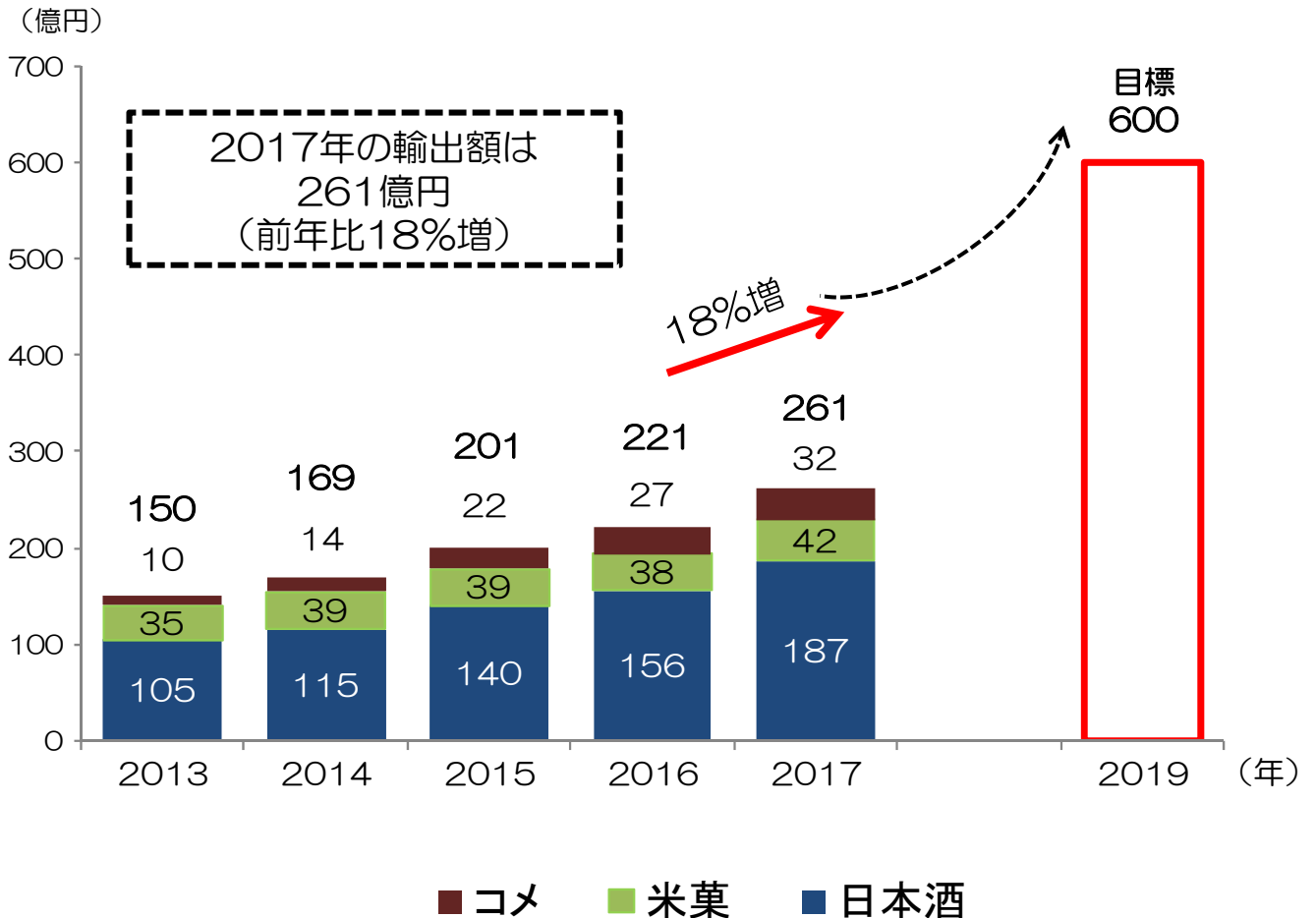
(※) 四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

※問い合わせ先：生産局畜産部飼料課 TEL：03-3502-5993

## 4 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について

- 「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」（平成25年8月決定）の中で、コメ・コメ加工品の輸出額を2020年（平成32年）までに600億円とすることが決定。
- 2020年（平成32年）の輸出額1兆円目標について、「未来への投資を実現する経済対策」（平成28年8月決定）において、平成31年に1年前倒しすることとされ、オールジャパンでの輸出拡大を推進。
- 2017年の輸出額は、261億円（前年比18%増）。

### コメ・コメ加工品の輸出状況



### コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額

	日本酒		米菓		コメ	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
2013年	16,202	10,524	3,606	3,487	3,121	1,030
2014年	16,314	11,507	4,012	3,944	4,516	1,428
2015年	18,180	14,011	3,679	3,869	7,640	2,234
2016年	19,737	15,581	3,567	3,808	9,986	2,709
2017年	23,482	18,679	3,849	4,186	11,841	3,198

資料：財務省「貿易統計」（政府による食料援助を除く。）

注：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

## 5 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

### 2020年に向けた輸出額目標

「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」（平成25年8月決定）の中で、コメ・コメ加工品の輸出額を600億円とすることとしている。

### 輸出拡大に向けた対応方向

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、精米だけでなく、包装米飯・日本酒・米菓も含めたコメ加工品の輸出に力を入れることとしている。

#### 【コメ（包装米飯含む）】

現地での精米の取組や炊飯ロボットと合わせた外食への販売など、日本米のプレゼンスを高める取組を推進。

重点国

新興市場：台湾、豪州、EU、ロシア、中国、米国等

安定市場：香港、シンガポール



#### 【米菓】

相手国のニーズに合った商品の開発、手軽なスナックとしてのプロモーション強化。

重点国

新興市場：中東、中国、EU

安定市場：台湾、香港、シンガポール、米国



#### 【日本酒】

発信力の高い都市や重点市場でのイベント・事業を実施するほか、セミナー等を通じて、日本酒の良さについて普及。日本酒の生産増に対応した酒造好適米の増産が可能となるよう措置。

重点国

新興市場：EU、台湾、中国、ブラジル、ロシア、韓国

安定市場：米国、香港



### 輸出拡大に向けた取組

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、他の品目に先がけて、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体（全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会）を平成26年11月27日に立ち上げ、統一ロゴマークの開発・発表、海外でのPRイベント等を開催。

日本産米輸出の統一ロゴマーク



THIS IS  
JAPAN QUALITY  
日本のおいしい米。



（注）QRコードから、日本産米のPR映像が流れるHPへリンク

## Ⅵ 支援事業等

### (1) 水田活用の直接支払交付金

- 水田で麦、大豆、飼料用米、米粉用米等の作物を生産する農業者に対して交付金を直接交付することにより、水田のフル活用を推進し、食料自給率・自給力を向上。

### 水田活用の直接支払交付金(1)

【平成30年度予算額:3,304(3,150)億円】

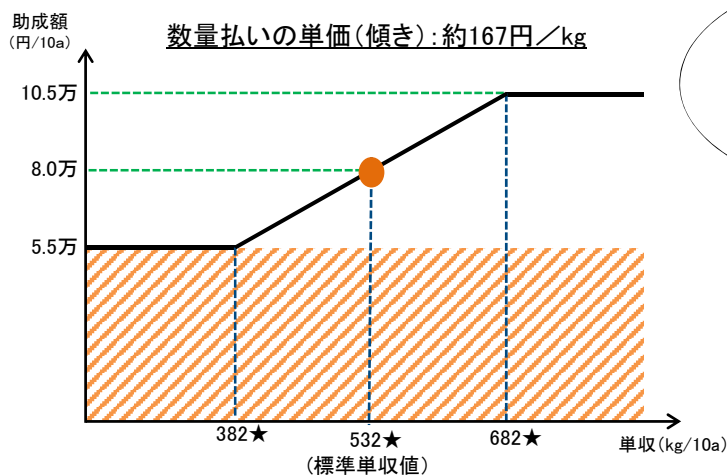
#### 支援内容

##### ① 戦略作物助成

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物※	3.5万円/10a
WCS用稲	8.0万円/10a
加工用米	2.0万円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、 5.5万円～10.5万円/10a

※ 子実用とうもろこし(飼料用)を含む

#### <飼料用米、米粉用米の交付単価のイメージ>



- 数量払いによる助成については、農産物検査機関による数量確認を受けていることを条件とします。
- ★は全国平均の単年単収(標準単収値)に基づく数値であり、各地域への適用に当たっては、地域農業再生協議会が当該地域に応じて定めている単収(地域の合理的な単収)を適用します。なお、地域の合理的な単収は当年産の作柄(作柄表示地帯別)に応じて調整します。

#### <標準単収値の作柄調整の考え方>

$$\text{標準単収値} = \frac{\text{地域の合理的な単収} \times \text{当年産のふるい目1.70mm以上の10アール当たり収量}}{\text{ふるい目1.70mm以上の10アール当たり平均収量}}$$

(小数点以下切り上げ)

## 水田活用の直接支払交付金(2)

### ② 産地交付金

- 地域で作成する「水田フル活用ビジョン」に基づき、二毛作や耕畜連携を含め、産地づくりに向けた取組を支援します。
- 国から配分する資金枠の範囲内で、都道府県や地域農業再生協議会が助成内容(交付対象作物・取組・単価等)を設定できます。
- また、地域の取組に応じた追加配分(下表参照)を行います。

対象作物	取組内容	追加配分単価
飼料用米、米粉用米	多収品種への取組	1.2万円/10a
加工用米	複数年契約(3年間)の取組 ※継続分のみ。	1.2万円/10a
そば、なたね	作付の取組 ※基幹作のみ。	2.0万円/10a

上記のほか、以下の取組に応じた配分を都道府県に対して行う

- ① 転換作物拡大(1.0万円/10a)  
前年度実績よりも転換作物が拡大し、主食用米の作付面積が減少した場合に、その面積に応じて配分
- ② コメの新市場開拓(2.0万円/10a)  
内外の新市場の開拓を図る米穀の作付面積に応じて配分
- ③ 畑地化(10.5万円/10a)  
水田の畑地化面積(交付対象水田からの除外面積)に応じて配分



## 水田活用の直接支払交付金の支払面積等

- 支払対象者数は42万5千件で、平成28年度の支払実績と比べて3万2千件減少。
- 支払面積は、戦略作物(基幹作物)全体では44万7千haと、平成28年度とほぼ同水準。
- 作物別には、
  - (ア) 麦は、北海道で減少したこと等により、1千ha減の9万8千ha
  - (イ) 大豆は、平成28年度からほぼ横ばいの8万9千ha
  - (ウ) 飼料作物は、平成28年度からほぼ横ばいの7万2千ha
  - (エ) 新規需要米(WCS用稲、米粉用米、飼料用米)は、3千ha増の13万9千ha
  - (オ) 加工用米は、北海道で拡大したこと等から増加し、9百ha増の4万9千ha

### (1) 水田活用の直接支払交付金の支払対象者数

	支払対象者数 (件)			
	個人	法人	集落営農	
平成29年度	424,823	407,774	11,443	5,606
平成28年度	457,225	440,118	11,037	6,070
対前年度比較	▲32,402	▲32,344	+406	▲464

### (2) 水田活用の直接支払交付金における戦略作物の支払面積

#### 基幹作物

(単位: ha)

	麦	大豆	飼料作物	新規 需要米			加工用米	合計	(参考)			
				WCS用稲	米粉用米	飼料用米			そば	なたね	備蓄米	
平成29年度	98,173	88,638	72,424	138,621	42,340	5,271	91,009	48,684	446,540	26,155	727	34,345
平成28年度	99,365	87,941	72,441	135,370	41,105	3,501	90,764	47,817	442,935	26,038	649	39,333
対前年度比較	▲1,192	+697	▲17	+3251	+1235	+1770	+245	+867	+3605	+117	+78	▲4,989

- 平成26年度から導入した米粉用米及び飼料用米の数量払い分の対象面積、数量、平均単収については、
  - (ア) 米粉用米では、5千3百ha(1千8百ha増)、2万8千トン(9千4百トン増)  
538kg/10a
  - (イ) 飼料用米では、8万9千ha(3百ha増)、49万トン(6千トン減)  
549kg/10a

### (3) 米粉用米、飼料用米(数量払い分)の支払面積、支払数量、平均単収

(単位: ha、トン、kg/10a)

	米粉用米			飼料用米		
	面積	数量	単収	面積	数量	単収
平成29年度	5,257	28,272	538	89,238	489,687	549
平成28年度	3,487	18,896	542	88,900	496,017	558
対前年度比較	1,770	9,376	▲4	339	▲6,330	▲9

注) 飼料用米等の数量払いは平成26年度から実施している。  
 面積は、数量払いで交付した面積であるため、前記戦略作物の支払面積と異なっている。  
 数量は、農産物検査機関による数量確認を受けた数量、単収は上記「数量」/「面積」により算出。  
 数量払いの実績には、農産物検査を受けていない取組及び飼料用米を生もみで出荷又は利用する取組の面積及び数量は含まない。

## (2) 畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）

- 諸外国との生産条件の格差により不利がある国産農産物（麦、大豆等）について、引き続き生産コストと販売額の差に相当する額を直接交付。

### 畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）

【平成30年度予算額： 2,065(1,950)億円】

#### (1) 支援内容（数量払）

##### ① 麦類

品質区分 (等級/ランク)	1等				2等			
	A	B	C	D	A	B	C	D
小麦 (ハフ・中華麺用品種:60kg当たり)	8,990円	8,490円	8,340円	8,280円	7,830円	7,330円	7,180円	7,120円
小麦 (上記品種以外:60kg当たり)	6,690円	6,190円	6,040円	5,980円	5,530円	5,030円	4,880円	4,820円
二条大麦 (50kg当たり)	5,520円	5,100円	4,980円	4,930円	4,660円	4,240円	4,110円	4,060円
六条大麦 (50kg当たり)	6,000円	5,580円	5,450円	5,400円	4,970円	4,550円	4,430円	4,380円
はだか麦 (60kg当たり)	8,610円	8,110円	7,960円	7,870円	7,040円	6,540円	6,390円	6,310円

等級:被害粒の割合や粒揃いの違いで区分。A~Dランク:たんばく質の含有率等の違いで区分

##### ② 大豆

品質区分(等級)	1等	2等	3等
普通大豆(60kg当たり)	9,940円	9,250円	8,570円
特定加工用大豆(60kg当たり)	7,890円		

特定加工用:豆腐・油揚げ、しょうゆ、きなこ等製品の段階において、大豆の原形をとどめない用途に使用する大豆

##### ③ そば

品質区分(等級)	1等	2等
45kg当たり	17,470円	15,360円

等級:容積重の違いや被害粒の割合で区分

##### ④ なたね

品質区分(品種)	キザキノナタネ キラリボシ ナナシキブ	その他の 品種
60kg当たり	9,940円	9,200円

##### ⑤ てん菜

品質区分(糖度)	← (+0.1度)	16.3度	→ (▲0.1度)
1t当たり	+ 62円	7,180円	▲ 62円

糖度:てん菜の重量に対するしょ糖の含有量

##### ⑥ でん粉原料用ばれいしょ

品質区分 (でん粉含有率)	← (+0.1%)	19.5%	→ (▲0.1%)
1t当たり	+ 64円	11,610円	▲ 64円

でん粉含有率:ばれいしょの重量に対するでん粉の含有量

## ( 2 ) 支援内容 ( 面積払 ( 営農継続支払 ) )

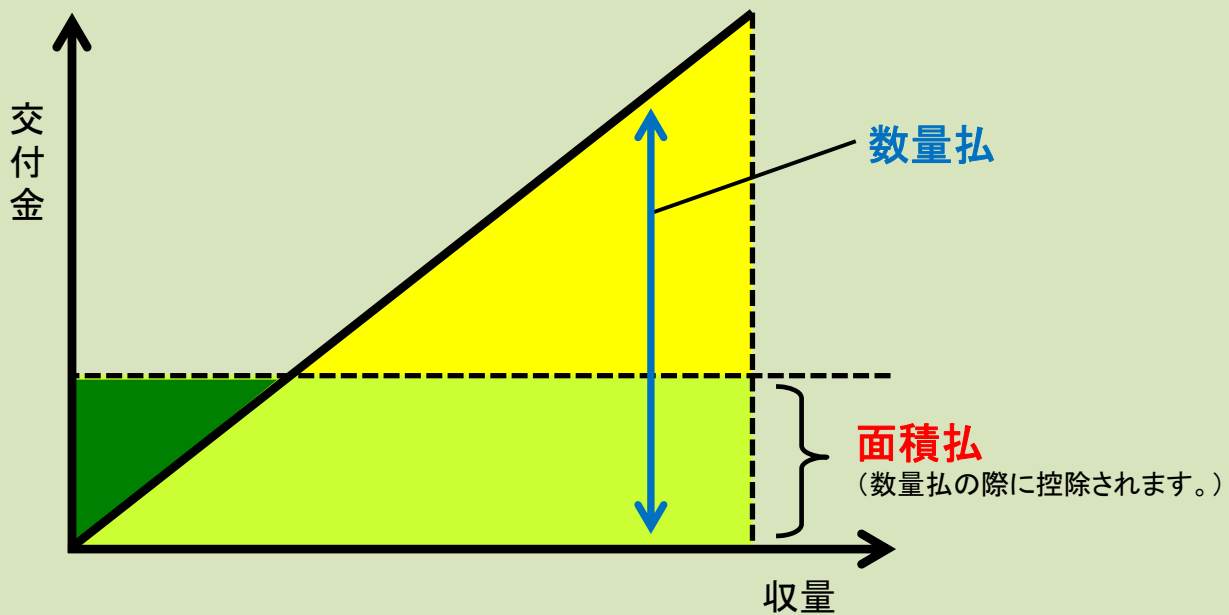
### ① 交付対象面積

当年産の作付面積に応じて交付

### ② 交付単価

10aあたり2万円  
※「そば」は、10aあたり1万3千円

### ③ 数量払と面積払の関係



### 交付対象者

**認定農業者、集落営農、認定新規就農者**  
(いずれも規模要件は課しません。)

### 対象作物

**麦、大豆、そば、なたね**

※ビール用麦、黒大豆、種子用として生産されるものなどは対象外

**てん菜、でん粉原料用ばれいしょ**

※北海道産のみ

### (3) 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）

#### 米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)

【平成30年度予算額:746(746)億円(所要額)】

米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）は、農家拠出を伴う経営に着目したセーフティーネットであり、米及び畑作物の農業収入全体の減少による影響を緩和するための保険的制度です。

#### (1) 交付対象者

支援の対象となる農業者は、認定農業者、集落営農、認定新規就農者です（いずれも規模要件はありません）。

※ 集落営農の要件は、2要件（組織の規約の作成、対象作物の共同販売経理の実施）に緩和し、「農業経営の法人化」及び「地域における農地利用の集積」については、市町村が確実に行われると判断するものとします。

#### (2) 対象農産物

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょです。

- ※1 ビール麦、黒大豆、種子用として生産されるものなどは対象となりません。
- ※2 てん菜、でん粉原料用ばれいしょは、北海道で生産されるものが対象です。

#### 【10a当たり標準的収入額とは】

通常年に想定される収入額として、前年産以前5カ年の収入額のうち、最高年と最低年を除いた3カ年の平均収入額で、品目ごと、地域ごとに計算しています。各年産の収入額は、米であれば、地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、地域の実単収を乗じて算出します。

#### 【10a当たり当年産収入額とは】

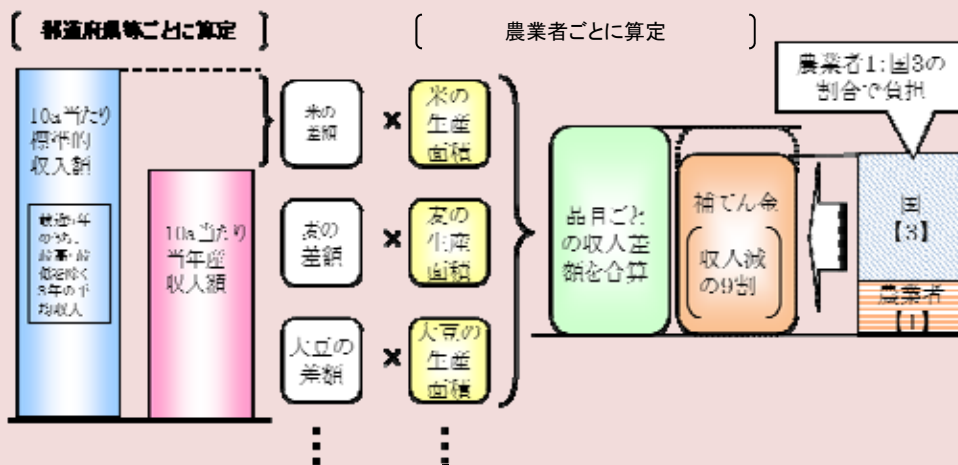
当年産の収入額として、品目ごと、地域ごとに計算しています。当年産の収入額は、米であれば、当年産の地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、当年産の地域の実単収を乗じて算出します。

#### (3) ナラシ対策の仕組み

- 農業者の米、麦、大豆等の当年産の販売収入の合計（当年産収入額）が、標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を補てんします。

$$\text{補てん額} = (\text{標準的収入額} - \text{当年産収入額}) \times 0.9$$

- 補てんの財源は、農業者と国が1対3の割合で負担します。
- このため、補てんを受けるには、農業者からの積立金の拠出が必要となります。
- 補てん後の積立金の残額は、翌年産へ繰り越されるため、掛け捨てとはなりません。



#### (4) 収入保険との関係

- 収入保険導入（平成31年1月）以降は、農業者は収入保険かナラシ対策のどちらかを選択して加入することができます。

(参考) 平成28年産ナラシ対策の支払い実績 (平成29年8月31日現在)

全 国 都 道 府 県	加入件数 (件)	支払件数 (件)	補てん総額 (億円)	(参考1) ※ 米の10a当たり 補てん単価 (円/10a)	(参考2) ※ 米加入面積10haの 場合の補てん額の推計 (万円)	
全 国	106,991	57,064	178.65			
北 海 道	19,529	14,857	100.47	0	0	
東 北	青 森 県	5,082	24	0.02	0	0
	岩 手 県	3,329	3,125	4.73	3,010	30
	宮 城 県	4,291	4,102	5.89	386	3
	秋 田 県	8,602	188	0.32	0	0
	山 形 県	7,597	1	0.00	0	0
福 島 県	4,878	4,717	0.48	149	1	
関 東	茨 城 県	3,140	2,988	3.40	3,612	36
	栃 木 県	5,230	874	1.32	0	0
	群 馬 県	943	302	0.62	0	0
	埼 玉 県	1,252	1,193	0.70	886	8
	千 葉 県	1,088	1,064	0.46	713	7
	東 京 都	3	3	0.00	1,101	11
	神 奈 川 県	125	124	0.03	1,806	18
	山 梨 県	129	116	0.09	3,849	38
	長 野 県	1,429	1,351	3.10	2,989	29
静 岡 県	326	321	0.78	3,099	30	
北 陸	新 潟 県	12,546	4,140	4.58	0	0
	富 山 県	1,506	377	2.53	0	0
	石 川 県	1,783	1,672	0.93	567	5
	福 井 県	1,163	194	0.12	0	0
東 海	岐 阜 県	663	642	3.46	2,485	24
	愛 知 県	614	463	3.44	145	1
	三 重 県	919	446	2.07	0	0
近 畿	滋 賀 県	2,324	2,291	7.42	2,472	24
	京 都 府	325	298	0.14	1,297	12
	大 阪 府	31	30	0.00	270	2
	兵 庫 県	1,109	860	0.75	2,405	24
	奈 良 県	91	80	0.09	8,366	83
	和 歌 山 県	73	0	0.00	0	0
中 国 ・ 四 国	鳥 取 県	399	380	0.99	3,693	36
	島 根 県	719	98	0.20	0	0
	岡 山 県	858	50	0.15	0	0
	広 島 県	516	32	0.06	0	0
	山 口 県	827	769	0.80	538	5
	徳 島 県	160	10	0.01	0	0
	香 川 県	626	591	0.87	670	6
	愛 媛 県	628	601	0.98	4,151	41
	高 知 県	264	222	0.03	1,469	14
九 州	福 岡 県	2,084	1,282	7.76	0	0
	佐 賀 県	1,573	1,538	14.14	4,380	43
	長 崎 県	753	698	0.20	62	0
	熊 本 県	3,422	1,586	2.31	0	0
	大 分 県	1,353	515	1.36	0	0
	宮 崎 県	1,702	1,512	0.77	2,073	20
鹿 児 島 県	887	337	0.10	0	0	
沖 縄 県	100	0	0.00	0	0	

(注1) 加入件数は、平成28年7月31日時点(熊本県は9月末時点)の積立金納付者の件数である。

(注2) 支払件数及び補てん総額は、平成29年8月31日時点の数値である。

(注3) ラウンドの関係で合計数値は一致しない場合がある。

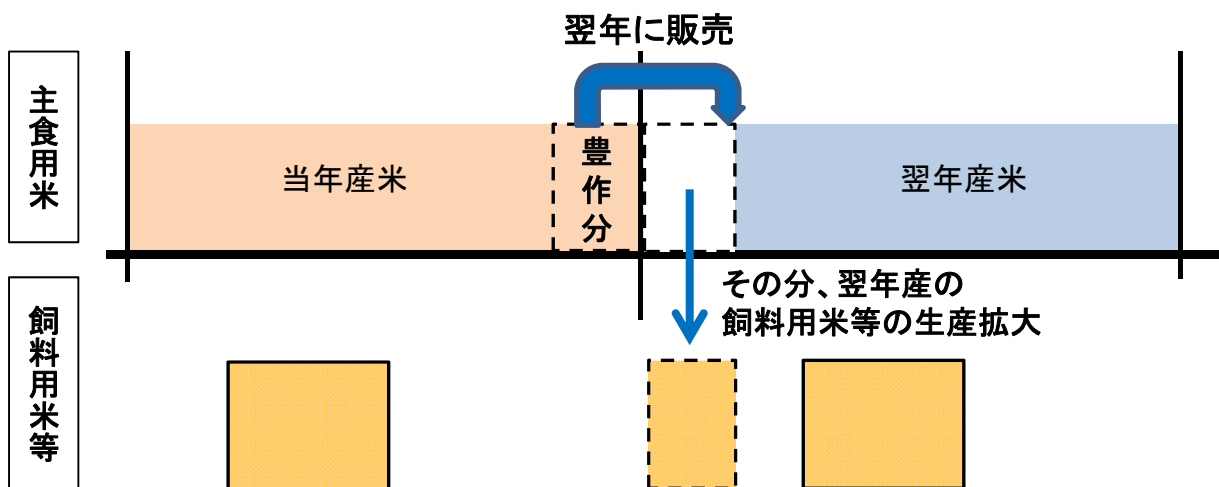
※ 米の10a当たり補てん単価及び米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、20%コースの場合。米のみで試算したものであり、実際の支払では、麦・大豆等との合算相殺がある。また、(参考2)の米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、表記上、1万円未満は切り捨てている。



## (4) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業

### ① 主食用米の需給安定の考え方

- 「需要に応じた生産を行ってもなお、気象の影響等により、必要な場合」に主食用米を長期計画的に販売する取組や、輸出用など他用途への販売を行う取組等を自主的に実施するための支援措置として、「米穀周年供給・需要拡大支援事業」を実施。（米穀周年供給・需要拡大支援事業：30年度予算額50億円（対前年同額））
- 平成30年産に向けては、必要がある場合に、この支援措置を活用して、豊作分を翌年に回し、その分、水田活用の直接支払交付金を活用して、翌年産の飼料用米等の生産を拡大して、主食用米の供給を絞るといった取組を定着させ、主食用米の需給の安定を図っていくことが重要。  
（水田活用の直接支払交付金：30年度予算額 3,304億円（対前年+154億円））



### ② 米穀周年供給・需要拡大支援事業のスキーム

- 業務用等の取引に関するマッチングセミナー・イベントの開催に対して支援。
- 産地の自主的な取組により、需要に応じた生産・販売が行われる環境整備を図る観点から、気象の影響等により必要が生じた場合には、産地の判断により、主食用米を長期計画的に販売する取組や輸出用など他用途への販売を行う取組等を自主的に実施する体制を構築していくことが必要。
- あらかじめ生産者等が積立てを行い、産地の取組を実施する場合に国も一定の支援。

#### 全国事業

業務用等の取引に関するマッチングセミナー・イベントの開催支援(定額)

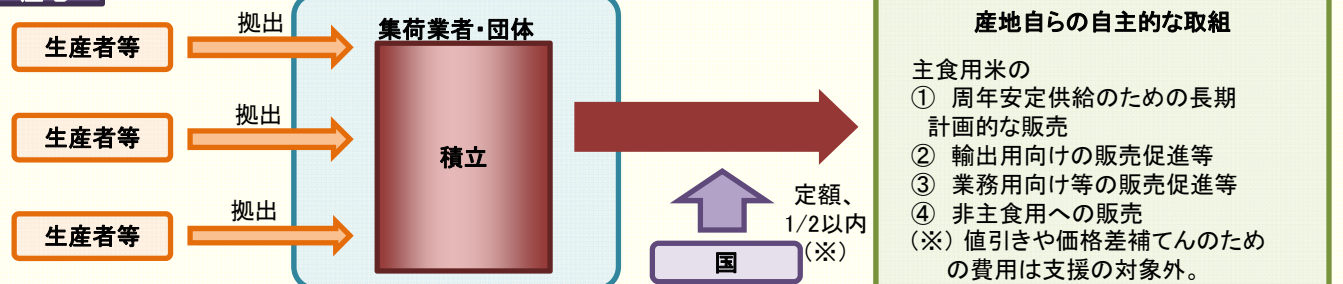
〔業務用米取引セミナー〕

〔展示商談会〕

民間団体が行う業務用米の生産・流通の拡大に向けたセミナー、展示商談会を支援。  
→ 生産者と実需者の連携(マッチング)促進による安定供給の拡大



#### 産地



また、取引参加者の利便性を向上させるため、現物市場が共同でシステムの開発・導入を行う場合等に支援。

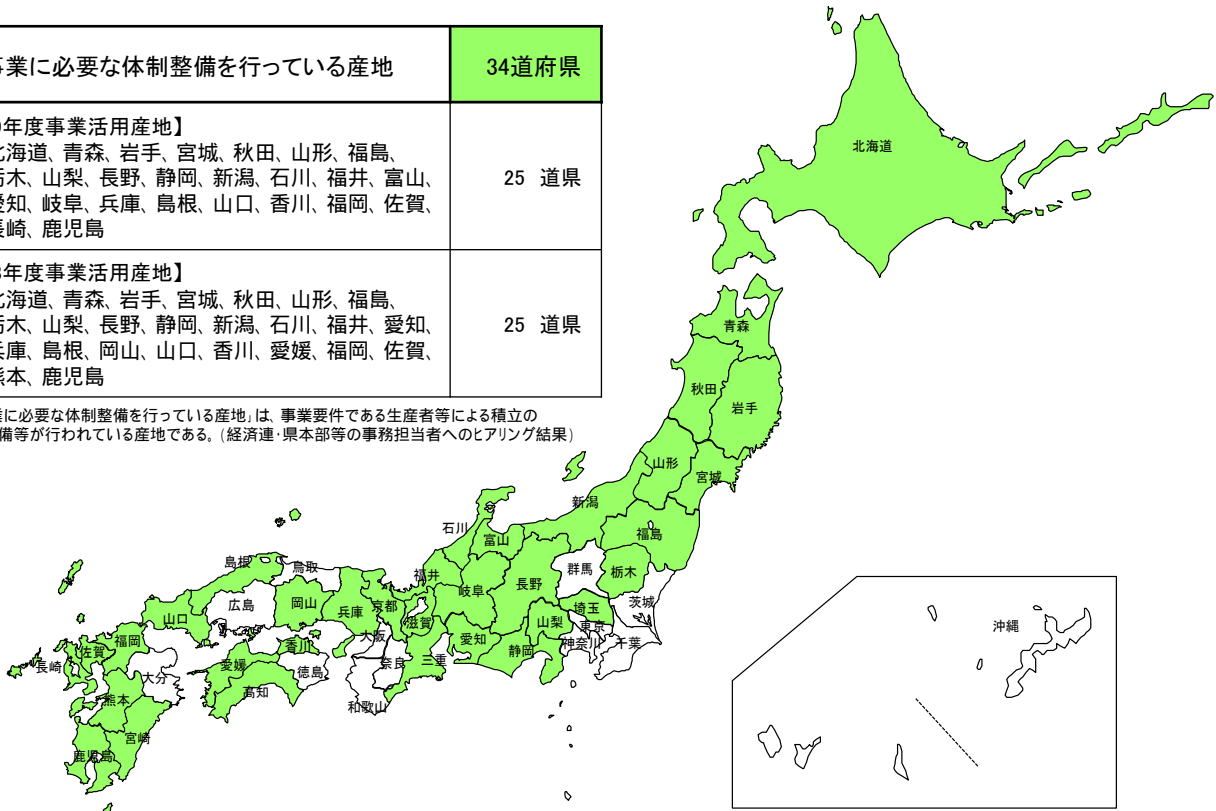


### ③ 米穀周年供給・需要拡大支援事業の体制整備状況

- 米穀周年供給・需要拡大支援事業の体制整備は、34道府県で行われている状況。
- 各産地の事業の活用状況は、平成27年度17道県（18事業者）、平成28年度25道県（27事業者）、平成29年度25道県（27事業者）が活用。
- 出来秋の需給対策として、今後とも本事業を継続・推進。

事業に必要な体制整備を行っている産地	34道府県
【29年度事業活用産地】 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、 栃木、山梨、長野、静岡、新潟、石川、福井、富山、 愛知、岐阜、兵庫、鳥根、山口、香川、福岡、佐賀、 長崎、鹿児島	25 道県
【28年度事業活用産地】 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、 栃木、山梨、長野、静岡、新潟、石川、福井、愛知、 兵庫、鳥根、岡山、山口、香川、愛媛、福岡、佐賀、 熊本、鹿児島	25 道県

注) 「事業に必要な体制整備を行っている産地」は、事業要件である生産者等による種立の体制整備等が行われている産地である。(経済連・県本部等の事務担当者へのヒアリング結果)



主な産地	これまでの主な取組概要
北海道	<p>【長期計画的販売の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売</li> </ul> <p>【輸出向けへの販売促進等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外向け北海道米PRパンフレットの作成配布</li> </ul> <p>【業務用向け等への販売促進等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクター(マツコ・デラックス)を用いた各種メディア及びイベントを活用した「ゆめぴりか」のPR</li> <li>認知度向上に向けた情報収集、データ分析による販路拡大手法の検討</li> </ul>
秋田	<p>【長期計画的な販売の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売</li> </ul> <p>【業務用向け等への販売促進等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクター(小芝 風花)を用いた各種メディア及びイベントを活用した「あきたこまち」のPR</li> <li>食味分析データを用いた販売促進パンフレットの作成配布</li> <li>外食事業者等が参加する各種商談会での試食等の実施</li> </ul>
山形	<p>【輸出向けへの販売促進等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外百貨店等での「つや姫」、「はえぬぎ」PRキャンペーンの開催</li> </ul> <p>【業務用向け等への販売促進等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクター(V6 長野 博)を用いた各種メディア及びイベントを活用した「はえぬぎ」のPR</li> <li>販路拡大に向けたコンサルティング活動</li> </ul>
新潟	<p>【長期計画的な販売の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売</li> </ul> <p>【業務用向け等への販売促進等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種メディアを活用した新潟県産米のPR</li> <li>JRエキナカ店舗との連携による販売促進活動の実施</li> <li>インターネット調査による新潟県産米の認知度・消費者ニーズ等の把握</li> </ul>
石川	<p>【長期計画的販売の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売</li> </ul> <p>【輸出向けへの販売促進等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現地市場等調査による実需者ニーズの把握や石川県産米パンフレットの作成配布</li> </ul> <p>【業務用向け等への販売促進等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種メディアを活用した石川県産米のPR</li> <li>毎月2日を「おにぎりの日」に制定し、これを起点にした試食イベント等の開催</li> </ul>

## (5) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト（平成29年9月8日公表）

我が国のコメの消費量が毎年約8万トン減少していく中で、食料自給率・食料自給力の向上や米農家の所得向上を図っていくためには、海外市場に積極的に進出し、輸出を拡大していくことが喫緊の課題。

→ コメ・コメ加工品の輸出目標「600億円」の目標年次である平成31年に向け、コメの輸出量を飛躍的に拡大するため、戦略的に輸出に取り組む関係者を特定し、それらが連携した個別具体的な取組を強力に後押しする。

### (1) 戦略的輸出事業者

平成31年に向けた飛躍的な輸出目標を掲げ、コメ輸出の戦略的な拡大に取り組む輸出事業者を「戦略的輸出事業者」として特定。



「戦略的輸出事業者」と連携して、輸出用米の安定的な生産に取り組む「戦略的輸出基地」づくりを推進

「戦略的輸出事業者」と連携したプロモーション等により、輸出先国における日本産米の需要を拡大

産地と事業者の結びつきの強化・拡大

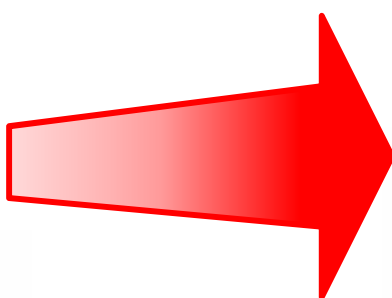
連携したプロモーション等の実施

### (2) 戦略的輸出基地（産地）

輸出産地としての取組方針を掲げ、輸出用米の安定的な生産に取り組む産地（法人・団体）を「戦略的輸出基地」として特定。



コメ輸出の飛躍的拡大



目標：10万トン<sup>(※)</sup>

### (3) 戦略的輸出ターゲット国

「戦略的輸出事業者」が輸出を拡大する国を中心に、重点的にプロモーション等を行う「戦略的輸出ターゲット国」を特定。

→ 中国、香港、シンガポール、米国、EU等



(※) 米菓・日本酒等の原料米換算分を含む。

## 「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」の参加状況について

### ○ 本プロジェクトの参加状況

平成30年6月29日時点の戦略的輸出事業者及び戦略的輸出基地の参加状況は以下のとおりとなっています。

(ア)戦略的輸出事業者 59事業者（目標数量合計 13.3万トン※）

(イ)戦略的輸出基地

- (1)団体・法人 234産地
- (2)都道府県単位の集荷団体等 21団体  
（(1)以外の産地も含めた取組を推進する都道府県単位の団体等）
- (3)全国単位の集荷団体等 1団体  
（(1)、(2)以外の産地も含めた取組を推進する全国単位の団体等）

(ウ)戦略的輸出ターゲット国

戦略的輸出事業者から提出された「重点的に輸出を拡大する国・地域」は以下のとおり。中国、台湾、香港、マカオ、シンガポール、タイ、ベトナム、マレーシア、モンゴル、米国、カナダ、EU、スイス、オーストラリア、ロシア、中東、インド

※輸出事業者の目標の積み上げにより、重複して計上される場合があります。

### ○ 今後の取組方針

海外市場における日本産米の需要をより一層喚起し、輸出拡大に繋げるため、平成29年度補正予算に盛り込まれた輸出促進予算等を活用して戦略的輸出事業者による海外市場開拓を強力に推進します。

また、海外需要に応じた輸出用米の生産拡大を進めるため、戦略的輸出事業者と戦略的輸出基地の結びつけ・マッチングを進めるとともに、各県・地域が水田フル活用ビジョンの検討を進める中で、戦略的輸出事業者と戦略的輸出基地との間で輸出用米の具体的な生産数量や品種等の調整が進むよう、関係者が一体となって輸出用米生産の取組を推進します。

なお、引き続き、本プロジェクトに参加する輸出事業者及び産地の団体・法人を募集します。本プロジェクトへの参加を希望する輸出事業者及び産地の団体・法人は、下記URLの様式に必要事項を記載の上、以下の宛先に郵送、FAX又は電子メールにて提出してください。

「コメ輸出拡大プラン(輸出事業者用)」の提出先

100-8950  
東京都千代田区霞が関1-2-1  
農林水産省政策統括官付  
農産企画課企画班 近藤、林、三浦  
E-mail:kome\_yusyutu@maff.go.jp  
TEL:03-6738-8964、FAX:03-6738-8976

「コメ輸出産地取組方針(産地の団体・法人用)」の提出先

〒100-8950  
東京都千代田区霞が関1-2-1  
農林水産省政策統括官付  
穀物課 美保、谷口、平岡、安部  
E-mail:kome\_santi@maff.go.jp  
TEL:03-6744-2108、FAX:03-6744-2523

農林水産省ホームページで「米の輸出について」のページを開設しました！「米の輸出について」のページには、本プロジェクトの情報やコメ輸出に関する様々な情報を掲載しています。

また同ページには、コメの輸出について分かりやすく説明した動画を公開しています。

「農林水産省ホームページ」トップページの「キーワード」にある「米の輸出」からご覧頂けます！

(農新水産省ホームページ「米の輸出について」URL)

[http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome\\_yusyutu/kome\\_yusyutu.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_yusyutu/kome_yusyutu.html)

## Ⅶ 消費動向

### (1) 米の消費動向（米穀機構による調査）

○ 本調査は、調査実施機関（株）マクロミルのモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

- 米穀機構が公表している「米の消費動向」（平成30年5月）によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、対前年同月比▲4.5%。
- このうち、家庭内での消費量は対前年同月比▲7.2%、中・外食は同+2.3%。

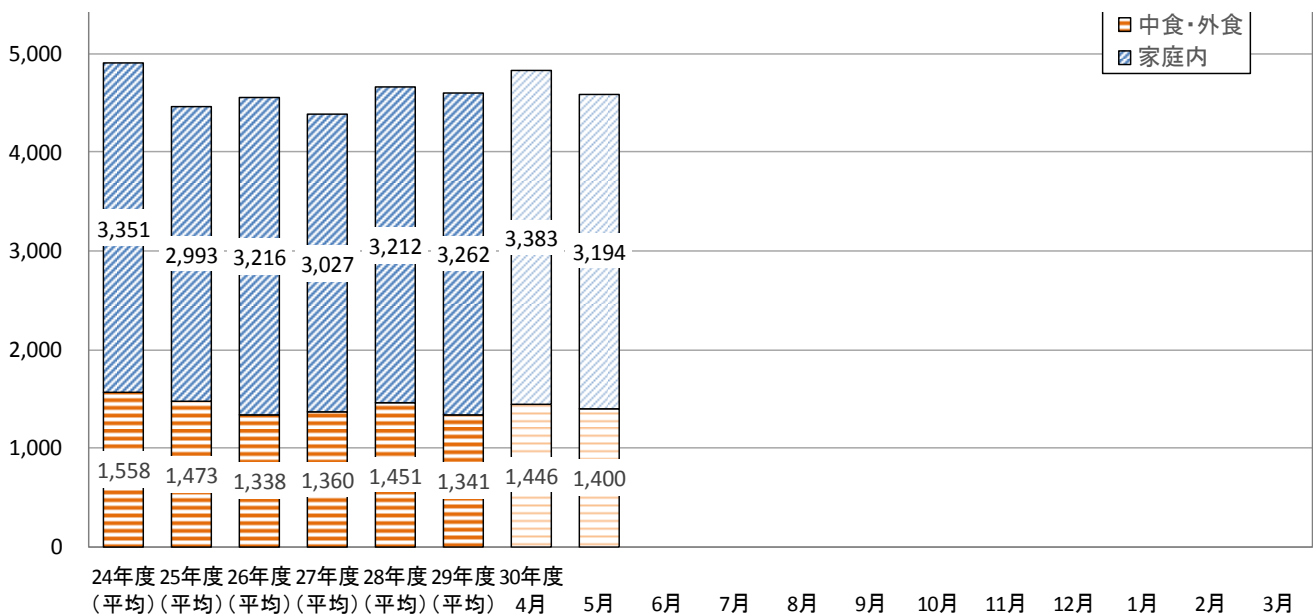
### 1人1ヵ月当たり精米消費量の推移

（精米g／人、％）

		精米消費量					内訳(比率)					前年同月比(比率)				
		合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食	
			中食	外食	中食	外食		中食	外食	中食	外食					
24年度	-	4,909	3,351	1,558	900	658	100.0	68.3	31.7	18.3	13.4	1.4	4.4	▲4.4	▲3.1	▲6.1
25年度	-	4,466	2,993	1,473	846	627	100.0	67.0	33.0	18.9	14.0	▲9.0	▲10.7	▲5.5	▲6.0	▲4.7
26年度	-	4,554	3,216	1,338	758	580	100.0	70.6	29.4	16.6	12.7	2.0	7.5	▲9.2	▲10.4	▲7.5
27年度	-	4,386	3,027	1,360	793	567	100.0	69.0	31.0	18.1	12.9	▲3.7	▲5.9	1.6	4.6	▲2.2
28年度	-	4,663	3,212	1,451	852	599	100.0	68.9	31.1	18.3	12.8	6.3	6.1	6.7	7.4	5.6
29年度	-	4,603	3,262	1,341	777	564	100.0	70.9	29.1	16.9	12.3	▲1.3	1.6	▲7.6	▲8.8	▲5.8
30年度	4月	4,829	3,383	1,446	863	583	100.0	70.1	29.9	17.9	12.1	▲4.0	▲4.4	▲2.8	▲5.0	0.5
	5月	4,594	3,194	1,400	842	558	100.0	69.5	30.5	18.3	12.1	▲4.5	▲7.2	2.3	1.1	4.1

### 1人1ヵ月当たり精米消費量の推移(グラフ)

（精米g／人）



出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 平成30年5月分の有効調査世帯数は2,023世帯。

2 調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。

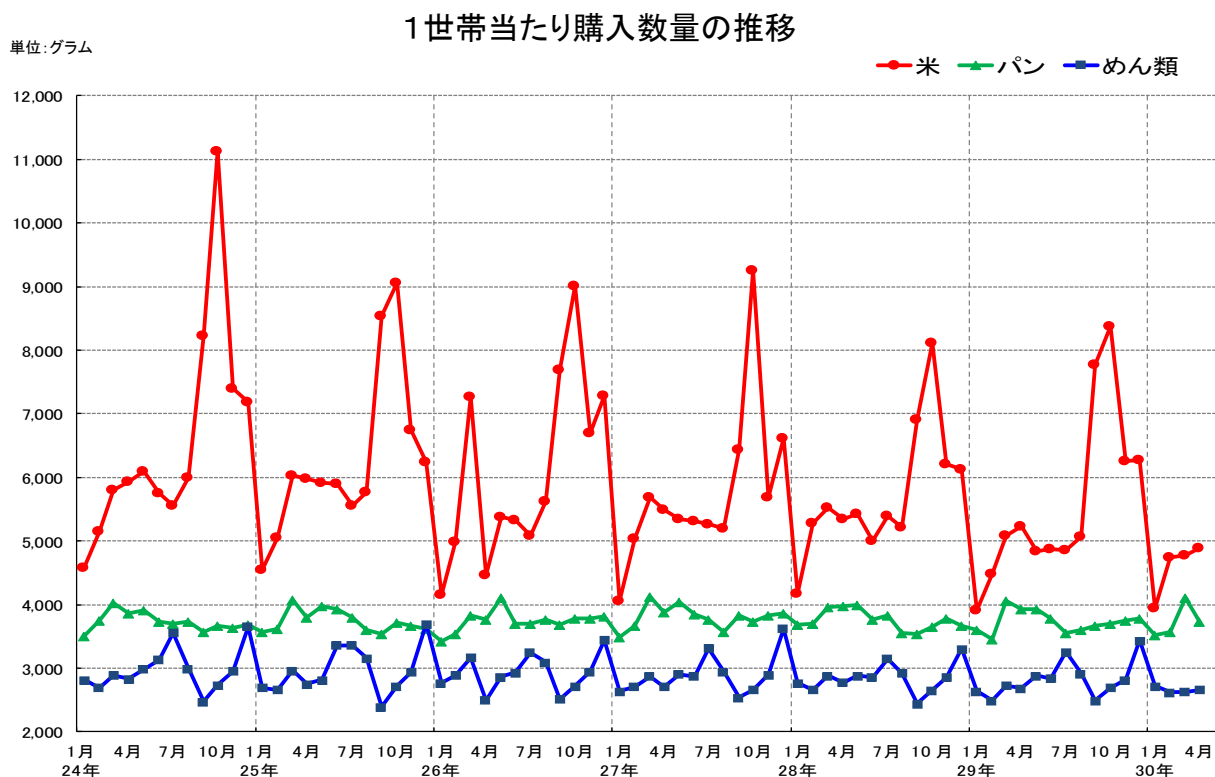
3 家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

4 集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

5 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

## (2) 購入数量の推移（家計調査）

- 総務省が公表している家計調査によると、平成30年4月の米の購入数量は、対前年同月比▲6.5%の4.9kg、パンについては▲4.8%の3.7kg、めん類については▲0.8%の2.7kg。



(表) 1世帯当たり購入数量の推移

(単位：グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	対前年 (同月)比	購入数量	対前年 (同月)比	購入数量	対前年 (同月)比
平成21年	85,110	96.1%	45,599	102.6%	36,615	102.0%
平成22年	83,010	97.5%	45,443	99.7%	37,000	101.1%
平成23年	80,580	97.1%	45,255	99.6%	36,931	99.8%
平成24年	78,780	97.8%	44,808	99.0%	35,819	97.0%
平成25年	75,170	95.4%	44,927	100.3%	35,560	99.3%
平成26年	73,050	97.2%	44,926	100.0%	35,176	98.9%
平成27年	69,510	95.2%	45,676	101.7%	34,753	98.8%
平成28年	68,740	98.9%	45,099	98.7%	34,192	98.4%
平成29年	67,270	97.9%	44,840	99.4%	33,934	99.2%
平成30年1月	3,940	100.5%	3,516	97.5%	2,721	103.2%
2月	4,750	106.0%	3,574	103.4%	2,625	105.2%
3月	4,780	93.9%	4,107	101.3%	2,634	96.7%
4月	4,890	93.5%	3,740	95.2%	2,663	99.2%

資料：総務省「家計調査」

注：1 二人以上の世帯の数値である。

2 平成21年から平成29年については、年間の購入数量を示す。

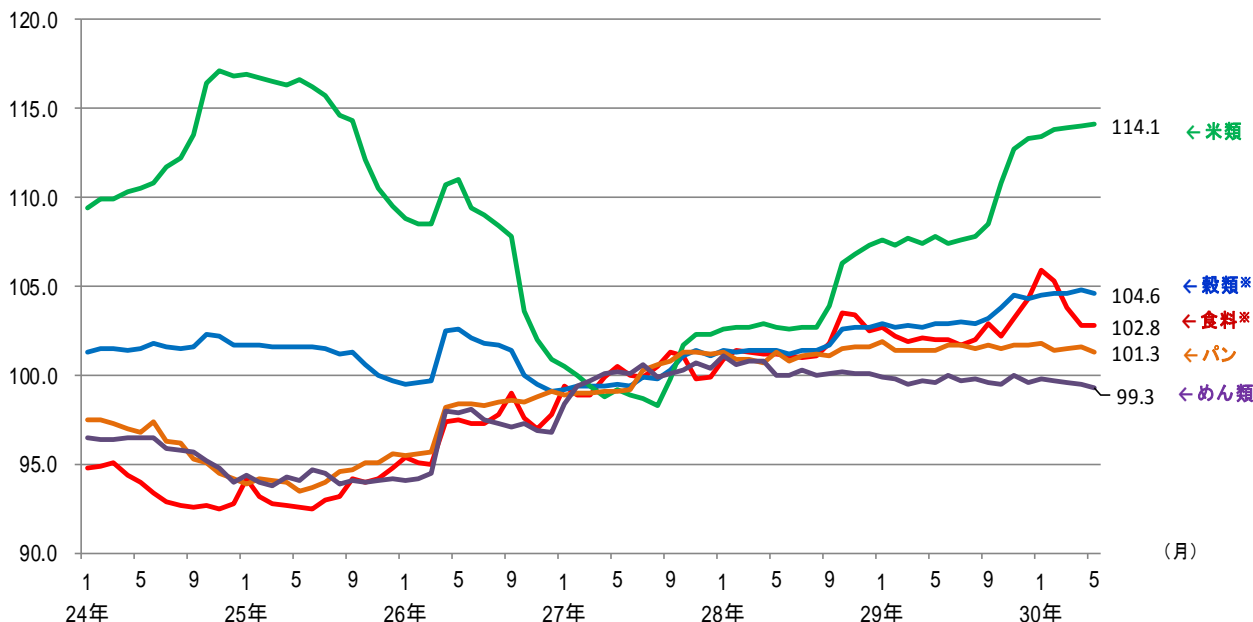
3 米は精米ベースである。



### (3) 消費者物価指数（27年基準）の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数によると、平成30年5月の米類の指数は、対前年同月比+0.1の114.1ポイント。
- なお、対前年同月比+5.8ポイント。

#### 消費者物価指数の推移



- 注：1 図中の実線は、平成27年の平均価格を100とした数値となる。  
 2 図中の数値は、平成30年5月の消費者物価指数となる。  
 3 図中の食料とは穀類、魚介類、肉類等を、穀類とは米類、パン、めん類、他の穀類をいう。

(表) 消費者物価指数の推移 (対前年同月比)

(平成27年=100、指数)

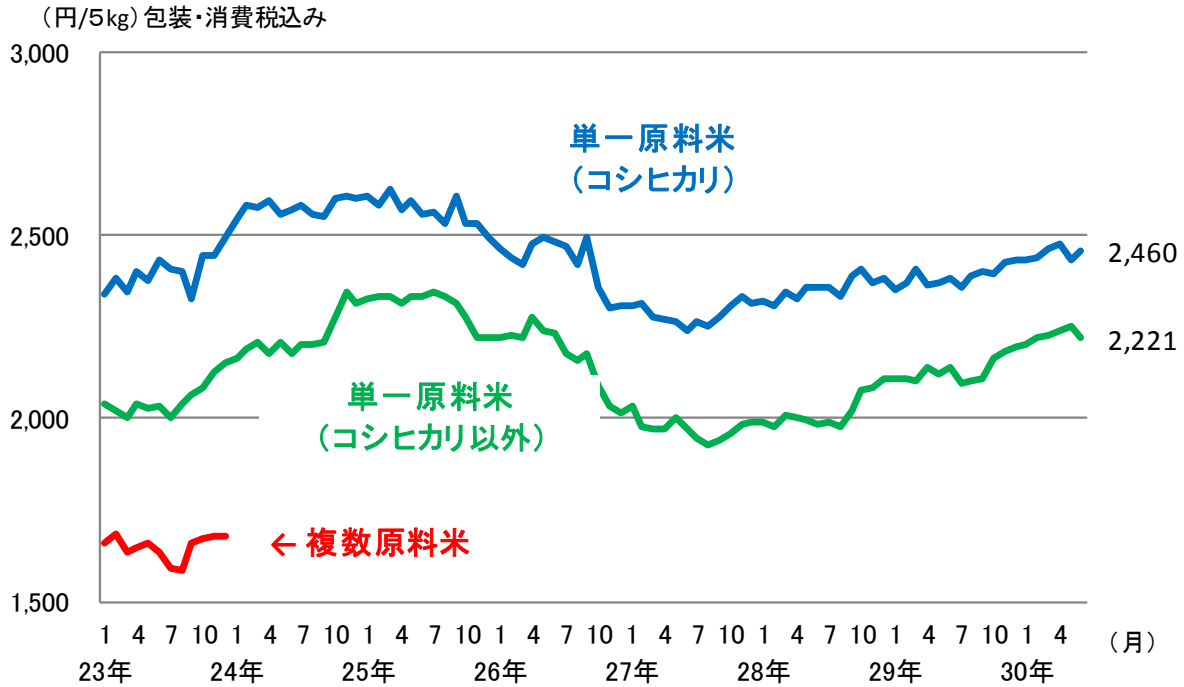
	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	
平成21年	94.1	0.2%	103.7	0.8%	111.1	0.4%	111.6	0.2%	100.1	0.3%	98.8	1.7%
平成22年	93.9	▲0.3%	100.4	▲3.2%	107.2	▲3.5%	107.7	▲3.5%	96.2	▲3.9%	97.0	▲1.9%
平成23年	93.5	▲0.4%	98.8	▲1.6%	103.0	▲4.0%	103.4	▲4.0%	96.4	0.2%	96.2	▲0.8%
平成24年	93.6	0.1%	101.7	3.0%	112.4	9.2%	113.3	9.6%	96.3	▲0.1%	95.8	▲0.4%
平成25年	93.4	▲0.1%	101.2	▲0.5%	114.6	2.0%	115.7	2.1%	94.4	▲1.9%	94.2	▲1.7%
平成26年	97.0	3.8%	100.8	▲0.4%	107.4	▲6.3%	107.9	▲6.8%	97.8	3.6%	96.6	2.6%
平成27年	100.0	3.1%	100.0	▲0.8%	100.0	▲6.9%	100.0	▲7.3%	100.0	2.2%	100.0	3.5%
平成28年	101.7	1.7%	101.7	1.7%	103.8	3.8%	104.0	4.0%	101.2	1.2%	100.3	0.3%
平成29年	102.4	0.7%	103.2	1.5%	108.8	4.8%	109.2	5.1%	101.6	0.4%	99.7	▲0.6%
平成30年1月	105.9	3.2%	104.5	1.6%	113.4	5.4%	114.1	5.7%	101.8	0.0%	99.8	▲0.2%
2月	105.3	3.0%	104.6	1.8%	113.8	6.1%	114.5	6.4%	101.4	0.0%	99.7	▲0.1%
3月	103.8	1.9%	104.6	1.8%	113.9	5.7%	114.6	6.0%	101.5	0.0%	99.6	0.0%
4月	102.8	0.7%	104.8	2.0%	114.0	6.1%	114.6	6.4%	101.6	0.3%	99.5	▲0.2%
5月	102.8	0.8%	104.6	1.7%	114.1	5.8%	114.7	6.1%	101.3	▲0.1%	99.3	▲0.3%

- 資料： 総務省「消費者物価指数」（平成27年基準）  
 注：1 表中の数値は、平成27年の平均価格を100として指数化したものである。  
 2 食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。  
 3 穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。  
 4 平成21年から平成29年のデータは年平均、平成30年1月以降は月次データを用いている。

#### (4) 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、平成30年6月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、単一原料米（コシヒカリ）で、対前年同月比+3.1%の2,460円。
- 単一原料米（コシヒカリ以外）は、対前年同月比+3.6%の2,221円。

(図) 小売物価統計の推移



注：図中の数値は、平成30年6月の価格となる。

(表) 小売物価統計の推移

(単位：円/5kg)

	うるち米				
	単一原料米 (コシヒカリ)	対前年 (同月)比	単一原料米 (コシヒカリ以外)	対前年 (同月)比	複数原料米
平成20年	2,610	▲2.2%	2,270	▲0.8%	1,832
平成21年	2,531	▲3.0%	2,201	▲3.0%	1,812
平成22年	2,462	▲2.7%	2,136	▲3.0%	1,739
平成23年	2,399	▲2.5%	2,053	▲3.9%	1,649
平成24年	2,577	7.4%	2,223	8.3%	-
平成25年	2,567	▲0.4%	2,307	3.8%	-
平成26年	2,428	▲5.4%	2,173	▲5.8%	-
平成27年	2,285	▲5.9%	1,973	▲9.2%	-
平成28年	2,355	3.1%	2,019	2.3%	-
平成29年	2,388	1.4%	2,132	5.6%	-
平成30年1月	2,433	3.3%	2,204	4.4%	-
2月	2,438	2.9%	2,222	5.2%	-
3月	2,466	2.5%	2,229	6.1%	-
4月	2,474	4.7%	2,240	4.8%	-
5月	2,431	2.5%	2,254	6.1%	-
6月	2,460	3.1%	2,221	3.6%	-

資料：総務省「小売物価統計」

注1：東京都区部の数値である。

2：特売を除いた価格である。

3：精米ベースである。

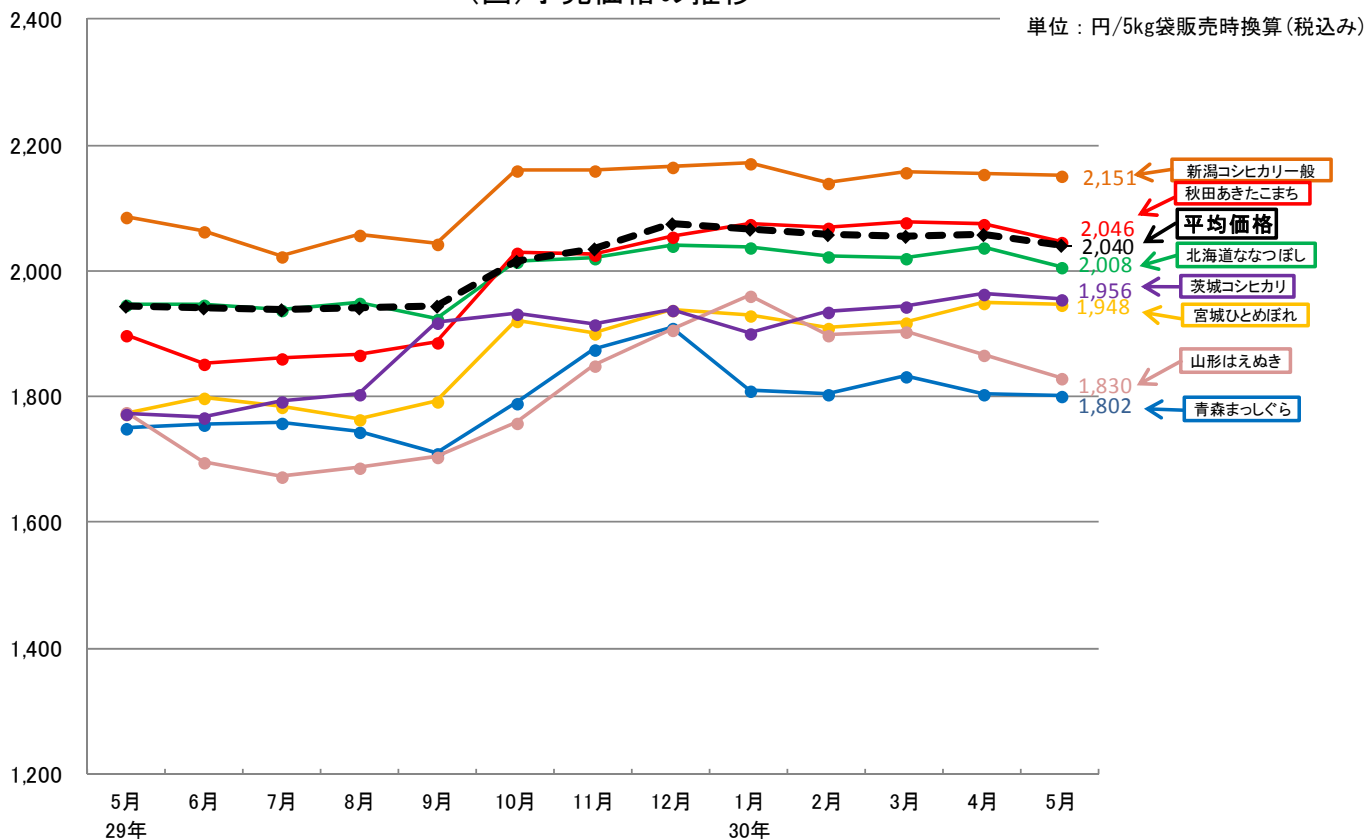
4：複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。



## (5) 小売価格の推移 (POSデータ)

平成30年5月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月比▲17円(▲0.8%)、対前年同月比+96円(+4.9%)の2,040円。

(図) 小売価格の推移



(表) 小売価格の推移

単位：円/5kg袋販売時換算(消費税込み)

	品種銘柄							全POS取引 平均価格
	北海道 ななつぼし	青森 まっしぐら	宮城 ひとめぼれ	秋田 あきたこまち	山形 はえぬぎ	茨城 コシヒカリ	新潟 コシヒカリ一般	
29年5月	1,948	1,750	1,775	1,898	1,776	1,773	2,086	1,944
6月	1,948	1,755	1,799	1,853	1,698	1,767	2,062	1,941
7月	1,939	1,759	1,784	1,862	1,673	1,795	2,023	1,937
8月	1,950	1,745	1,765	1,868	1,687	1,806	2,057	1,942
9月	1,925	1,710	1,794	1,886	1,705	1,918	2,045	1,945
10月	2,017	1,791	1,923	2,031	1,758	1,934	2,161	2,015
11月	2,021	1,875	1,900	2,026	1,850	1,917	2,161	2,034
12月	2,042	1,911	1,938	2,055	1,907	1,939	2,165	2,076
30年1月	2,037	1,811	1,929	2,074	1,961	1,902	2,172	2,067
2月	2,023	1,806	1,910	2,069	1,899	1,935	2,140	2,058
3月	2,021	1,834	1,919	2,079	1,905	1,944	2,159	2,056
4月	2,037	1,805	1,950	2,076	1,867	1,965	2,156	2,057
5月	2,008	1,802	1,948	2,046	1,830	1,956	2,151	2,040
対前月比	▲ 1.4%	▲ 0.2%	▲ 0.1%	▲ 1.4%	▲ 2.0%	▲ 0.4%	▲ 0.2%	▲ 0.8%
対前年同月比	3.1%	3.0%	9.8%	7.8%	3.1%	10.3%	3.1%	4.9%

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

- 注：1 (株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,027店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。  
 2 POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。  
 3 POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。  
 4 平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。  
 5 価格に含む消費税は8%である。

## Ⅷ MA米（一般・SBS）の動向

### （１） MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：千玄米トン）

	米 国	タイ	中 国	オーストラリア	その他	合 計	輸入方式別	
							うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	-	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	-	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	-	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100

資料： 農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は千実トン。

注： 1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。

（参考）MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

## (2) 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(平成29年度)

(単位：実トン)

販売期間	うるち	販売期間	もち
平成29年4～6月分	30,226	平成29年4～7月分	3,071
4月分	405	平成29年8～11月分	2,704
5月分	678	平成29年12～平成30年3月分	2,904
6月分	1,000		
7～9月分	30,935		
7月分	206		
8月分	602		
9月分	1,073		
10～12月分	35,130		
10月分	478		
11月分	719		
12月分	914		
平成30年1～3月分	33,727		
1月分	410		
2月分	312		
3月分	940		
小計	137,755	小計	8,679
合計	146,434		

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

## (3) SBS輸入米の見積合わせ結果(平成29年度)

(単位：実トン)

		アメリカ		タイ		中国		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (平成29年9月27日)	一般米	15,150	496	140		900		5,814		22,500
	砕精米	1,998	100	300		100				2,498
第2回 (平成29年11月29日)	一般米	12,586	830	768		40		8,276		22,500
	砕精米	1,600	200	292	108	300				2,500
第3回 (平成29年12月20日)	一般米	11,265	1,160	2,206	90	340		7,439		22,500
	砕精米	1,888	100	260	252					2,500
第4回 (平成30年2月7日)	一般米	2,380		292		80		3,292		6,044
	砕精米	2,880	400	160		260		360		4,060
第5回 (平成30年2月20日)	一般米	4,460	490	100		220		5,049		10,319
	砕精米	600	200	1,000				2,779		4,579
合計	一般米	45,841	2,976	3,506	90	1,580	0	29,870	0	83,863
	砕精米	8,966	1,000	2,012	360	660	0	3,139	0	16,137
平成23年度計 (参考)	一般米	7,490	5,324	2,038	80	50,463	0	17,155	0	82,550
	砕精米	10,124	990	2,320	3,384	632	0	0	0	17,450
平成24年度計 (参考)	一般米	34,076	2,290	1,536	72	27,640	0	24,386	0	90,000
	砕精米	4,032	576	2,898	364	524	0	1,606	0	10,000
平成25年度計 (参考)	一般米	14,686	4,396	3,346	144	174	0	17,993	0	40,739
	砕精米	576	388	7,375	308	540	0	10,913	0	20,100
平成26年度計 (参考)	一般米	662	2,418	2,732	72	80	0	1,326	0	7,290
	砕精米	0	724	2,540	252	700	0	100	0	4,316
平成27年度計 (参考)	一般米	4,251	3,458	2,762	72	76	0	2,244	0	12,863
	砕精米	10,940	1,260	2,420	1,022	660	0	150	0	16,452
平成28年度計 (参考)	一般米	27,318	3,600	3,487	108	2,156	0	8,097	0	44,766
	砕精米	24,820	700	2,300	388	240	0	100	0	28,548

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」の平成23～29年度

## Ⅸ その他

### (1) 水稲うるち玄米の農産物検査結果

- 平成29年産水稲うるち玄米の平成30年3月31日現在の検査数量は、441万トン。
- 1等米比率は、82.2%。

#### ① 検査数量の推移（累計）

単位：千トン

年産別	当年						翌年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月
24	13	223	1,732	3,750	4,156	4,313	4,411	4,532	4,657	5,041
25	23	265	1,869	3,806	4,248	4,433	4,537	4,661	4,793	5,206
26	12	229	1,789	3,785	4,278	4,470	4,595	4,720	4,880	5,275
27	11	220	1,537	3,506	3,964	4,149	4,252	4,385	4,518	4,869
28	18	231	1,656	3,564	4,036	4,212	4,319	4,451	4,585	4,929
参考:前年比	161%	105%	108%	102%	102%	102%	102%	101%	101%	101%
29	13	244	1,463	3,268	3,851	4,062	4,163	4,279	4,409	
参考:前年比	72%	105%	88%	92%	95%	96%	96%	96%	96%	

注：1 各月末時点の検査数量である。

2 生産年の7月から翌年3月までは速報値、翌年10月は確定値である。

#### ② 検査数量及び等級比率（年産別）

単位：トン、%

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
18	4,776,491	3,746,166	822,163	112,475	95,677	78.4	17.2	2.4	2.0
19	4,805,870	3,826,432	795,452	95,062	88,905	79.6	16.6	2.0	1.8
20	5,093,440	4,073,571	849,087	76,542	94,240	80.0	16.7	1.5	1.9
21	4,819,633	4,102,807	582,137	46,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,556	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,753,193	3,840,127	759,339	60,000	93,727	80.8	16.0	1.3	2.0
24	5,041,499	3,953,978	910,522	82,760	94,226	78.4	18.1	1.6	1.9
25	5,205,717	4,112,147	905,866	96,269	91,415	79.0	17.4	1.8	1.8
26	5,274,634	4,291,267	806,063	70,348	106,956	81.4	15.3	1.3	2.0
27	4,869,592	4,016,682	687,771	82,654	81,475	82.5	14.1	1.7	1.7
28	4,929,745	4,110,565	668,746	67,438	81,995	83.4	13.6	1.4	1.7
29:注③	4,409,356	3,624,033	646,182	65,727	89,414	82.2	14.7	1.6	1.6

資料：農林水産省とりまとめ

注：1 等級比率は、1等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合である。

2 28年産米までは、生産年の翌年10月31日現在（確定値）。

3 29年産米については、平成30年3月31日現在（速報値）。

## (2) 平成29年産水稻の収穫量

(平成29年12月5日公表)

- ・ 主食用作付面積は137万ha（前年産差 1.1万ha）の見込み
- ・ 10a当たり収量は534kg（前年産差 10kg）の見込み
- ・ 主食用の収穫量は730.6万ト（前年産差 19万ト）の見込み

### 調査結果の概要

- 1 平成29年産水稻の作付面積（子実用）は146.5万haとなり、前年産に比べ1.3万ha減少した。うち主食用作付面積は137万haとなり、前年産に比べ1.1万ha減少した。
- 2 平成29年産水稻の全国の10a当たり収量は534kgとなり、作柄の良かった前年産に比べ10kgの減少が見込まれる。  
また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は100となる見込み。
- 3 以上の結果、平成29年産水稻の収穫量（子実用）は782.2万トとなり、前年産に比べ22万トンの減少が見込まれる。このうち、主食用の収穫量は730.6万トとなり、前年産に比べ19万トンの減少が見込まれる。

### 平成29年産水稻の作付面積及び収穫量

全 国 農 業 地 域	水 稻							
	作付面積 (子実用) ①	10a当たり収量		収穫量(子実用)		参 考		
		実数 ②	前年産 との比較	実数 ③=①×②	前年産 との比較	主食用 作付面積 ④	収穫量 (主食用) ⑤=④×②	作況指数
			対差		対差			
ha	kg	kg	t	t	ha	t		
全 国	1,465,000	534	△ 10	7,822,000	△ 220,000	1,370,000	7,306,000	100
北 海 道	103,900	560	9	581,800	3,200	98,600	552,200	103
東 北	374,800	564	△ 12	2,115,000	△ 50,000	334,300	1,882,000	99
北 陸	204,100	529	△ 38	1,079,000	△ 86,000	180,100	952,100	98
関 東・東 山	268,500	533	△ 9	1,431,000	△ 34,000	257,400	1,372,000	99
東 海	92,400	498	△ 16	460,100	△ 20,200	90,500	450,000	99
近 畿	103,200	510	△ 6	526,600	△ 12,100	99,400	507,000	100
中 国	104,300	530	4	552,400	△ 4,900	101,200	536,100	103
四 国	49,900	486	△ 6	242,400	△ 8,100	49,500	241,000	101
九 州	163,100	510	3	831,900	△ 7,800	158,700	811,400	101
沖 縄	727	301	8	2,190	△ 110	727	2,190	97

注：1 10a当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 収穫量(子実用)及び収穫量(主食用)については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

3 作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅(北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm)以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

4 沖縄県については、本公表時点で一部収穫を終えていない地域があり、収穫の状況によっては今後作柄が変動することがある(以下同じ。)

## 水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a当たり収量及び収穫量(子実用)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としている。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

### ふるい目幅別重量分布状況の推移

単位：%

年 産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
平成24年産	100.0	0.6	1.0	1.5	2.2	13.0	81.7
25	100.0	0.8	1.3	1.9	2.7	14.5	78.8
26	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4
27	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	15.3	77.8
28	100.0	0.7	1.2	1.7	2.4	14.0	80.0
29(概数値)	100.0	0.9	1.5	2.1	2.9	16.1	76.5
平均値	100.0	0.7	1.3	1.8	2.5	14.3	79.4
対平均差(ポイント)	0.0	0.2	0.2	0.3	0.4	1.8	△ 2.9

注：1 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

2 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる(以下同じ。)

### ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量(子実用)の推移

年 産	単 位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上	
		平成24年産	10a 当たり収量	kg	540	537	531	523
	収穫量(子実用)	t	8,519,000	8,468,000	8,383,000	8,255,000	8,067,000	6,960,000
25	10a 当たり収量	kg	539	535	528	517	503	425
	収穫量(子実用)	t	8,603,000	8,534,000	8,422,000	8,259,000	8,027,000	6,779,000
26	10a 当たり収量	kg	536	532	524	513	499	420
	収穫量(子実用)	t	8,435,000	8,368,000	8,249,000	8,081,000	7,853,000	6,613,000
27	10a 当たり収量	kg	531	527	519	509	494	413
	収穫量(子実用)	t	7,986,000	7,922,000	7,810,000	7,651,000	7,435,000	6,213,000
28	10a 当たり収量	kg	544	540	534	524	511	435
	収穫量(子実用)	t	8,042,000	7,986,000	7,889,000	7,752,000	7,559,000	6,434,000
29 (概数値)	10a 当たり収量	kg	534	529	521	510	494	409
	収穫量(子実用)	t	7,822,000	7,752,000	7,634,000	7,470,000	7,243,000	5,984,000
	対前年比	%	97	97	97	96	96	93

注：1 ふるい目幅別の10a 当たり収量とは、全国の10a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

・ [都道府県別](#)の平成29年産水稲の作付面積及び収穫量については、次頁に掲載。

・ 「平成29年産水陸稲の収穫量」公表資料は下記アドレスにてご覧いただけます。

[http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kome/index.html#suitou](http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#suitou)

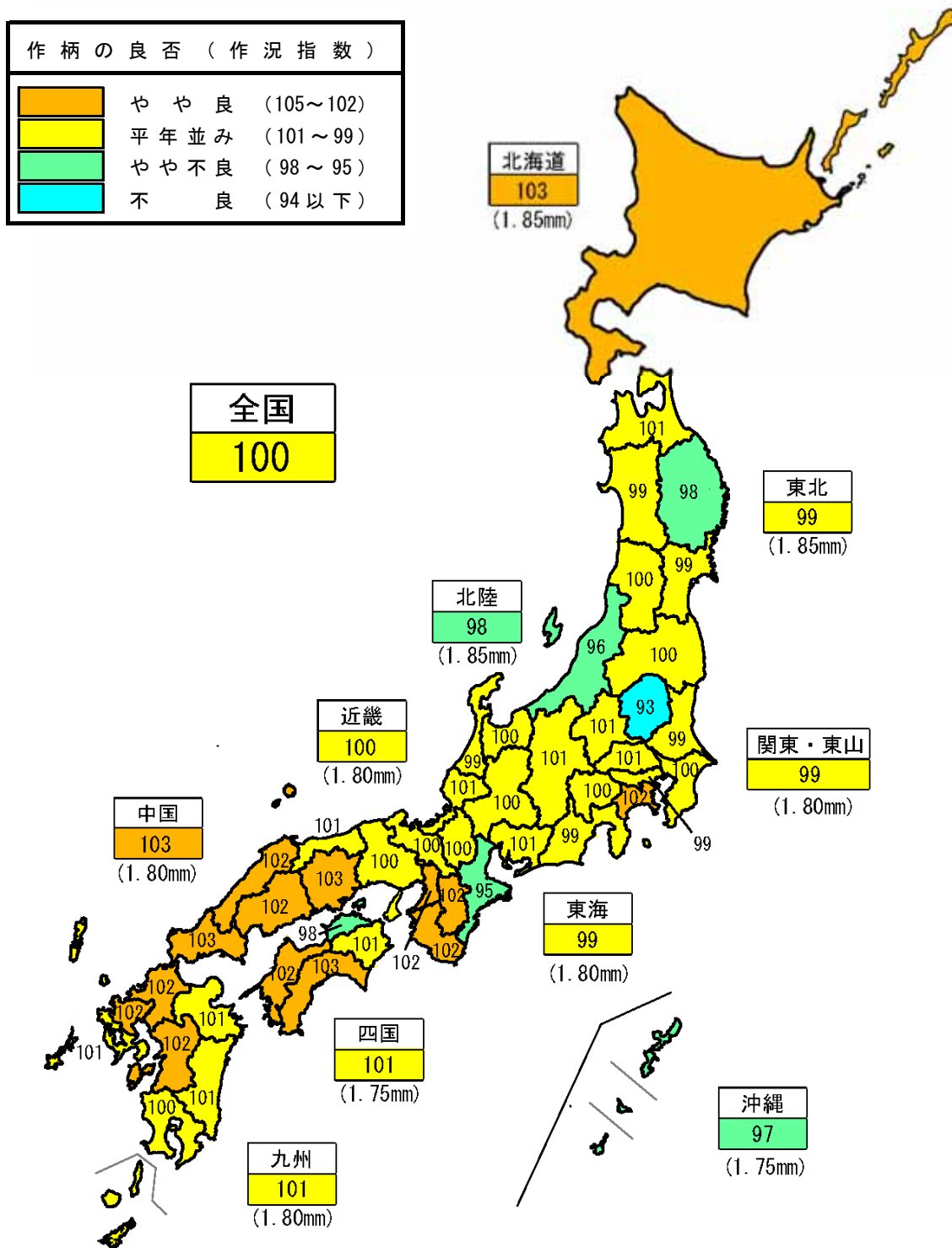


平成29年産水稻の作付面積及び収穫量

全 国 ・ 都 道 府 県	作付面積 (子実用) ①	10 a 当たり 収 量 ②	(参考) 農家等が使用しているふるい目幅で選別			収 穫 量 (子実用) ⑥=①×②	参 考		
			10 a 当たり 収 量 ③	10 a 当たり 平 年 収 量 ④	作 況 指 数 ⑤=③/④		主食用 作付面積 ⑦	収 穫 量 (主 食 用) ⑧=⑦×②	
			kg	kg					
全 国 (1)	1,465,000	534	517	518	100	7,822,000	1,370,000	7,306,000	(1)
北 海 道 (2)	103,900	560	546	530	103	581,800	98,600	552,200	(2)
青 森 (3)	43,400	596	576	573	101	258,700	38,000	226,500	(3)
岩 手 (4)	49,800	533	511	522	98	265,400	47,000	250,500	(4)
宮 城 (5)	66,300	535	512	519	99	354,700	63,500	339,700	(5)
秋 田 (6)	86,900	574	550	556	99	498,800	69,500	398,900	(6)
山 形 (7)	64,500	598	578	580	100	385,700	56,400	337,300	(7)
福 島 (8)	64,000	549	529	527	100	351,400	59,900	328,900	(8)
茨 城 (9)	68,100	525	510	515	99	357,500	66,400	348,600	(9)
栃 木 (10)	57,600	510	492	529	93	293,800	53,600	273,400	(10)
群 馬 (11)	15,500	499	483	479	101	77,300	13,900	69,400	(11)
埼 玉 (12)	31,600	494	478	475	101	156,100	30,700	151,700	(12)
千 葉 (13)	55,200	543	529	528	100	299,700	53,300	289,400	(13)
東 京 (14)	141	411	400	404	99	580	141	580	(14)
神 奈 川 (15)	3,090	509	488	478	102	15,700	3,090	15,700	(15)
新 潟 (16)	116,300	526	505	527	96	611,700	100,300	527,600	(16)
富 山 (17)	37,600	546	528	527	100	205,300	33,300	181,800	(17)
石 川 (18)	25,300	519	504	507	99	131,300	23,200	120,400	(18)
福 井 (19)	24,900	525	503	500	101	130,700	23,300	122,300	(19)
山 梨 (20)	4,960	549	531	533	100	27,200	4,880	26,800	(20)
長 野 (21)	32,300	629	616	607	101	203,200	31,300	196,900	(21)
岐 阜 (22)	21,900	488	479	478	100	106,900	21,500	104,900	(22)
静 岡 (23)	15,700	515	506	513	99	80,900	15,600	80,300	(23)
愛 知 (24)	27,500	512	503	499	101	140,800	26,600	136,200	(24)
三 重 (25)	27,400	480	466	489	95	131,500	26,800	128,600	(25)
滋 賀 (26)	31,700	517	504	506	100	163,900	30,000	155,100	(26)
京 都 (27)	14,700	510	501	502	100	75,000	14,100	71,900	(27)
大 阪 (28)	5,150	506	490	480	102	26,100	5,150	26,100	(28)
兵 庫 (29)	36,600	501	489	489	100	183,400	35,100	175,900	(29)
奈 良 (30)	8,610	521	508	500	102	44,900	8,580	44,700	(30)
和 歌 山 (31)	6,560	507	496	484	102	33,300	6,560	33,300	(31)
鳥 取 (32)	12,600	520	510	504	101	65,500	12,400	64,500	(32)
島 根 (33)	17,500	519	510	500	102	90,800	17,200	89,300	(33)
岡 山 (34)	30,100	544	531	514	103	163,700	29,100	158,300	(34)
広 島 (35)	23,700	534	524	513	102	126,600	23,100	123,400	(35)
山 口 (36)	20,300	521	508	492	103	105,800	19,300	100,600	(36)
徳 島 (37)	11,500	480	476	469	101	55,200	11,300	54,200	(37)
早期栽培 (38)	4,450	481	477	459	104	21,400	...	...	(38)
普通栽培 (39)	7,080	479	475	475	100	33,900	...	...	(39)
香 川 (40)	12,800	484	480	490	98	62,000	12,800	62,000	(40)
媛 愛 (41)	13,900	508	503	492	102	70,600	13,900	70,600	(41)
高 知 (42)	11,600	471	467	454	103	54,600	11,500	54,200	(42)
早期栽培 (43)	6,500	498	495	477	104	32,400	...	...	(43)
普通栽培 (44)	5,060	435	431	426	101	22,000	...	...	(44)
福 岡 (45)	35,700	509	488	477	102	181,700	35,100	178,700	(45)
佐 賀 (46)	24,600	531	511	503	102	130,600	24,400	129,600	(46)
長 崎 (47)	11,600	495	469	463	101	57,400	11,600	57,400	(47)
熊 本 (48)	33,300	527	508	497	102	175,500	32,200	169,700	(48)
大 分 (49)	21,000	506	483	480	101	106,300	20,900	105,800	(49)
宮 崎 (50)	16,300	499	485	482	101	81,300	15,000	74,900	(50)
早期栽培 (51)	6,460	494	486	470	103	31,900	...	...	(51)
普通栽培 (52)	9,870	503	485	490	99	49,600	...	...	(52)
鹿 児 島 (53)	20,400	486	468	469	100	99,100	19,600	95,300	(53)
早期栽培 (54)	4,460	472	464	434	107	21,100	...	...	(54)
普通栽培 (55)	16,000	490	468	478	98	78,400	...	...	(55)
沖 縄 (56)	727	301	297	305	97	2,190	727	2,190	(56)
第一期稲 (57)	537	354	350	363	96	1,900	...	...	(57)
第二期稲 (58)	190	152	147	160	92	289	...	...	(58)

- 注: 1 作付面積(子実用)とは、青刈り面積(飼料用米等を含む。)を除いた面積である。  
 2 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む。)から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等(備蓄米、加工用米、新規需要米等)の作付面積を除いた面積である。  
 3 全国の収穫量(子実用)及び収穫量(主食用)については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。  
 4 (参考)の農家等が使用しているふるい目幅で選別された③10a当たり収量、④10a当たり平年収量及び⑤作況指数については、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅(北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm)以上に選別された玄米を基に算出した数値である。  
 5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

# 全国農業地域・都道府県別作況指数 【農家等が使用しているふるい目幅ベース】



注：1 作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85 mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80 mm、四国及び沖縄は1.75 mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）、普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

これまで、本資料に掲載していた以下の情報については、別冊「資料編」に掲載いたしました。

## (別冊)「資料編」の目次

I	契約・在庫情報	
(1)	平成27・28年産の産地別民間在庫の推移 (うるち米、平成28年7月末から29年6月末) (速報)	1
(2)	産地別事前契約数量 (累計、うるち米、平成26・27年産)	9
(3)	平成28年産米の産地別契約・販売状況 (累計、うるち米)	10
II	米の価格情報	
(1)	米の相対取引価格の推移 (通年平均価格)	18
(2)	業者間取引の状況	21
	① 日本コメ市場 (随時取引の結果)	
	② 日本コメ市場・クリスタルライス (取引会の結果)	
	③ (株)加工用米取引センターの取引結果	
	④ 米の現物市場の状況	
III	主食用米以外 (輸出を含む)	
(1)	加工用米及び新規需要米の取組状況等	24
	① 加工用米の生産量	
	② 新規需要米の用途別認定状況	
	③ 加工用米・新規需要米等の取組状況 (平成29年産、都道府県別)	
(2)	飼料用米のマッチングの取組状況、配合飼料メーカーへの飼料用の供給等	26
(3)	政府備蓄米の運営 備蓄米の買入札の結果 (落札実績) (平成23~29年産)	27
(4)	商業用の米の輸出量及び金額の推移	28
(5)	2017年の主な増加要因 (輸出業者等からのヒアリング結果による)	29
(6)	米菓の輸出量及び金額の推移	30
(7)	日本酒 (清酒) の輸出量及び金額の推移	31
IV	消費動向	
(1)	米の消費動向 (米穀機構による調査)	32
(2)	小売価格の推移 (POSデータ、主な銘柄)	35
V	その他	
(1)	米取引関係者の判断 (米穀機構による調査、平成30年6月分)	36
(2)	平成28年産水陸稲の収穫量	41
(3)	水稻作付面積及び収穫量等の年次別推移 (全国)	45
(4)	水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、 10a 当たり収量及び収穫量 (子実用) の年次別推移 (全国)	45
(5)	年産・都道府県別主食用米の作付面積及び収穫量等の推移	48
(6)	麦・大豆の需要情報	50
	① 30年産麦の産地別銘柄別入札結果	
	② 29年産大豆の産地別銘柄別入札結果	
(7)	野菜等の需給情報	56
(8)	米の安定取引研究会報告書の概要	60

米に関するマンスリーレポート (本編・資料編) は、農林水産省のホームページからもご覧いただけます。

(URL) <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

また、「米に関するマンスリーレポートの活用について」を農林水産省のホームページに掲載いたしましたので以下URLを参照ください。

(URL) [http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/attach/pdf/kome\\_seisaku\\_kaikaku-34.pdf](http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/attach/pdf/kome_seisaku_kaikaku-34.pdf)

# 「お米の輸出動画」 配信中！

## お米の新しい市場を開拓！ 「日本のお米の輸出」について

お米の輸出の可能性や農水省の輸出促進の取組について解説した動画を配信中！

「どうして今、お米を輸出するの？」「今、生産者や事業者の人はどんなことに取り組んでいるの？」という疑問にお答えします！



Youtube・農林水産省ホームページで公開中です！  
(詳しくは裏面をご覧ください)

以下のQRコードからもご覧頂けます

1分ダイジェスト版はこちら→



<https://youtu.be/B1VsP2ER4OM>

本編(14分)はこちら→



[https://youtu.be/zV8dkRH\\_6T0](https://youtu.be/zV8dkRH_6T0)

本動画は、お米の輸出の概況や輸出拡大に向けた国の取組について、農林水産省の柄澤政策統括官が解説します。

また、生産者や事業者の方に、海外向けのお米の生産・販売における具体的な取組内容をご紹介します！

本編の内容について1分程度でまとめたダイジェスト版も公開しておりますので、ぜひご覧下さい！

## Youtubeから見る

Youtubeの検索バナーで「お米の輸出」と検索！

お米の輸出

×



(URLはこちら)

本編：[https://www.youtube.com/watch?v=zV8dkRH\\_6T0](https://www.youtube.com/watch?v=zV8dkRH_6T0)

ダイジェスト版：<https://www.youtube.com/watch?v=B1VsP2ER4OM>

## 農林水産省HPから見る

トップページの「キーワード」にある「米の輸出」をクリック！

(ホーム > 政策統括官 > 米(稲)・麦・大豆 > 米の輸出について)

The screenshot shows the homepage of the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF). At the top, there are navigation links for English, Kids Site, Site Map, and Text Size. Below that are menu items: Meeting/News/Press, Policy Information, Statistics, Application/Inquiry, and About MAFF. A search bar is present with the text 'キーワードから探す' and 'Google カスタム検索'. The '注目情報' (Featured Information) section lists recent news items. A callout box points to the 'キーワード' (Keywords) section, which contains a list of links. The link '米の輸出' is circled in red, and a red dashed line indicates the path from the callout box to this link.

キーワードの「米の輸出」をクリックすると「米の輸出について」のページに移動します！

URL：<http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/>

[soukatu/kome\\_yusyutu/kome\\_yusyutu.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_yusyutu/kome_yusyutu.html)

お問合せ先：農林水産省政策統括官付農産企画課  
(TEL：03-6738-8964)



業務用途への安定取引に向けた

# 米マッチングフェア

2018

中食・外食事業者等の皆様へ  
まずは事前登録を!

来場無料

**産地**  
大規模生産法人、  
農協等



**実需者**  
中食・外食  
事業者等

[開催時期] 平成30年7月～平成31年2月

[開催場所] 東京(2回)・大阪(2回)  
全国2か所



中食・外食事業者等の皆様へ

## 求めているお米が手に入る

家庭内での米の消費が減る一方で、中食・外食等における米の需要は伸びており、このような業務用途の米は、今後も堅調な需要が見込まれます。

平成30年産米から行政による生産数量目標の配分がなくなる中で、今後一層、米産地の法人や農協等がユーザーである中食・外食事業者等と結びつき、当該事業者のニーズに応じた生産を行い、複数年契約や播種前契約を締結するなど安定した取引につなげていくことが重要です。

このような取引の拡大に向けて、業務用途への安定取引に取り組みたい米産地と中食・外食事業者等とのマッチングを行う「米マッチングフェア2018」を東京と大阪で開催します。

皆様、ぜひこのマッチングイベントに参加し、安定した米の販路を開拓しませんか？

主催 ● 全国農業再生推進機構・株式会社グレイン・エス・ピー  
全国農業再生推進機構：(一財)全国豆腐連合会/(一社)全国農業会議所/(一社)日本惣菜協会/(一社)日本弁当サービス協会/協同組合日本飼料工業会/(公社)日本炊飯協会/(公社)日本べんとう振興協会/(公社)米穀安定供給確保支援機構/国産米使用推進団体協議会/全国稲作経営者会議/全国加工米需要者団体協議会/全国主食集荷協同組合連合会/全国農業協同組合中央会/全国農業協同組合連合会/全国米穀工業協同組合/日本米粉協会/日本豆腐協会/日本米穀小売商業組合連合会  
後援 ● 農林水産省/(公社)日本農業法人協会/(一社)日本冷凍食品協会/(一社)全国包装米販協会(県不同)  
※本イベントは、農林水産省補助事業(平成30年度米穀周年供給・需要拡大支援事業のうち業務用米等の安定取引拡大支援事業)の下で全国農業再生推進機構(株)グレイン・エス・ピーが行います。

お問い合わせ

米マッチングフェア2018事務局  
株式会社グレイン・エス・ピー：末田、小林

〒113-0034 東京都文京区湯島2-12-5 湯島ビルD3F  
Tel: 03-3816-0672 Fax: 03-3816-0708  
E-mail: kome-matching@grainsp.co.jp





米マッチングフェア 2018

# 展示商談会・セミナー

のご案内

展示商談会・セミナーに参加希望の方は  
事前登録をしてください

## 展示商談会・セミナー + 現地交流会

各3日間

### 【開催スケジュール】

**大阪会場** 平成30年7月4日(水)・5日(木)・6日(金)

リーガロイヤルNCB (大阪府大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル内)

**東京会場** 平成30年8月8日(水)・9日(木)・10日(金)

ホテルグランドパレス (東京都千代田区飯田橋1-1-1)

**大阪会場** 平成31年1月16日(水)・17日(木)・18日(金)

リーガロイヤルNCB (大阪府大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル内)

**東京会場** 平成31年2月6日(水)・7日(木)・8日(金)

ホテルグランドパレス (東京都千代田区飯田橋1-1-1)

1日目・2日目

**セミナー** 10:30 ~ 12:30

**展示商談会** 1日目 13:00 ~ 17:00

2日目 10:00 ~ 16:00

[各会場とも]

受付 10:00



セミナーイメージ

#### 展示商談会の内容

商談コーナー (個別商談のコーナーを用意)  
出展紹介コーナー (出展者ご自慢のお米紹介、試食等)

#### 業務用途米情報コーナー

注目されている各品種の紹介

#### セミナー

安定契約の成功事例、実需者に求められる米とは等、  
豊富な経験を持つ方々の講演を予定

#### 試食コーナー

注目品種を使ったごはん料理を紹介

3日目

**現地交流会** (1日目・2日目の開催地からバスで現地へ移動します)

#### 現地交流会

現地の圃場、ライスセンター等を見学し、現地の生産者や農協関係者等との  
意見交換を行い取引の商談を深めていきます。



現地交流会イメージ

### 展示商談会に来場される方へ

産地と実需者による事前契約、複数年契約の締結等、長期的な取引を目的に開催する展示商談会です。

実需者と流通業者によるベア参加、流通業者の代理参加も可能です。

本主旨をご理解いただける方々のご来場をお待ちしております。

ご不明な点は、事務局までお問い合わせください。なお、ホームページにて随時、最新情報をアップしますので、そちらもご覧ください。